



第5期緑区地域福祉保健計画  
『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査

報 告 書

令和7年1月



横浜市緑区役所



## 目 次

<b>第 1 章 調査概要</b> .....	<b>1</b>
(1) 調査目的 .....	1
(2) 調査概要 .....	1
(3) 回収結果 .....	1
<b>第 2 章 調査結果のまとめ</b> .....	<b>2</b>
<b>第 3 章 単純集計結果</b> .....	<b>5</b>
(1) 回答者属性 .....	5
問 1 居住地区 .....	5
問 2 性別・年齢・世帯構成 .....	6
問 3 住まいの種類 .....	7
問 4 仕事の状況 .....	8
問 5 居住年数 .....	8
問 6 居住意向 .....	9
問 7 お住まいの地区の 10 年後について .....	10
(2) 生活の心配事について .....	10
問 8 心配事や困りごとの有無、内容 .....	10
問 9 心配事や困ったことが起きた時の相談する人や相談先 .....	11
(3) 地域でのつながりや活動のための機会・場について .....	12
問 10 近所付き合い .....	12
問 11 自治会への加入状況 .....	12
問 12 地域活動への参加状況 .....	13
問 13 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件 .....	15
問 14 地域活動に参加者として参加する条件 .....	16
(4) 福祉保健に関する情報について .....	16
問 15 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度 .....	16
問 16 福祉保健に関する情報の入手先 .....	17
(5) 安全・安心について .....	18
問 17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性 .....	18
(6) 緑区の福祉保健全般について .....	19
問 18 地域をよくするための意見・次期プランに期待すること .....	19
<b>第 4 章 クロス集計結果</b> .....	<b>20</b>

<b>(1) 地区別クロス集計結果</b> .....	<b>20</b>
問2 性別・年齢・世帯構成 .....	20
問3 住まいの種類 .....	23
問5 居住年数 .....	24
問6 居住意向 .....	25
問8 心配事や困りごとの有無、内容 .....	26
問9 心配事や困ったことが起きた時の相談する人や相談先 .....	28
問10 近所付き合い .....	30
問12 地域活動への参加状況 .....	31
問13 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件 .....	35
問14 地域活動に参加者として参加する条件 .....	37
問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性 .....	39
<b>(2) 性別・年齢別、質問間クロス集計結果</b> .....	<b>42</b>
問4 仕事の状況 .....	42
問6 居住意向 .....	43
<生活の心配事について> .....	44
問8 心配事や困りごとの有無、内容 .....	44
問9 心配事や困ったことが起きた時の相談する人や相談先 .....	46
<地域でのつながりや活動のための機会・場について> .....	48
問10 近所付き合い .....	48
問11 自治会への加入状況 .....	50
問12 地域活動への参加状況 .....	51
問13 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件 .....	55
問14 地域活動に参加者として参加する条件 .....	57
<福祉保健に関する情報について> .....	59
問15 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度 .....	59
問16 福祉保健に関する情報の入手先 .....	60
<安全・安心・健康について> .....	62
問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性 .....	62
<b>第5章 過去の調査との比較</b> .....	<b>66</b>
問6 居住意向 .....	66
問10 近所付き合い .....	67
問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性 .....	71
<b>第6章 自由記述</b> .....	<b>73</b>
問7 自由記載抜粋 .....	73
問18 自由記載抜粋 .....	78
<b>資料 調査票</b> .....	<b>82</b>



## 第1章 調査概要

### (1) 調査目的

緑区民の福祉保健に関する意識や生活課題を抽出し、第5期緑区地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』（令和8年～令和12年）策定に向けた基礎資料として活用する。

### (2) 調査概要

- ①調査地域 横浜市緑区全域
- ②調査対象 緑区在住の20歳以上の男女個人
- ③発送数 4,500人（日本国籍4,380人、外国籍120人）
- ④抽出方法 住民基本台帳からの抽出
- ⑤調査方法 対象者への郵送配布、郵送またはインターネット回答
- ⑥調査時期 令和6年6月24日～7月23日
- ⑦調査機関 株式会社ジャンボ

### (3) 回収結果

回収数 1,313 票（回収率 29.2%、有効回答票 1,310 票）

#### ＜ 集計結果の表示方法・留意事項 ＞

- ①本報告書では、アンケート調査票の設問順に集計結果を掲載している。
- ②文章中の「n=〇〇」はその設問についての有効回答数を示している。
- ③集計結果は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、数値の合計が100.0%にならない場合がある。
- ④ 回答の比率（%）は、その質問の回答者数を基礎として算出しているため、複数回答の設問はすべての比率を合計すると、100.0%を超える場合がある。

## 第2章 調査結果のまとめ

以下、アンケートの構成にそって、回答の特徴的な傾向や、地域福祉保健計画の視点で着目すべき点などをまとめる。

### ① 回答者属性

- ・アンケートでは、各地区、各年齢層からの回答が得られたが、回答者の割合は60歳以上が4割半ばと、シニア世代から積極的な回答があったと考えられる。
- ・地区別にみると、長津田地区・新治中部地区からの回答が多く、この2地区で4割近くを占めている。世帯構成は、全地区で「親と子（二世帯）」が多くなっている。また、新治西部地区、十日市場ヒルタウン地区は「ひとり暮らし」の割合が多くなっている。十日市場ヒルタウンは居住年数10年未満の回答が多く、居住年数の浅い住民が多くなっている。他地区では居住歴が「10年以上」の人が多いが、中でも竹山地区では「10年以上」が93.3%と多くなっている。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれ、仕事の状況については、「常勤・フルタイム」の割合が低くなる傾向がみられ、居住意向については、「住み続ける」「たぶん住み続ける」と回答した人の割合が高い傾向がみられる。

### ② 各設問の結果のまとめ

地域でのつながり

- ・回答者の自治会加入率は、前回調査（80.5%）よりも下がり75.3%と7割半ばとなっている。
- ・『近所付き合いが頻繁にある方（「近所の人とよく行き来している」＋「近所の仲の良い人とは行き来している」）』（27.5%）に比べて、『近所付き合いが頻繁ではない方（「あいさつする程度であり近所付き合いはない」＋「近所の人とは全く付き合いがない」）』（69.5%）が約2.5倍多くなっている。
- ・「近所付き合い」と「災害時を踏まえて顔の見える関係づくりに取り組む必要性」との関係でみると、近所付き合いが多い人ほど顔の見える関係づくりに取り組む必要性を感じていることがわかる。

地域活動の機会・場

- ・地域で行われている様々な活動への参加状況は、「自治会の活動」が多くなっており、参加者としては3割半ば、スタッフ・ボランティアとしては2割半ばとなっている。
- ・地域活動に参加する条件は、スタッフ・ボランティアとしては「時間的・体力的に無理がない程度なら」、参加者は「時間的に余裕があれば」という回答が多くなっている。若い世代など地域活動への参加者を増やすための工夫が必要と考えられる。

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

- ・「知らなかった」が7割を超えており、認知度は低い。
- ・年齢別にみると、年齢が上がるにつれて認知度は高くなる傾向にある。

## 福祉保健に関する情報の入手先

- ・情報の入手先では、「広報よこはま」を5割半ば（54.4%）の人が回答し、次いで「自治会の回覧板や掲示板など」（41.7%）、「タウン情報誌」（13.3%）が多くなっているが、年代により例えば、20歳代は「知人・家族」、40歳代は「市や緑区のホームページ」や、「SNS」の回答が多いことから、世代により馴染んだ福祉保健情報の入手手段が異なることがわかる。

## 安全・安心について

- ・災害時に地域の助け合いが上手くいくために必要な取組として、顔の見える関係づくりは『必要』という回答は、9割近くの回答と多くなっている。顔の見える関係づくりのために必要なことは、「近所でのあいさつ・声がけ」（84.1%）や「近所での日頃からの付き合い」（45.2%）、「自治会活動への参加（防犯や美化活動など）」（31.9%）への回答が多く、身近な環境にいる人々との日頃からの関係づくりが必要であると考えられていることがわかる。

## ③ 自由回答

- ・「10年後、お住まいの地域に関する希望」については、8割を超える記述があった。
- ・自由意見をテーマ別に分類したところ、最も多く意見があがったのは、「バリアフリー・移動が便利な地域」に関連する意見、次いで「安全・安心、いきいき暮らせる地域」、「活力のある地域」の順で意見が多かった。
- ・「地域を良くするためのご意見・ご提案や次期プランに期待すること」については、3割近くの記述があった。
- ・自由意見をテーマ別に分類したところ、最も多く意見があがったのは、「行政施策」に関連する意見、次いで「地域活動」、「防犯・防災」、「生活環境」の順で意見が多かった。

### <10年後、お住まいの地域に関する希望についての自由意見のテーマ別分類 一覧>

分類
バリアフリー・移動が便利な地域
安全・安心、いきいき暮らせる地域
活力のある地域
みどりの魅力あふれる地域
子育て・教育が充実した地域
支え合い・交流のある地域
閑静で住みやすい地域
高齢者が過ごしやすい地域
医療・福祉・介護の充実した地域
現状維持
公共施設・サービスが充実した地域
特になし
その他

<地域をよくするためのご意見・ご提案、次期プランに期待することのテーマ別分類一覧>

大分類	中分類
行政施策について	<福祉・保健>
	<道路・交通・まちづくり>
	<広報・周知>
	<その他行政施策全般>
地域活動について	<自治会活動>
	<交流活動>
	<見守り活動>
	<その他地域活動全般>
防犯・防災について	
生活環境について	
顔の見える関係づくりについて	
特になし	
その他	

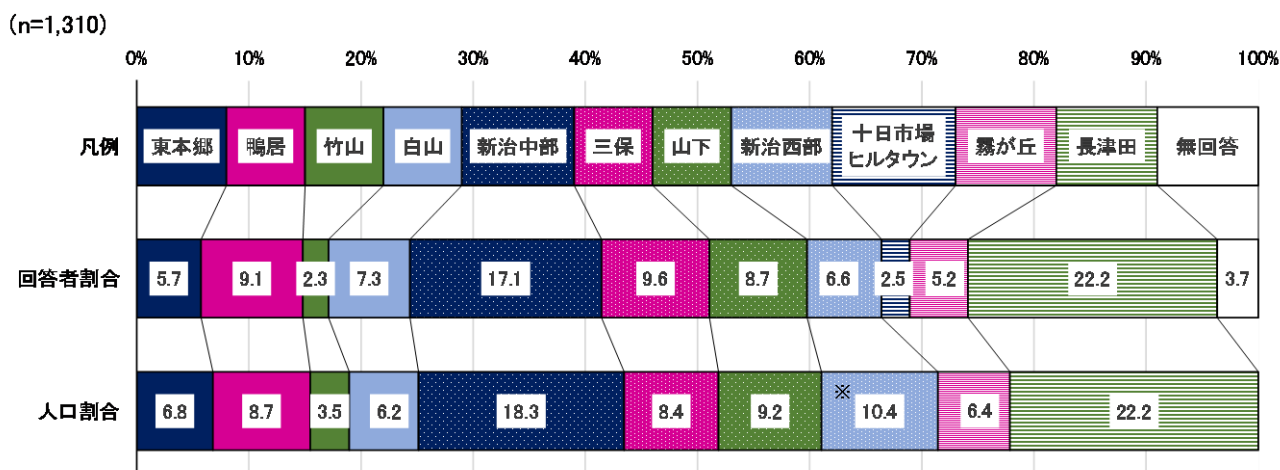
### 第3章 単純集計結果

#### (1) 回答者属性

##### 問1 居住地区

本調査では、「みどりのわ・ささえ愛プラン」の地区別計画と同じく11地区で集計を行った。

図表 問1 あなたのお住まいの町はどちらですか。



※人口割合は、新治西部地区と十日市場ヒルタウン地区を含む。

地区名	回答者 (人)	回答者割合 (%)	人口 <sup>※</sup> (人)	人口割合 (%)
東本郷	75	5.7%	12,323	6.8%
鴨居	119	9.1%	15,768	8.7%
竹山	30	2.3%	6,335	3.5%
白山	95	7.3%	11,194	6.2%
新治中部	224	17.1%	33,275	18.3%
三保	126	9.6%	15,318	8.4%
山下	114	8.7%	16,655	9.2%
新治西部	87	6.6%	18,837	10.4%
十日市場ヒルタウン	33	2.5%		
霧が丘	68	5.2%	11,652	6.4%
長津田	291	22.2%	40,224	22.2%
無回答	48	3.7%	-	-
全体	1,310	100.0%	181,585	100.0%

※人口出典は、横浜市統計情報ポータル『年齢、男女別人口-町丁（令和6年3月31日現在）』

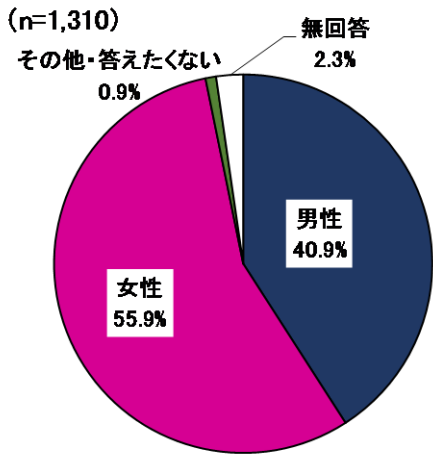
※なお、統計上の処理により、区の合計人口と、各町・丁ごとの人口の合計が一致しないことがあります。

問2 性別・年齢・世帯構成

<性別>

回答者の性別は、女性 55.9%、男性 40.9%で、女性が多い。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。  
<性別> (○は1つ)

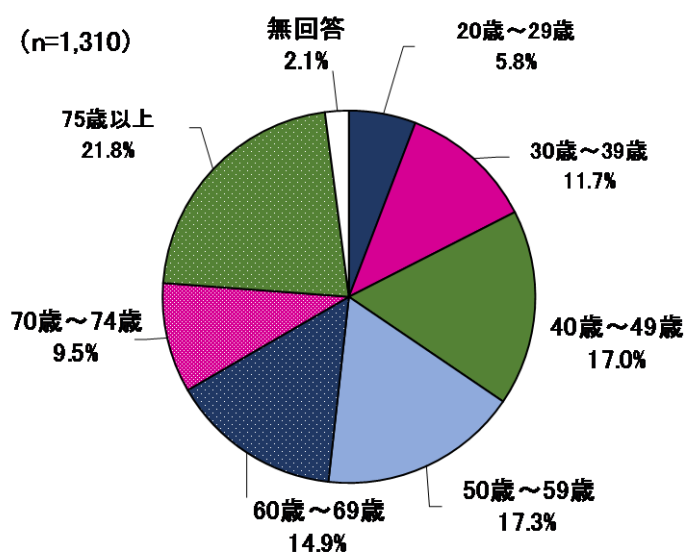


	件数	%
男性	536	40.9%
女性	732	55.9%
その他・答えたくない	12	0.9%
無回答	30	2.3%
合計	1,310	100.0%

<年齢>

回答者の75歳以上が21.8%で最も多く、50歳代(50歳~59歳)が17.3%、40歳代(40歳~49歳)が17.0%でこれに次いでいる。60歳以上の回答が5割近くとなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。  
<年齢> (○は1つ)



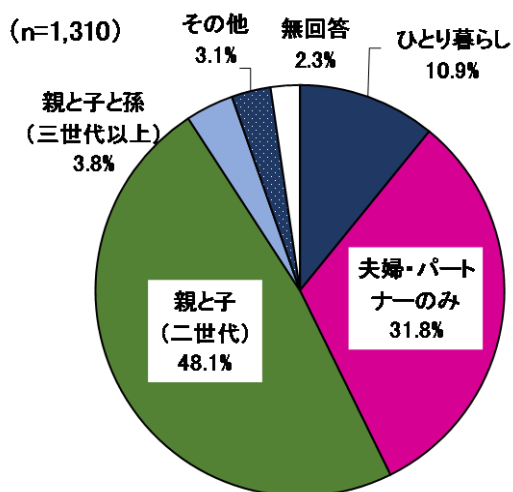
	件数	%
20歳~29歳	76	5.8%
30歳~39歳	153	11.7%
40歳~49歳	223	17.0%
50歳~59歳	226	17.3%
60歳~69歳	195	14.9%
70歳~74歳	125	9.5%
75歳以上	285	21.8%
無回答	27	2.1%
合計	1,310	100.0%

## <世帯構成>

回答者の世帯構成について、一緒に暮らしている家族は、「親と子（二世代）」が48.1%で最も多く、「夫婦・パートナーのみ」（31.8%）がそれに次いでいる。「ひとり暮らし」の割合は10.9%と前回と同様1割を超えている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<世帯構成>（〇は1つ）

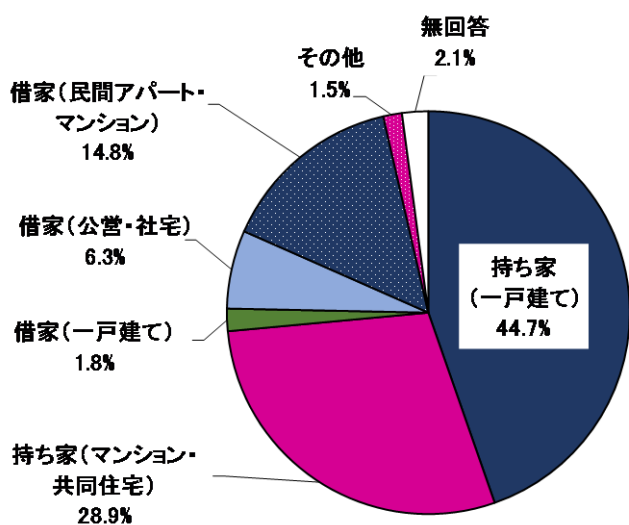


	件数	%
ひとり暮らし	143	10.9%
夫婦・パートナーのみ	417	31.8%
親と子 (二世代)	630	48.1%
親と子と孫 (三世代以上)	50	3.8%
その他	40	3.1%
無回答	30	2.3%
合計	1,310	100.0%

## 問3 住まいの種類

回答者の住まいの種類は、「持ち家（一戸建て）」が4割半ば（44.7%）で最も多く、「持ち家（マンション・共同住宅）」（28.9%）がそれに次いでいる。これらを合わせると73.6%が持ち家に居住している。借家の中では、「借家（民間アパート・マンション）」が1割半ば（14.8%）で最も多い。

図表 問3 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。（〇は1つ）

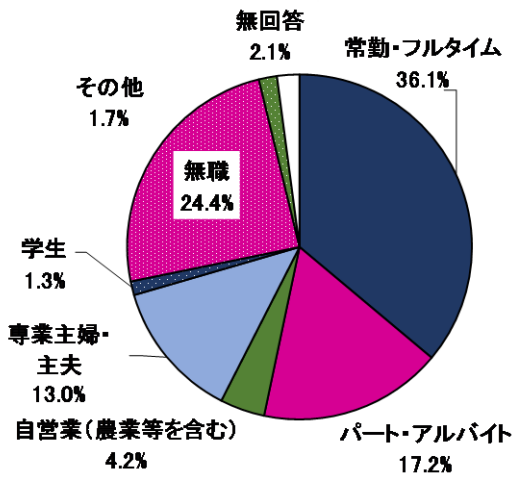


	件数	%
持ち家 (一戸建て)	585	44.7%
持ち家 (マンション・共同住宅)	378	28.9%
借家 (一戸建て)	23	1.8%
借家 (公営・社宅)	82	6.3%
借家 (民間アパート・マンション)	194	14.8%
その他	20	1.5%
無回答	28	2.1%
合計	1,310	100.0%

#### 問4 仕事の状況

回答者の仕事の状況は、「常勤・フルタイム」が36.1%で、「パート・アルバイト」の17.2%と合わせると、半数以上の53.3%が仕事についていると回答している。一方、仕事についていない「専業主婦・主夫」は13.0%、「無職」は24.4%であった。

図表 問4 あなたのお仕事の状況はどれに該当しますか。(○は1つ)

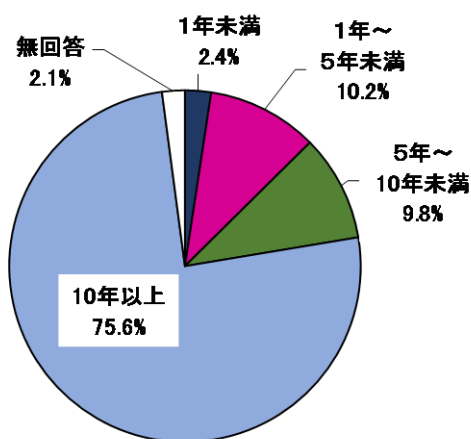


	件数	%
常勤・フルタイム	473	36.1%
パート・アルバイト	225	17.2%
自営業(農業等を含む)	55	4.2%
専業主婦・主夫	170	13.0%
学生	17	1.3%
無職	320	24.4%
その他	22	1.7%
無回答	28	2.1%
合計	1,310	100.0%

#### 問5 居住年数

回答者の居住年数は、「10年以上」が75.6%を占めている。次いで「1年～5年未満」が10.2%、「5年～10年未満」が9.8%となっている。

図表 問5 あなたは緑区にお住まいになって何年になりますか。(○は1つ)



	件数	%
1年未満	31	2.4%
1年～5年未満	134	10.2%
5年～10年未満	128	9.8%
10年以上	990	75.6%
無回答	27	2.1%
合計	1,310	100.0%

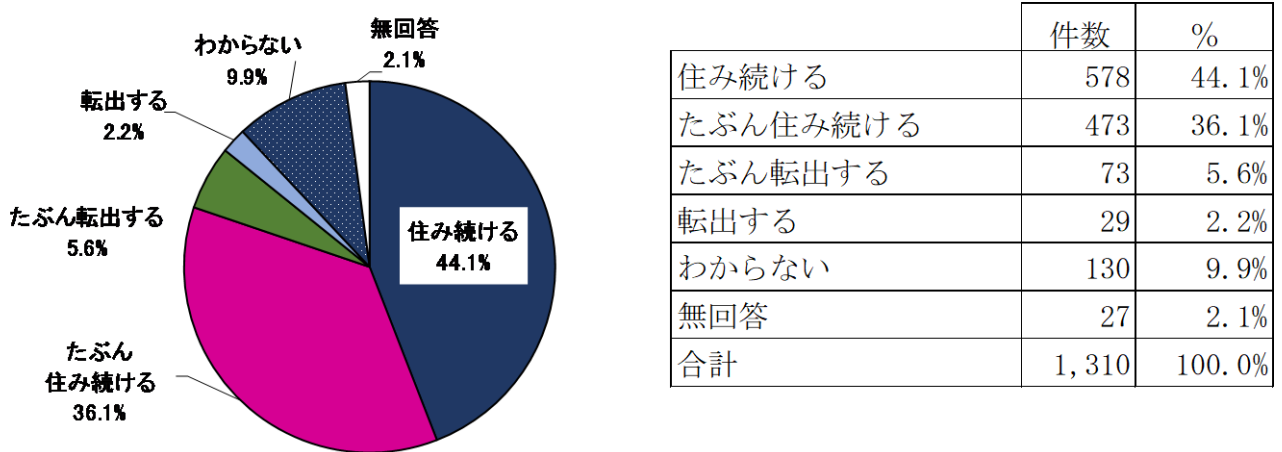


## 問6 居住意向

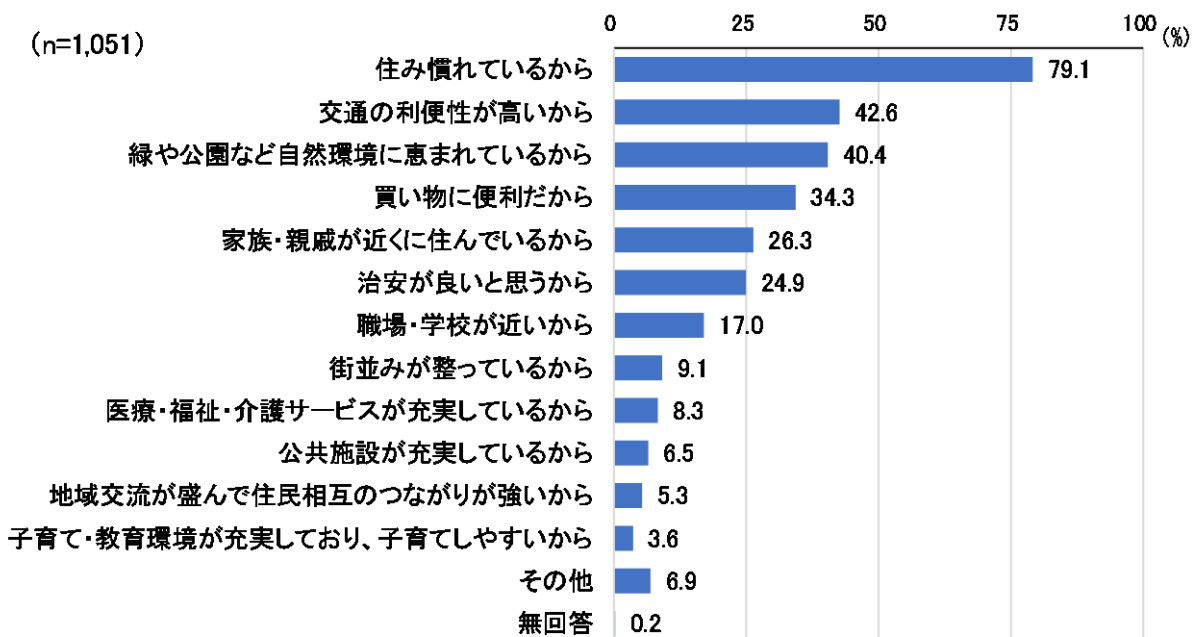
回答者の居住意向は、「住み続ける」が44.1%と最も多く、「たぶん住み続ける」の36.1%と合わせると、80.2%が住み続ける意向となっている。

「住み続ける」、「たぶん住み続ける」と答えた方の住み続けたい理由をみると、「住み慣れているから」が79.1%で最も多く、「交通の利便性が高いから」(42.6%)、「緑や公園など自然環境に恵まれているから」(40.4%)がそれに次いでいる。

図表 問6 あなたはこれからも緑区に住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)



図表 問6-1 住み続けたいと思われる理由を選んでください。(〇はいくつでも)  
 <問6で「住み続ける」または「たぶん住み続ける」と答えた方>



問7 お住まいの地区の10年後について

図表 問7 あなたは10年後、お住まいの地域がどのような地域になっているとよいと思いますか。(自由記入の記載)

分類	件数
バリアフリー・移動が便利な地域	288
安全・安心、いきいき暮らせる地域	209
活力のある地域	208
みどりの魅力あふれる地域	196
子育て・教育が充実した地域	109
支え合い・交流のある地域	97
閑静で住みやすい地域	87
高齢者が過ごしやすい地域	75
医療・福祉・介護の充実した地域	71
現状維持	62
公共施設・サービスが充実した地域	60
特になし	29
その他	74

※記入があった調査票の件数は1,058件。

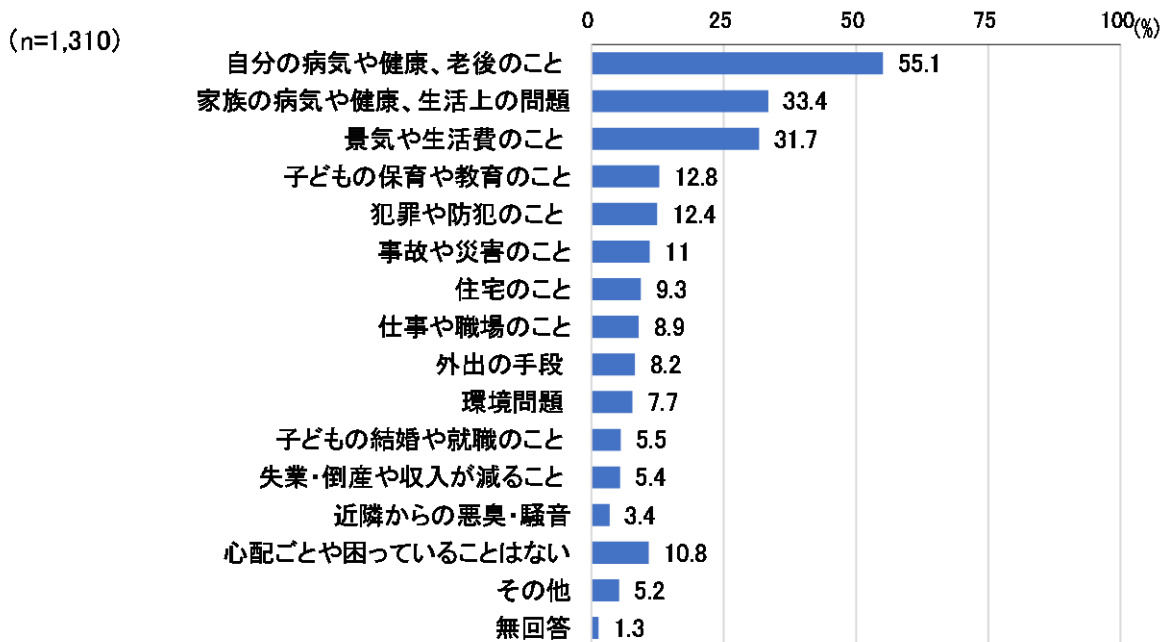
内容が類似している回答をテーマ別に分類し、振り分けています。複数の分類にまたがる意見が記載されている場合は、それぞれのテーマごとにカウントしています。

(2) 生活の心配事について

問8 心配事や困りごとの有無、内容

心配ごとや困っていることは、「自分の病気や健康、老後のこと」が55.1%で最も多く、「家族の病気や健康、生活上の問題」(33.4%)、「景気や生活費のこと」(31.7%)がそれに次いでいる。

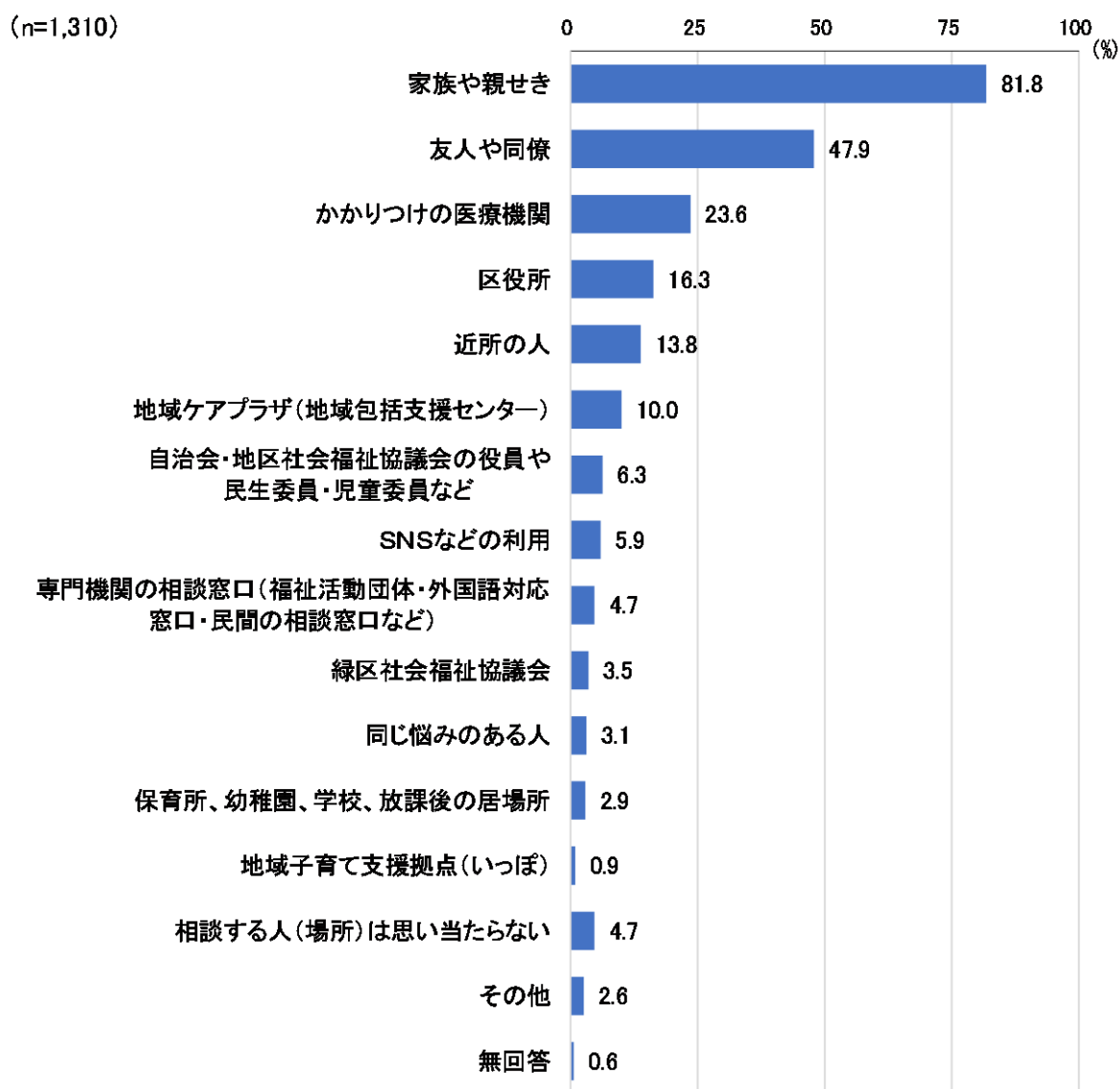
図表 問8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)



問9 心配事や困ったことが起きた時の相談する人や相談先

心配ごとや困ったことを相談する人や相談する場所は、「家族や親せき」が81.8%で最も多く、「友人や同僚」(47.9%)、「かかりつけの医療機関」(23.6%)がそれに次いでいる。

図表 問9 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人や相談する場所がありますか。それは、誰・どこですか（「相談したことがある」、または「相談しようと思う」を含めてお答えください）。（あてはまる番号すべてに○）



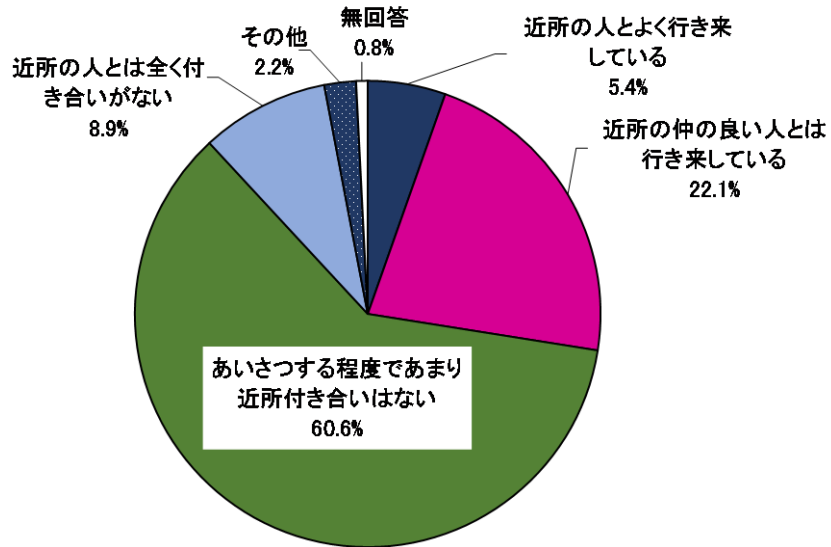
(3) 地域でのつながりや活動のための機会・場について

問10 近所付き合い

「近所の人とよく行き来している」(5.4%)と「近所の仲の良い人とは行き来している」(22.1%)に比べて、「あいさつする程度であまり近所付き合いはない」(60.6%)と「近所の人とは全く付き合いがない」(8.9%)が多くなっており、近所付き合いの頻度が少ない人たちの割合が、近所付き合いをしている人たちの割合の約2.5倍となっている。

図表 問10 あなたご自身は、どのような近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)

(n=1,310)

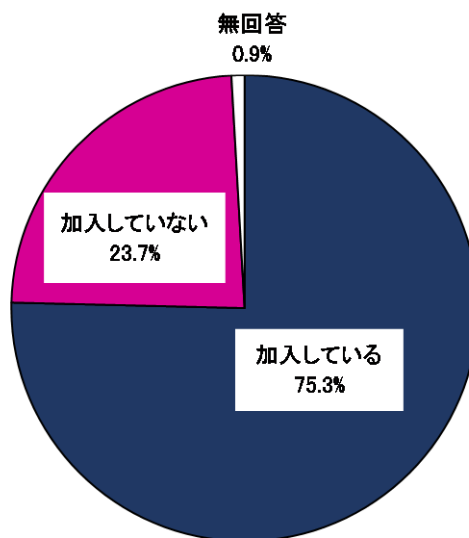


問11 自治会への加入状況

自治会へ加入している割合は75.3%、加入していない割合は23.7%となっている。

図表 問11 あなたご自身は、お住まいの地域の自治会に加入していますか。(〇は1つ)

(n=1, 310)



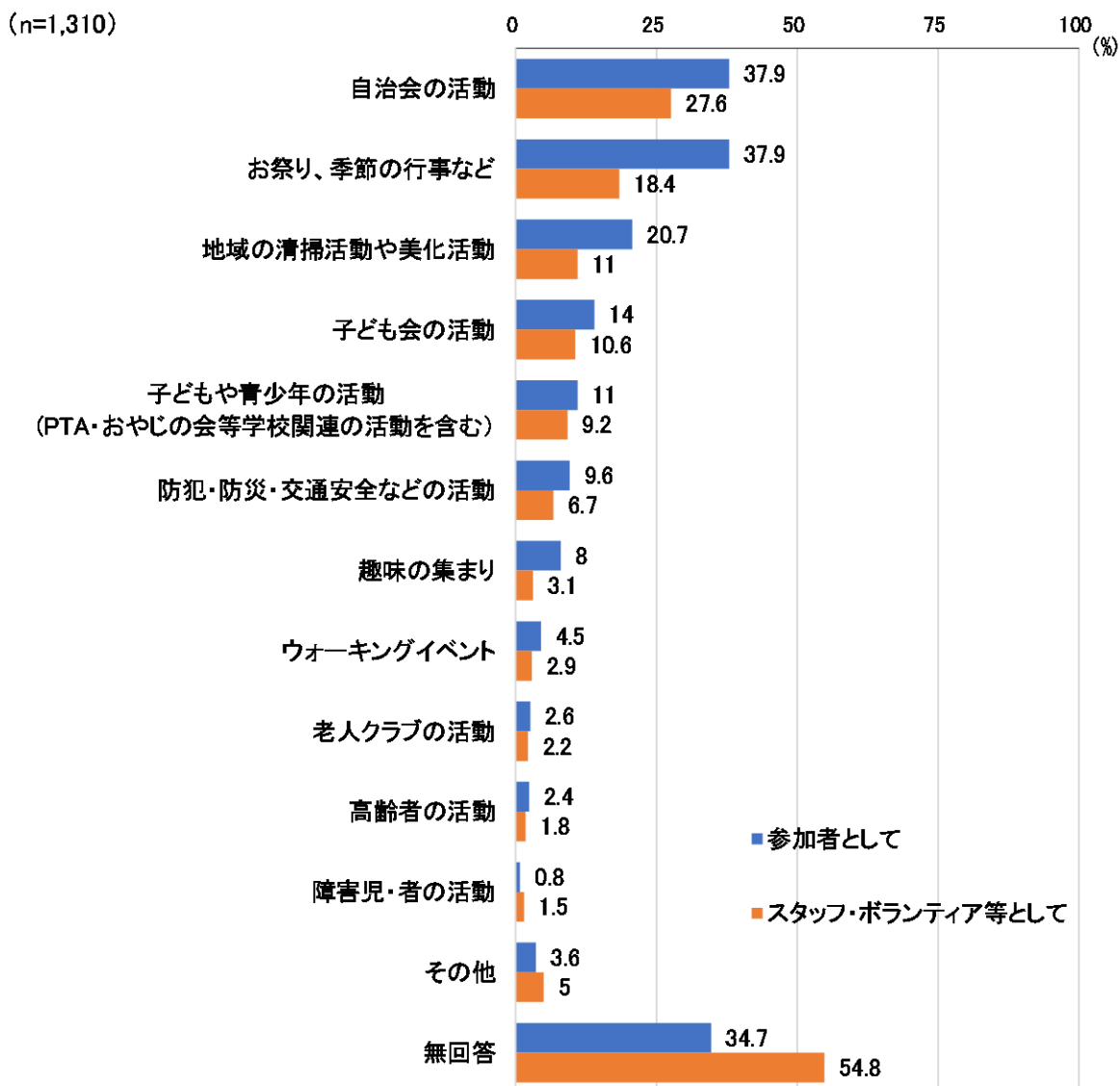
## 問12 地域活動への参加状況

地域活動への参加について、「自治会の活動」や「お祭り、季節の行事など」は、参加者、スタッフ・ボランティア等として参加している方が多くなっている。

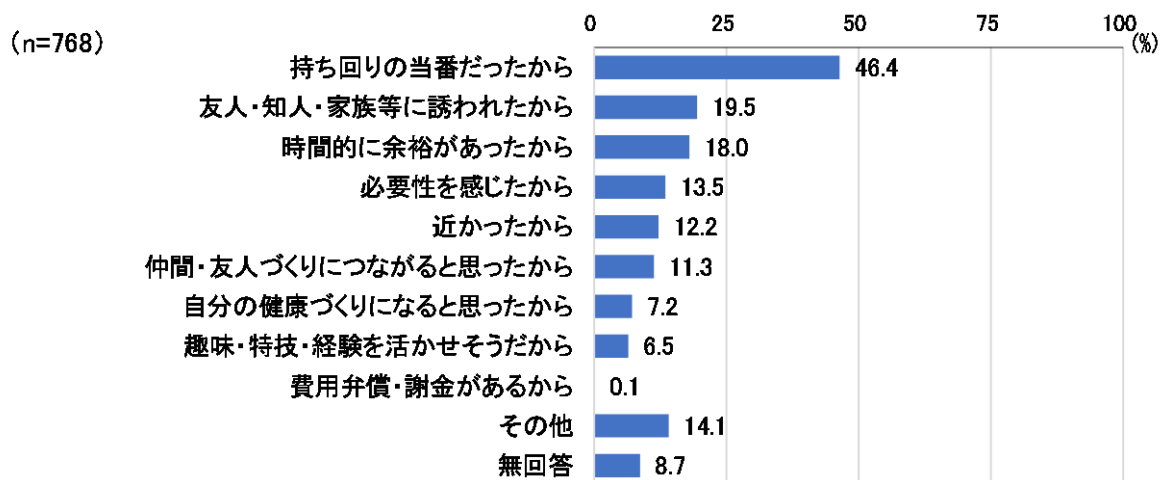
参加したきっかけをみると、「持ち回りの当番だったから」(46.4%)が最も多く、次いで「友人・知人・家族等に誘われたから」(19.5%)、「時間的に余裕があったから」(18.0%)が多くなっている。

参加してよかったと思うことをみると、「地域社会に貢献できた」(35.9%)が最も多く、次いで「知り合い・友人が増えた」(35.8%)、「楽しかった」(25.1%)が多くなっている。

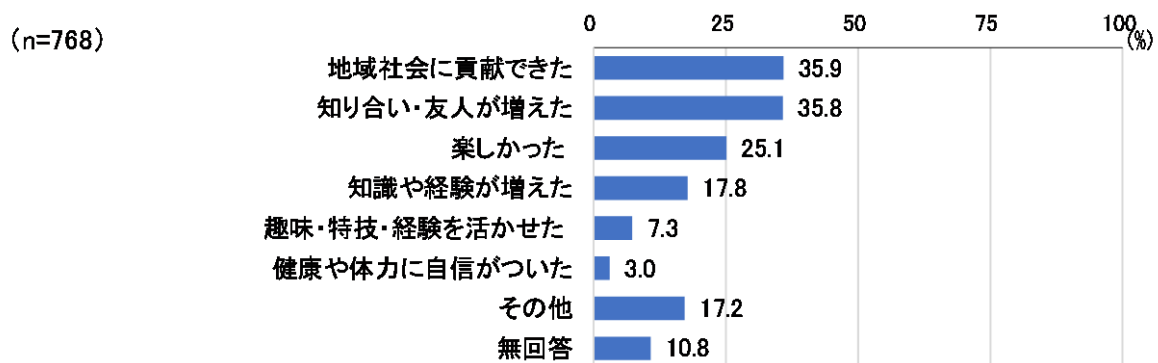
図表 問12 あなたは、地域で行われている様々な活動に参加していますか。または参加したことがありますか。(参加者として、スタッフ・ボランティア等として参加している、参加したことがあるものそれぞれすべてに○)



図表 問12-1 参加したのは、どのようなきっかけでしたか。（主なもの3つまで○）  
 <問12で1つでも「スタッフ・ボランティアとして参加している」を答えた方>



図表 問12-2 あなたがスタッフ・ボランティアとして地域活動に参加してよかったと思うことはなんですか。（主なもの3つまで○）  
 <問12で1つでも「スタッフ・ボランティアとして参加している」を答えた方>

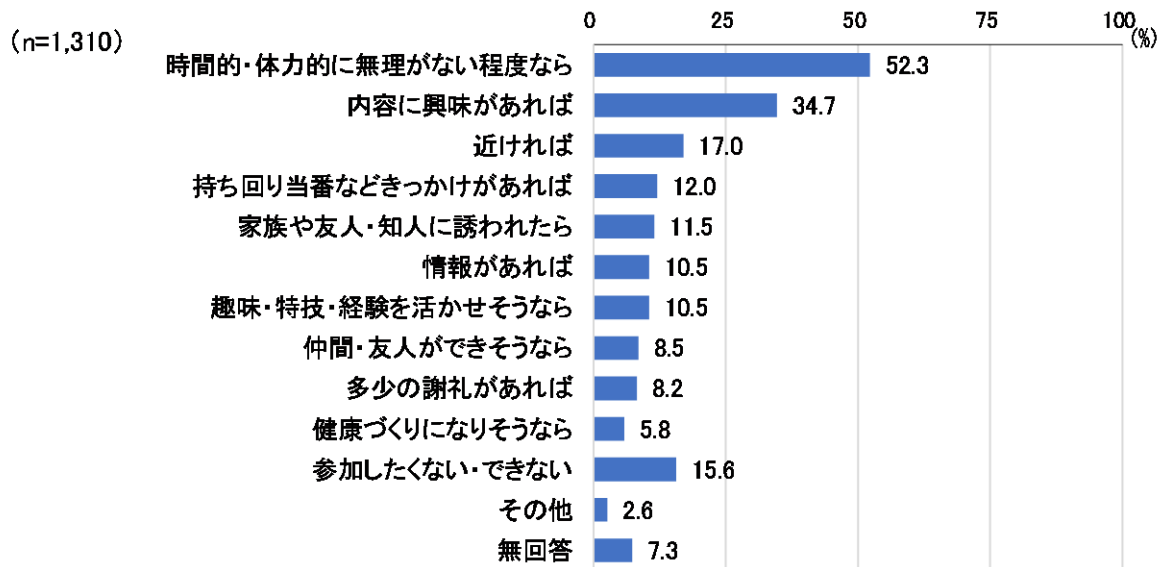


### 問 13 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件

地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件について、「時間的・体力的に無理がない程度なら」が 52.3%と最も多く、次いで「内容に興味があれば」、「近ければ」、「持ち回り当番などきっかけがあれば」が多くなっている。

また、「参加したくない・できない」は 15.6%と 1 割半ばとなっている。

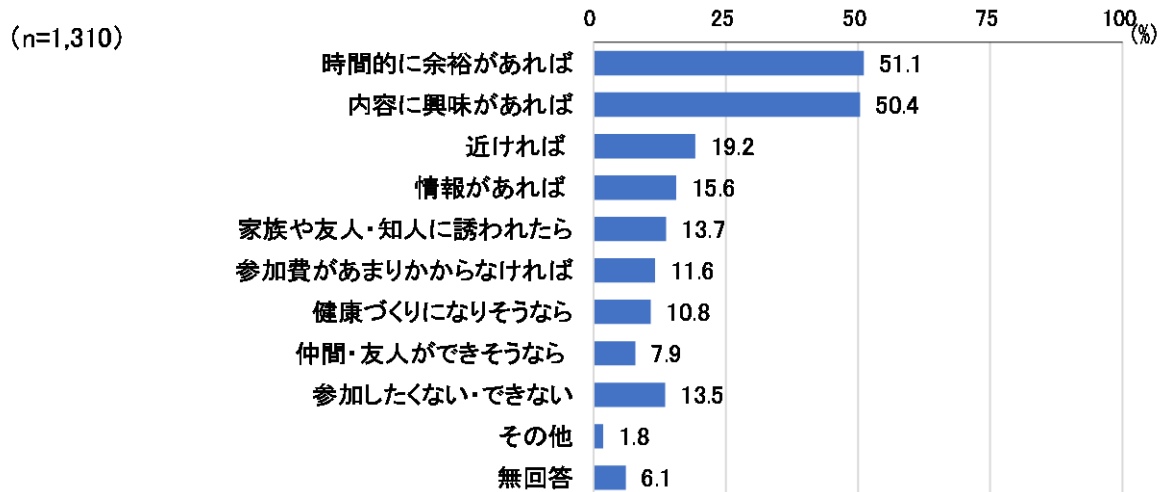
図表 問 13 あなたは、どのような条件であれば地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加したいと思いますか。（主なもの 3 つまで○）



### 問 14 地域活動に参加者として参加する条件

地域活動に参加者として参加する条件について、「時間的に余裕があれば」が51.1%と最も多く、次いで「内容に興味があれば」、「近ければ」、「情報があれば」が多くなっている。

図表 問14 あなたは、今後、どのような条件であれば地域活動に参加者として参加したいと  
 思いますか。（主なもの3つまで○）

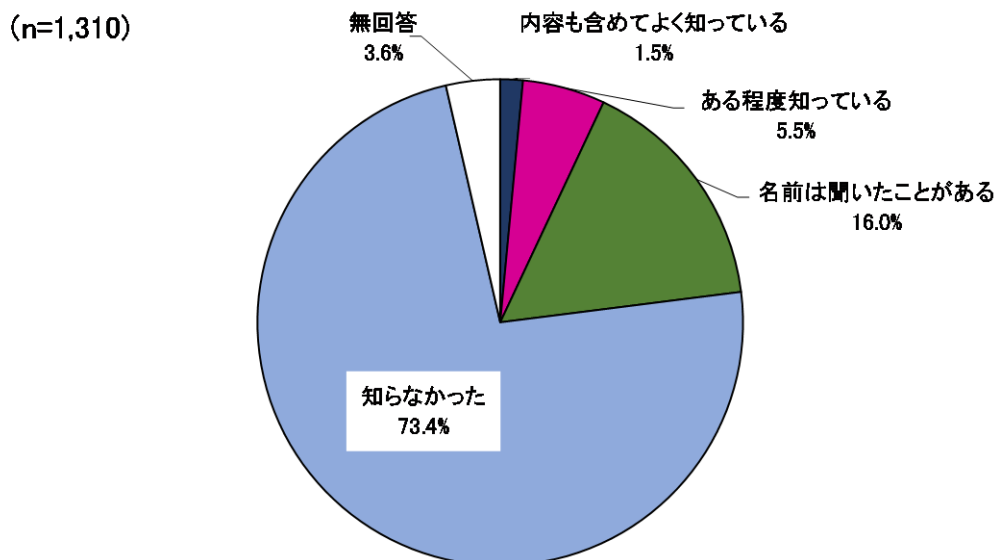


### (4) 福祉保健に関する情報について

#### 問 15 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

『みどりのわ・ささえ愛プラン』の認知度をみると、「内容も含めてよく知っている」、「ある程度知っている」、「名前を聞いたことがある」と答えた人は2割半ばほどにとどまっている。

図表 問 15 あなたは、緑区地域福祉保健計画  
 「みどりのわ・ささえ愛プラン」について知っていますか。（○は1つ）

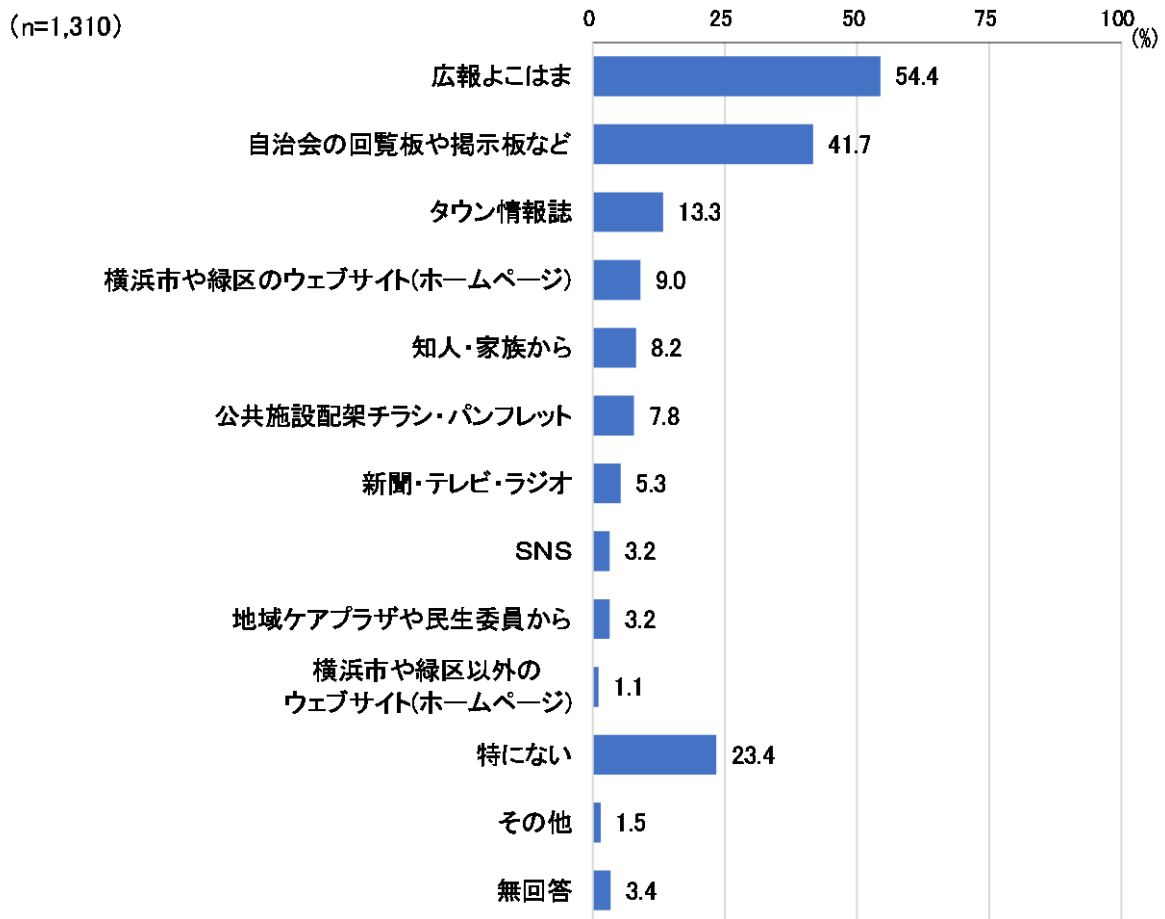




### 問 16 福祉保健に関する情報の入手先

福祉保健に関する情報の入手先として、「広報よこはま」を5割半ば（54.4%）の人が回答し、次いで「自治会の回覧板や掲示板など」（41.7%）、「タウン情報誌」（13.3%）が多くなっている。

図表 問 16 あなたは、地域の福祉保健に関する活動の情報をどこから得ていますか。  
（〇はいくつでも）



(5) 安全・安心について

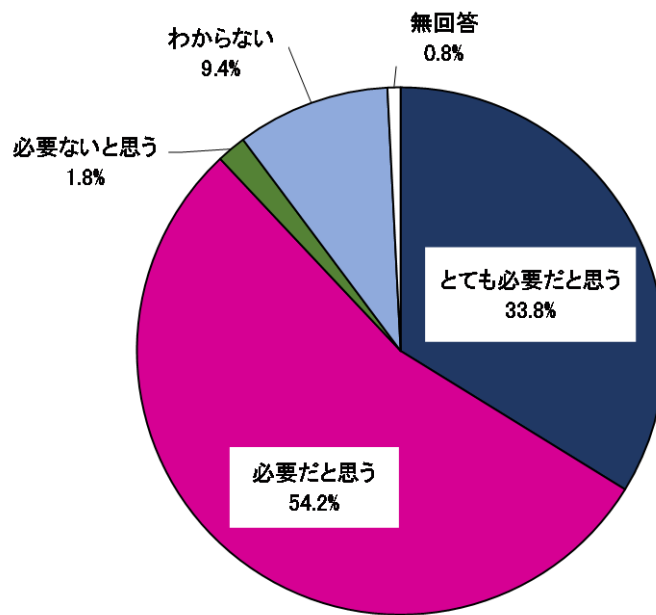
問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、顔の見える関係づくりは『必要』かという問への回答としては、「とても必要だと思う」が33.8%、「必要だと思う」が54.2%と多くなっている。

顔の見える関係づくりを進めるために必要なことは、「近所でのあいさつ・声かけ」(84.1%) や「近所での日頃からの付き合い」(45.2%)、「自治会活動への参加(防犯や美化活動など)」(31.9%) への回答が多くなっている。

図表 問17 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、日頃からお互いを気に掛け合うなど顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。(〇は1つ)

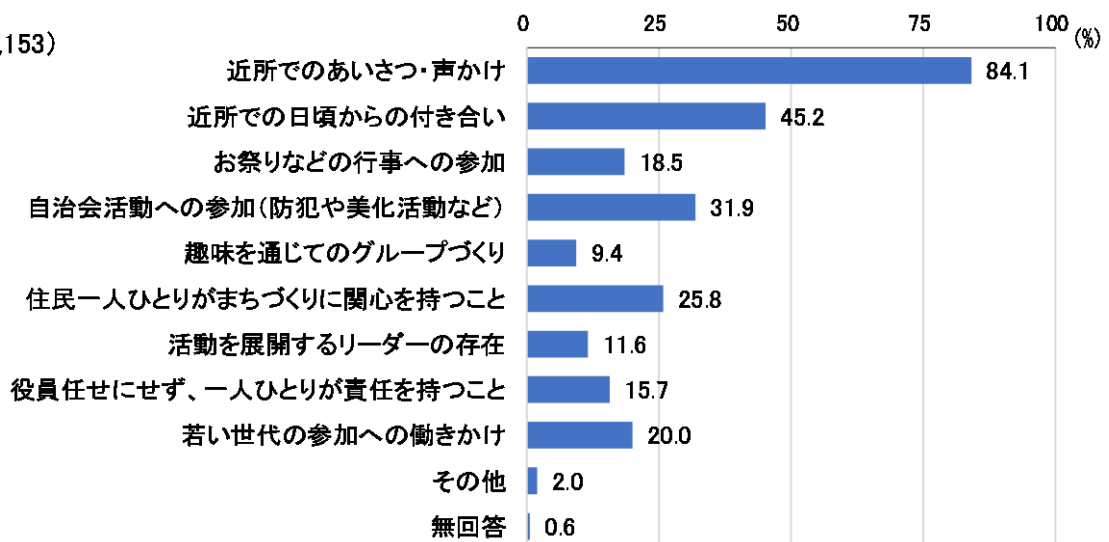
(n=1,310)



図表 問17-1 地域で顔の見える関係づくりを進めるためには何が必要だと思いますか。

<問17で「とても必要だと思う」、「必要だと思う」と答えた方> (〇はいくつでも)

(n=1,153)



(6) 緑区の福祉保健全般について

問 18 地域をよくするための意見・次期プランに期待すること

図表 問18 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、次期プランに期待することがございましたら、ご記入ください。(自由記入の記載)

大分類	件数	中分類	件数
行政施策について	230	<道路・交通・まちづくり>	72
		<福祉・保健>	68
		<広報・周知>	30
		<その他行政施策全般>	60
地域活動について	181	<自治会活動>	47
		<交流活動>	40
		<見守り活動>	12
		<その他地域活動全般>	82
防犯・防災について			39
生活環境について			18
顔の見える関係づくりについて			15
特になし			55
その他			8

※記入があった調査票の件数は382件。回答をテーマ別に分類し、各意見を振り分けています。

複数の分類にまたがる意見が記載されている場合は、それぞれのテーマごとにカウントしています。

## 第4章 クロス集計結果

地域福祉保健計画の地区別計画の区域と同じく 11 地区ごと、性別、年齢別、世帯構成ごとに各設問の回答状況について集計を行った。

### (1) 地区別クロス集計結果

#### 問2 性別・年齢・世帯構成

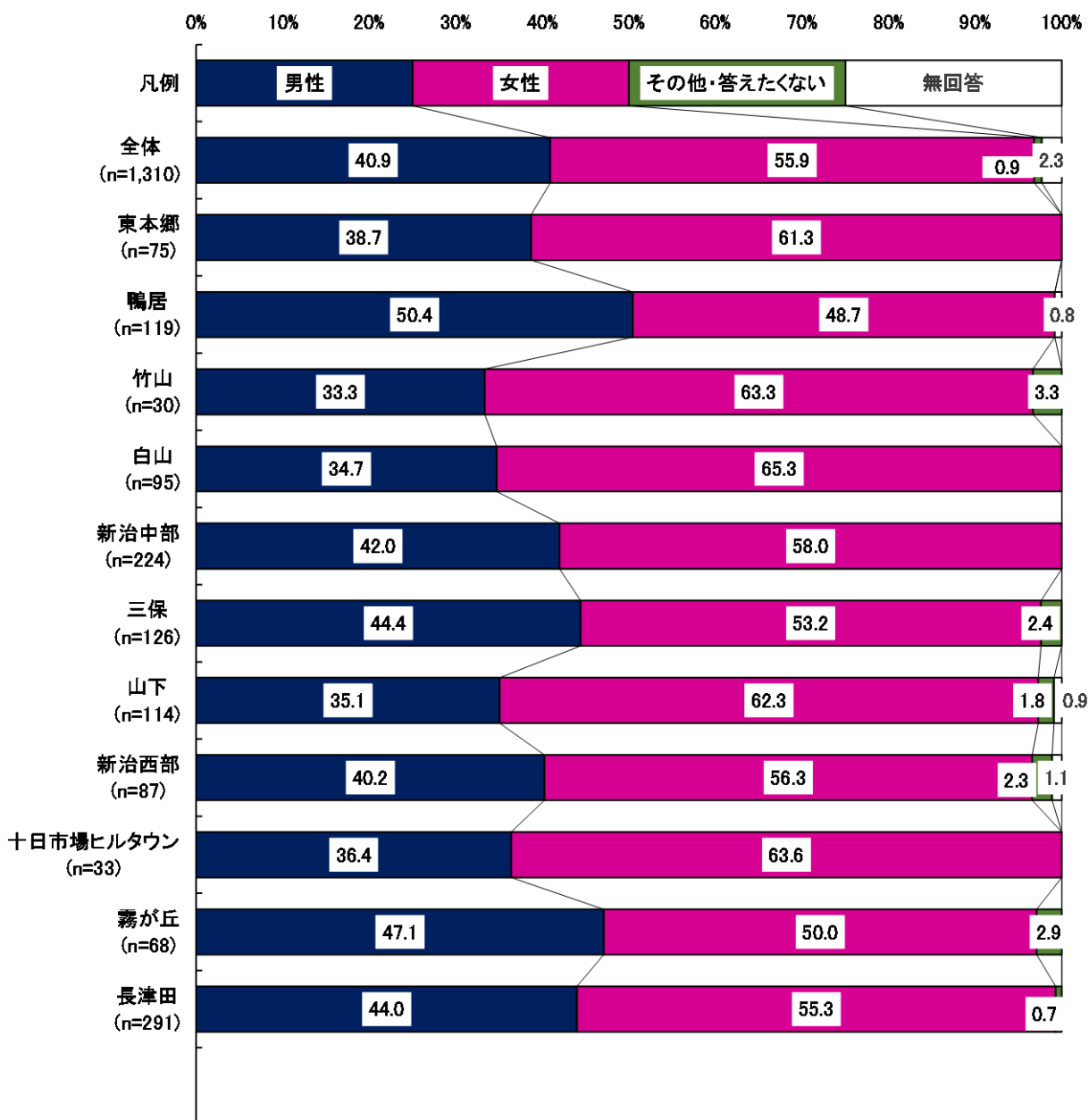
##### <性別>

回答者の性別は、全体でみると女性 55.9%、男性 40.9%で女性が多い。

地区別集計をみると、全体では女性の回答者割合が多いのに対し、鴨居地区は男性の回答者割合が多くなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<性別> (○は1つ)



<年齢>

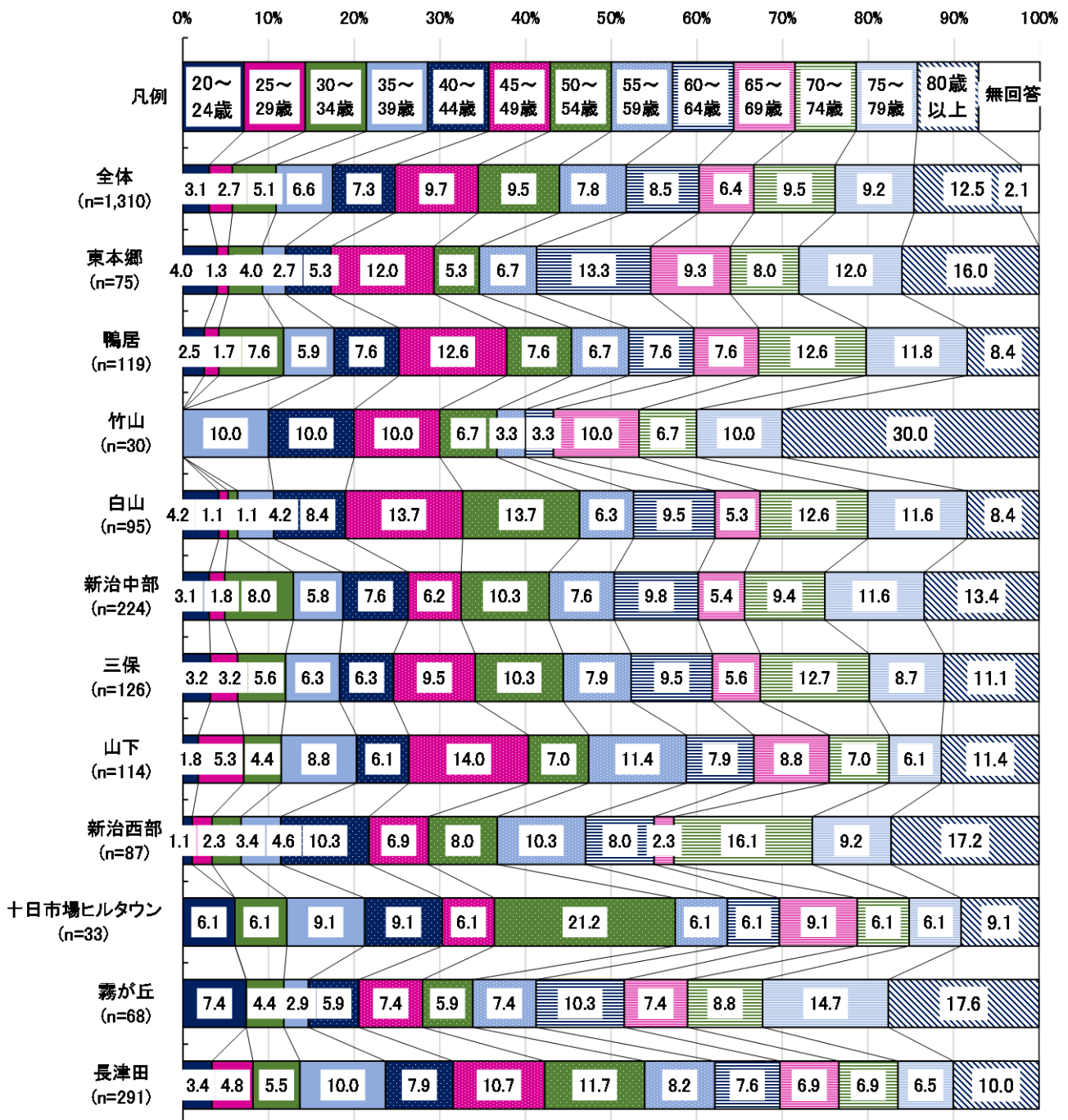
回答者の年齢構成は、全体では70歳代（70歳～79歳）が18.7%で最も多く、50歳代（50歳～59歳）が17.3%、40歳代（40歳～49歳）が17.0%でそれに次いでいる。

地区別集計をみると、長津田地区は20歳代（20歳～29歳）が多く（8.2%）、白山地区は40歳代（40歳～49歳）が多くなっている（22.1%）。

また竹山地区（30.0%）霧が丘地区（17.6%）や新治西部地区（17.2%）は、80歳以上の回答が多くなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<年齢> (〇は1つ)



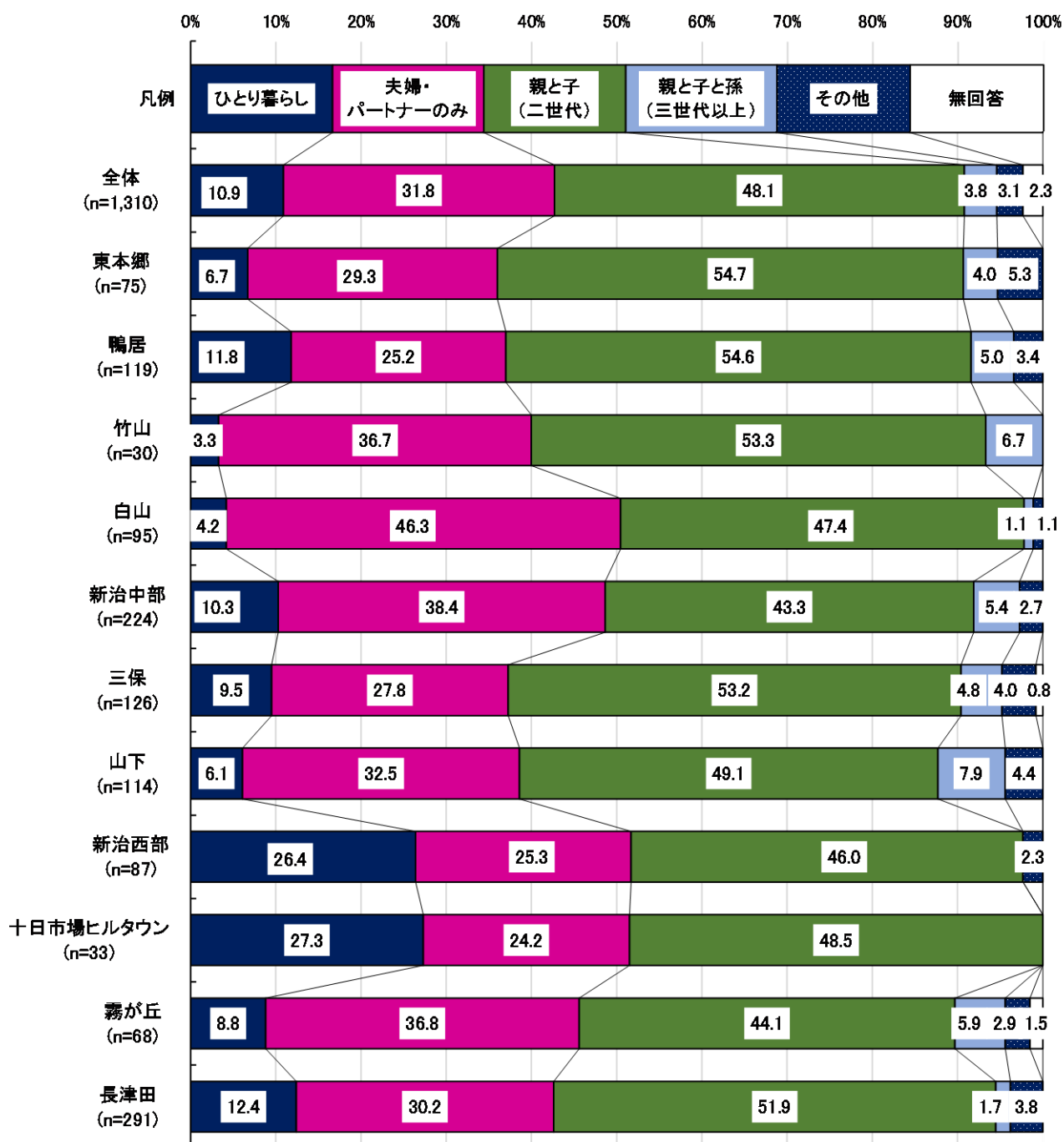
## <世帯構成>

回答者の世帯構成は、全体でみると、「親と子（二世帯）」（48.1%）が最も多く、「夫婦・パートナーのみ」（31.8%）がそれに次いでいる。

地区別集計をみると、全体と比べて、「ひとり暮らし」の回答は、十日市場ヒルタウン地区（27.3%）や新治西部地区（26.4%）、長津田地区（12.4%）、鴨居地区（11.8%）で割合が多くなっている。

図表 問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<世帯構成>（○は1つ）

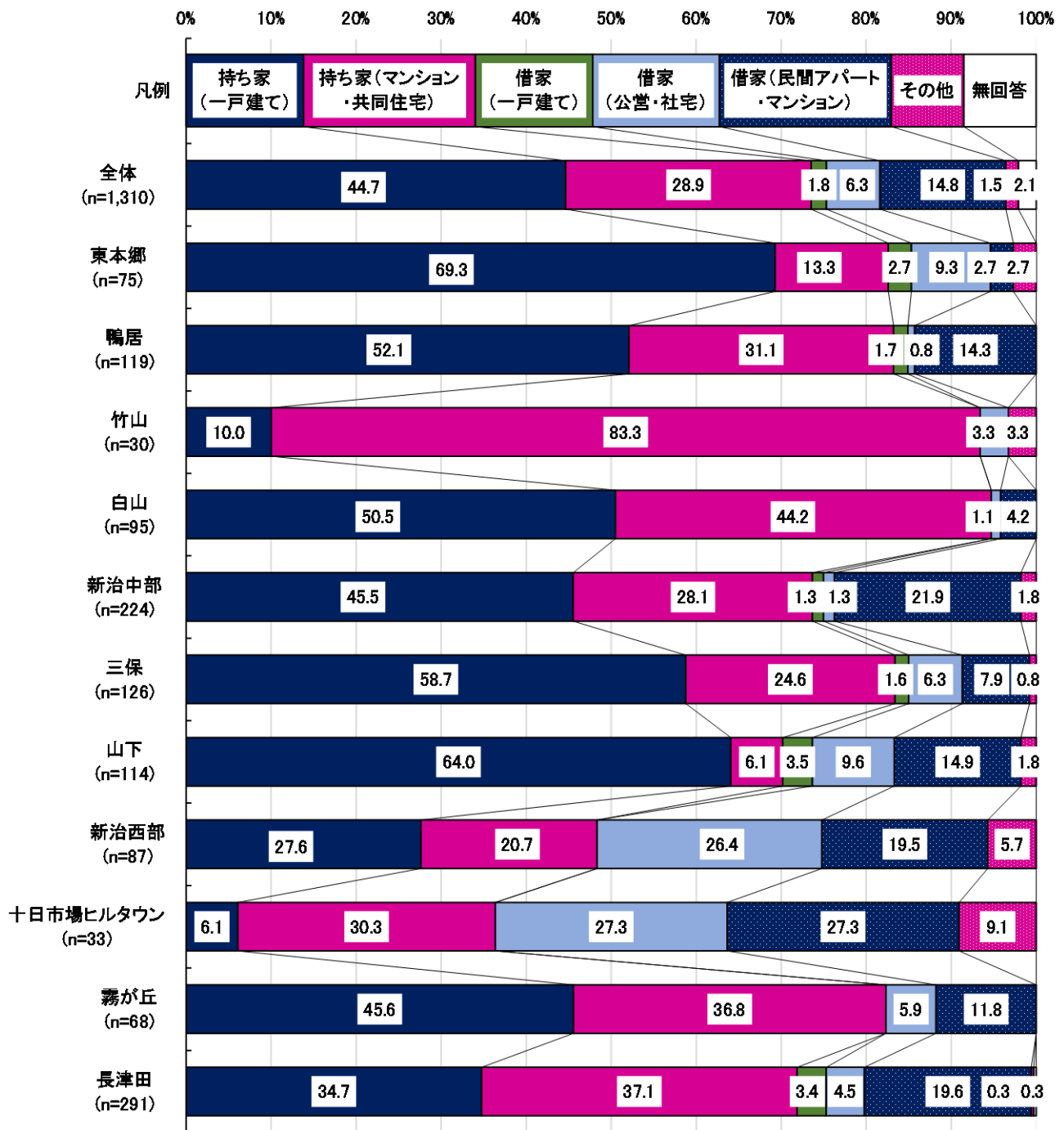


### 問3 住まいの種類

回答者の住まいの種類は、全体をみると、「持ち家（一戸建て）」が4割半ば（44.7%）で最も多く、「持ち家（マンション・共同住宅）」（28.9%）がそれに次いでいる。

地区別集計をみると、全体と比べて、東本郷地区や山下地区、三保地区などは、「持ち家（一戸建て）」の割合が多く、竹山地区は「持ち家（マンション・共同住宅）」の割合が多くなっている。また、十日市場ヒルタウン地区、新治中部地区は、「借家（民間アパート・マンション）」の割合が多くなっている。

図表 問3 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。（○は1つ）

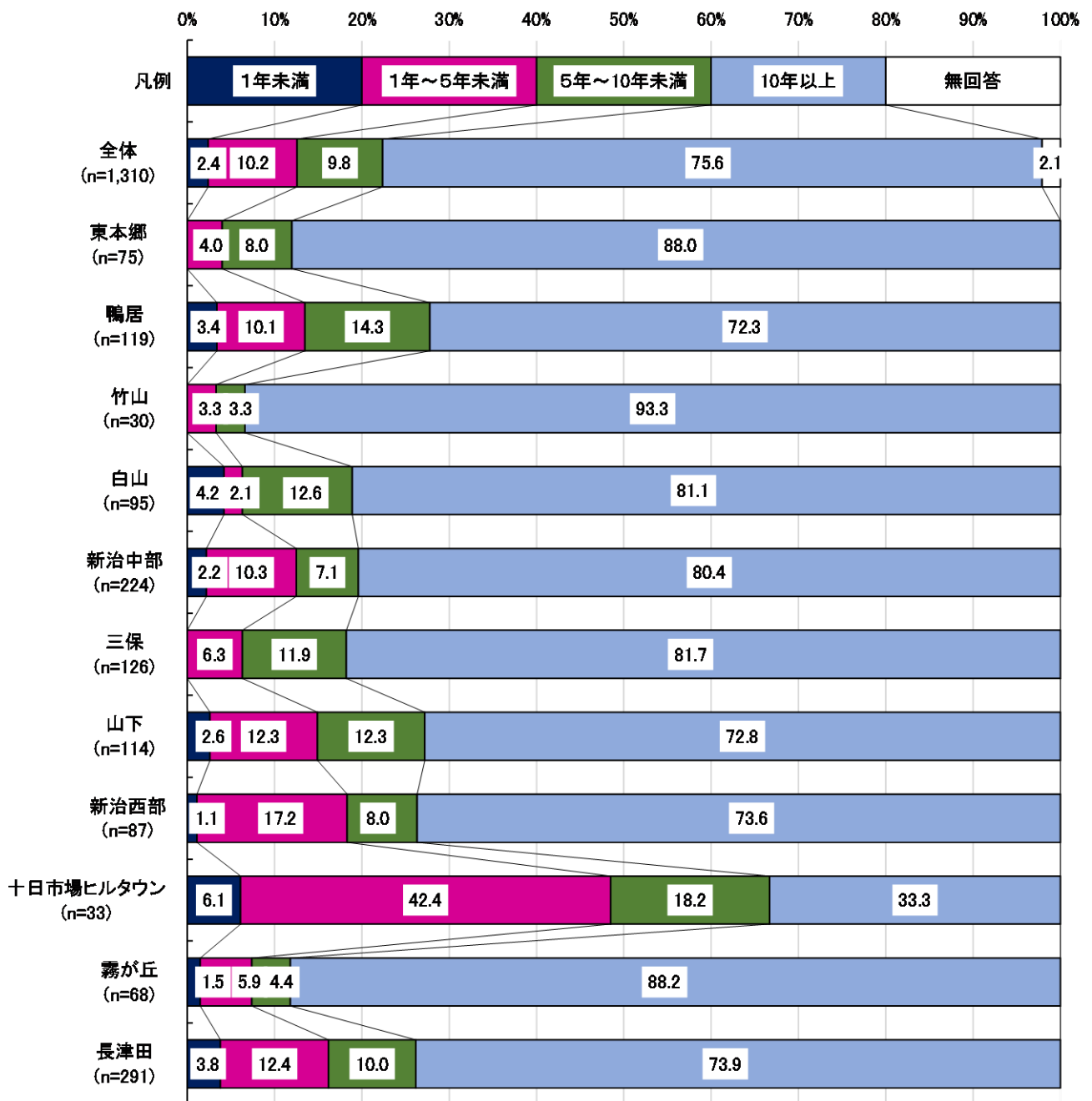


### 問5 居住年数

居住年数は、全体では「10年以上」が75.6%を占めている。次いで「1年以上～5年未満」が10.2%、「5年以上～10年未満」が9.8%となっている。

地区別集計をみると「10年以上」の回答は竹山地区（93.3%）が最も多く、霧が丘地区（83.2%）、東本郷地区（88.0%）がそれに次いで居住年数の長い住民の割合が多くなっている。十日市場ヒルタウン地区は居住年数10年未満の回答が他地区と比べて多く、居住年数の浅い住民の割合が多い。

図表 問5 あなたは緑区にお住まいになって何年になりますか。（○は1つ）



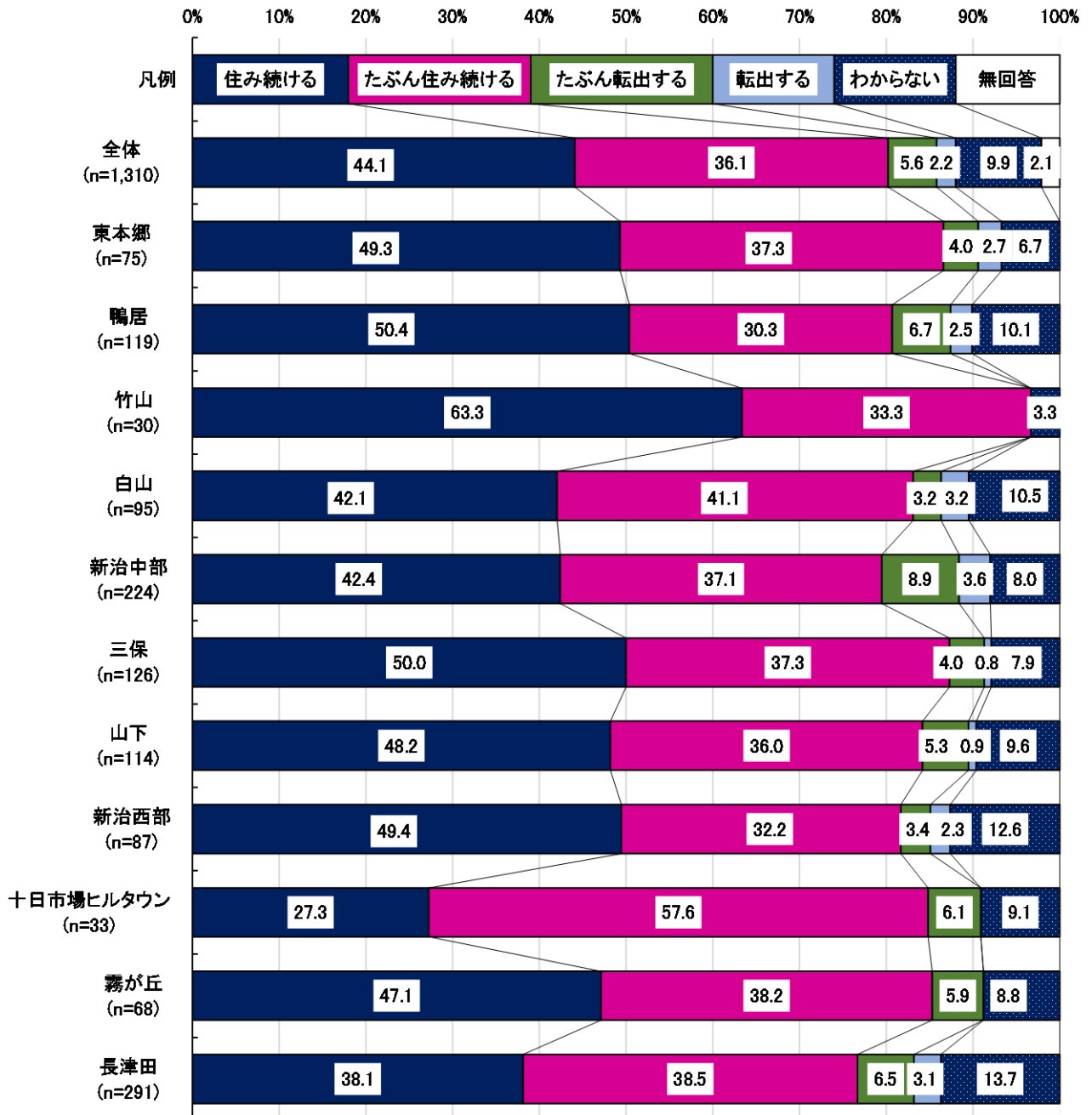


## 問6 居住意向

居住意向は、全体では「住み続ける」が44.1%と最も多く、「たぶん住み続ける」の36.1%と合わせると、80.2%が住み続ける意向となっている。

地区別集計をみると、全地区とも、概ね全体と同じ傾向ではあるが、竹山地区は、「住み続ける」が63.3%と他地区に比べて多くなっている。

図表 問6 あなたはこれからも緑区に住み続けるお気持ちですか。(〇は1つ)

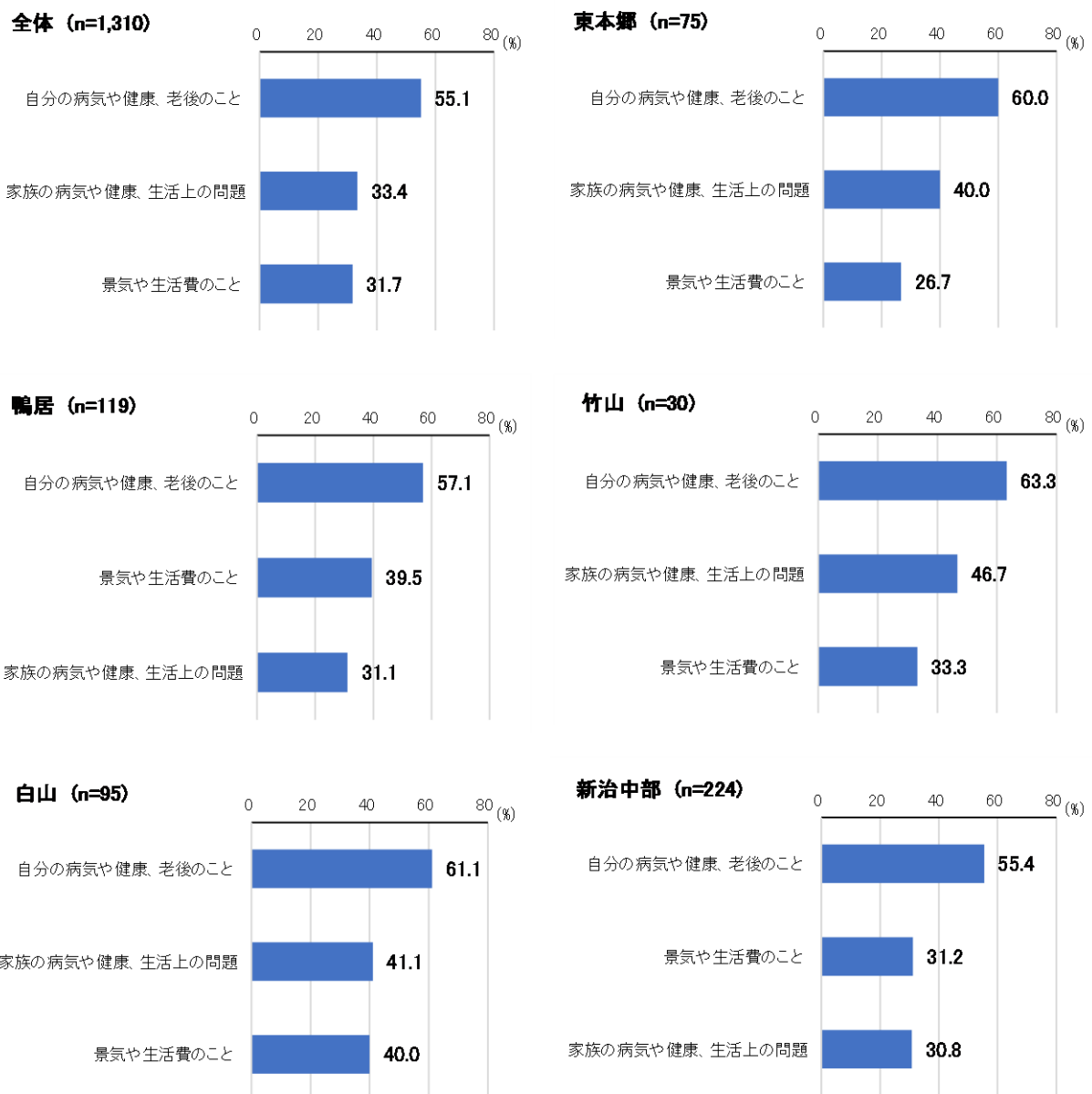


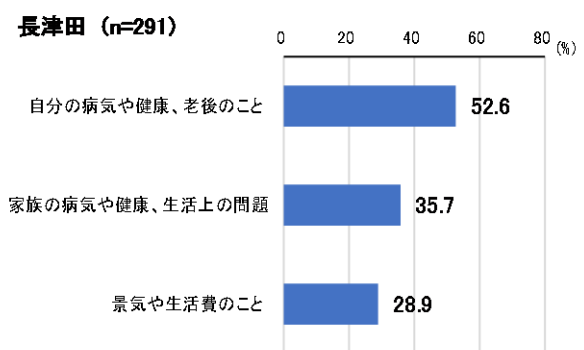
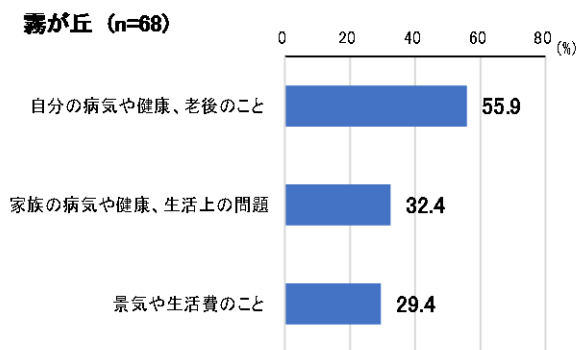
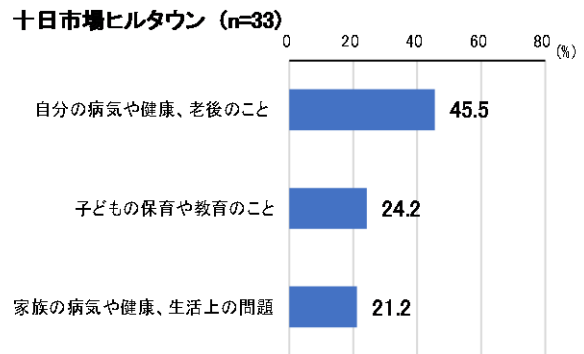
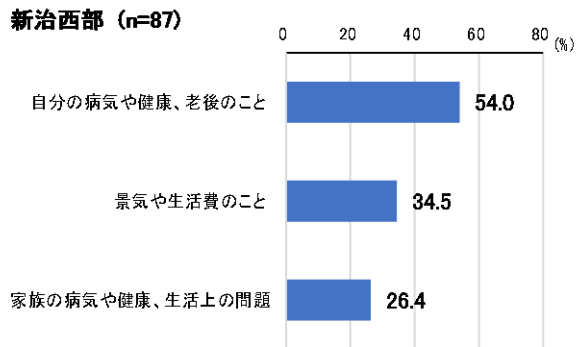
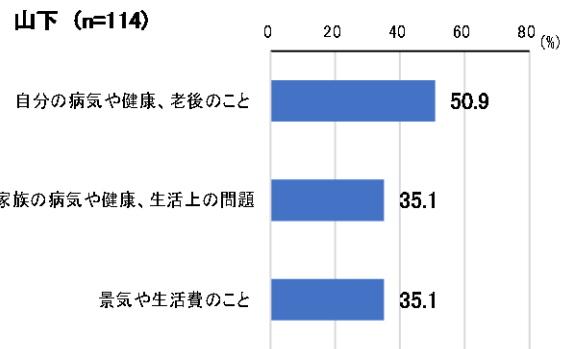
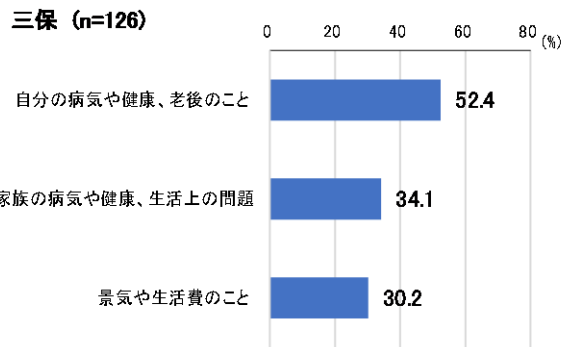
## 問8 心配事や困りごとの有無、内容

心配ごとや困っていることは、全体では「自分の病気や健康、老後のこと」が55.1%で最も多く、次いで「家族の病気や健康、生活上の問題」(33.4%)、「景気や生活費のこと」(31.7%)が多くなっている。

地区別集計では、全地区とも、「自分の病気や健康、老後のこと」と回答した割合が最も多く、次いで8地区は「家族の病気や健康、生活上の問題」、3地区が「景気や生活費のこと」、十日市場ヒルタウン地区は「子どもの保育や教育のこと」と回答した人の割合が多くなっている。

図表 問8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)



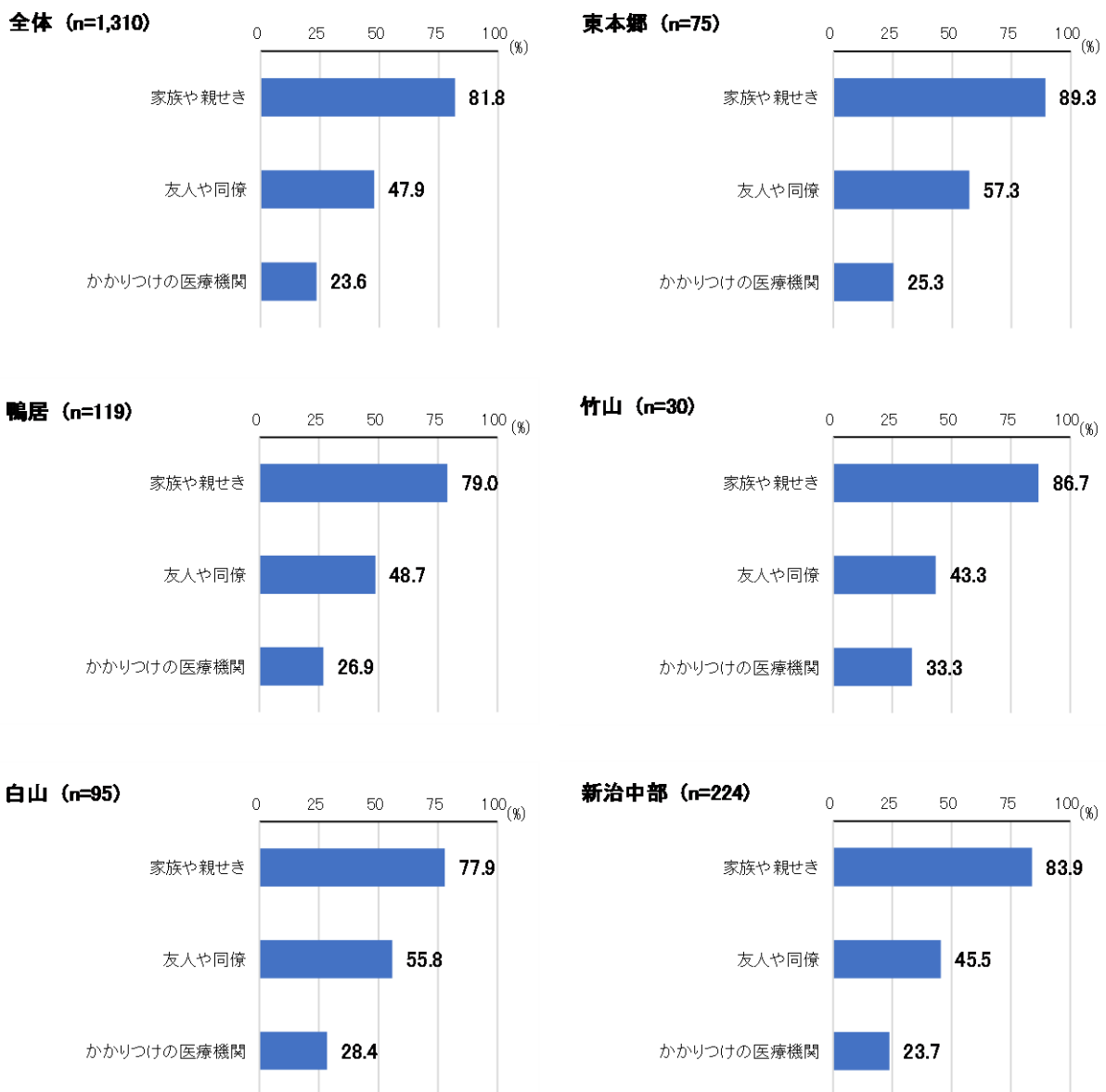


### 問9 心配事や困ったことが起きた時の相談する人や相談先

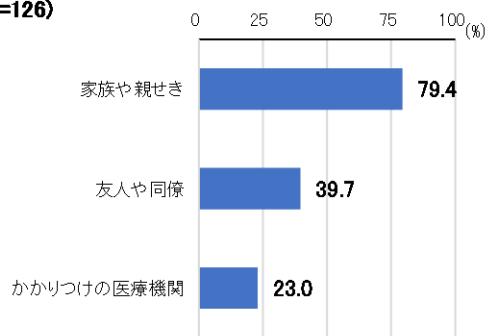
心配ごとや困ったことを相談する人や相談する場所は、全体では「家族や親せき」が81.8%で最も多く、次いで「友人や同僚」(47.9%)、「かかりつけの医療機関」(23.6%)が多くなっている。

地区別集計をみると、全地区とも概ね全体と同じ傾向ではあるが、十日市場ヒルタウン地区では「区役所」(18.2%)、霧が丘地区では「近所の人」(19.1%)と回答した人の割合が多くなっている。

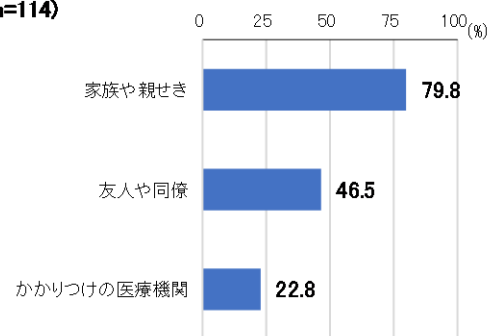
図表 問9 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人や相談する場所がありますか。それは、誰・どこですか（「相談したことがある」、または「相談しようと思う」を含めてお答えください）。（あてはまる番号すべてに○）



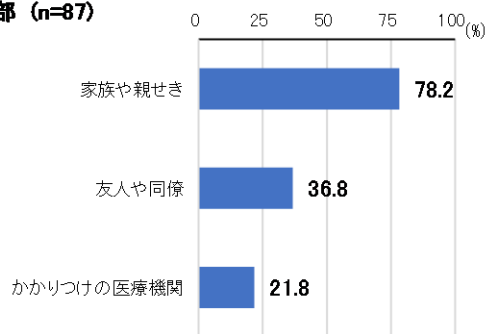
三保 (n=126)



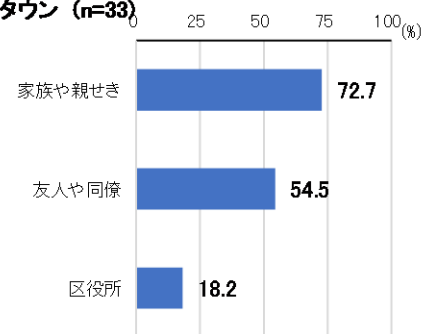
山下 (n=114)



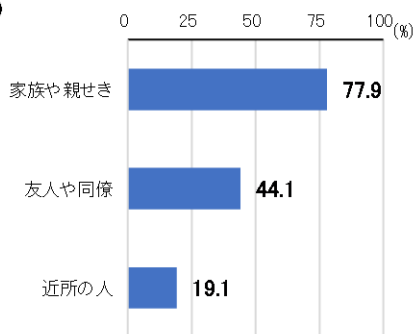
新治西部 (n=87)



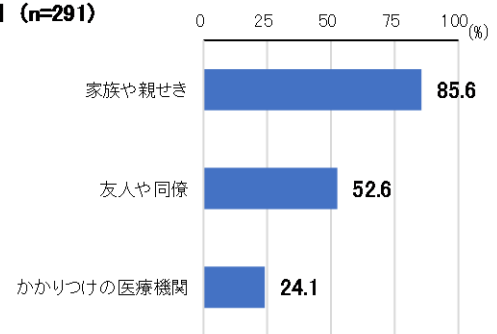
十日市場ヒルタウン (n=33)



霧が丘 (n=68)



長津田 (n=291)

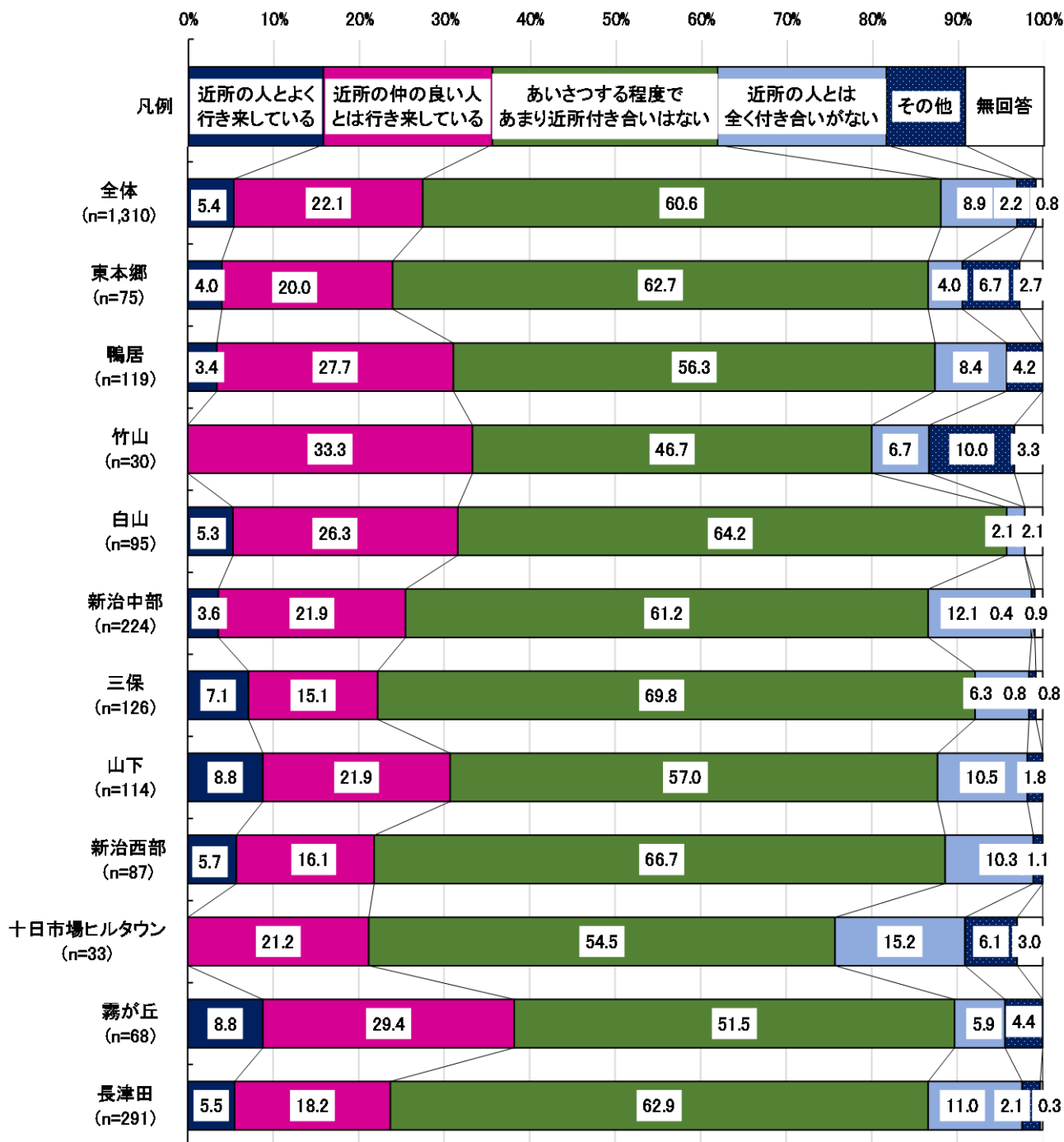


### 問10 近所付き合い

近所付き合いをみると、全体では「あいさつする程度であまり近所付き合いはない」が60.6%と多くなっている。

地区別集計をみると、全地区とも概ね全体と同じ傾向ではあるが、三保地区は「あいさつする程度であまり近所付き合いはない」(69.8%)が他地区に比べて多くなっている。

図表 問10 あなたご自身は、どのような近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)



## 問12 地域活動への参加状況

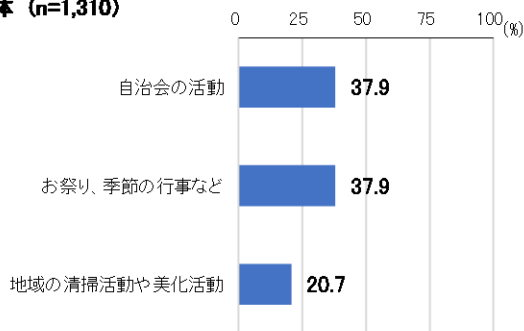
地域活動への参加について、全地区で「自治会の活動」や「お祭り、季節の行事など」に、参加者、スタッフ・ボランティア等として参加している方が多くなっている。

地区別集計では、参加者として参加している人の割合は、6地区で「自治会の活動」、5地区で「お祭り、季節の行事など」が最も多くなっている。白山地区、三保地区では、「子ども会の活動」が第3位の回答となっている。

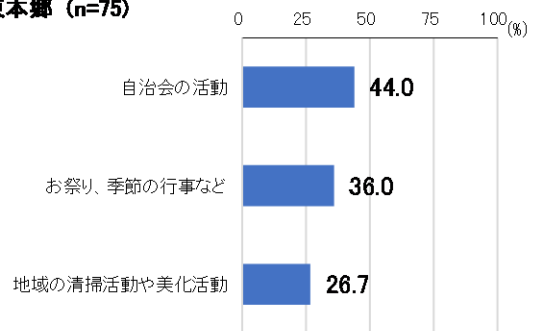
図表 問12 あなたは、地域で行われている様々な活動に参加していますか。または参加したことがありますか。（参加者として、スタッフ・ボランティア等として参加している、参加したことがあるものそれぞれすべてに○）

### <参加者として参加>

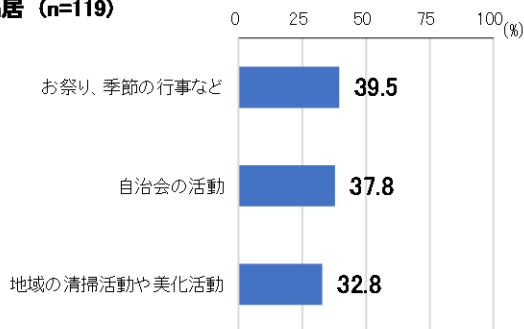
全体 (n=1,310)



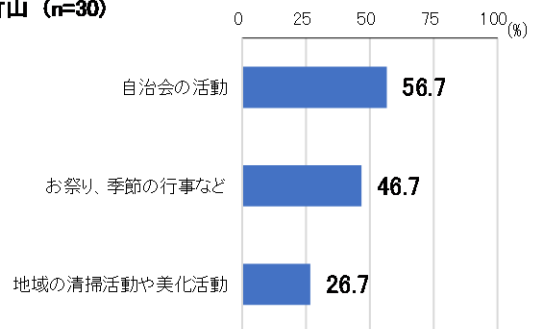
東本郷 (n=75)

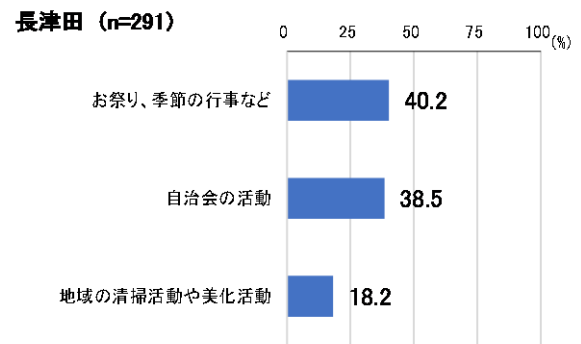
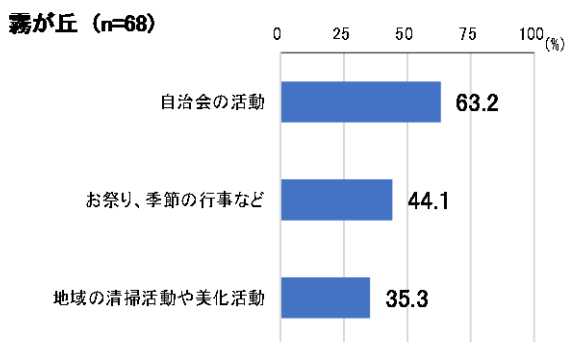
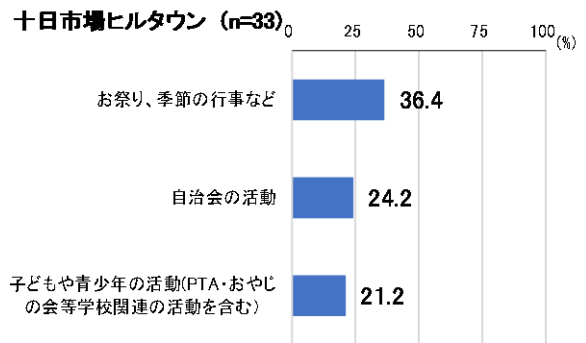
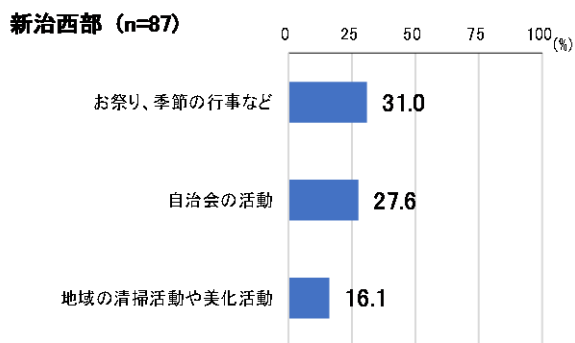
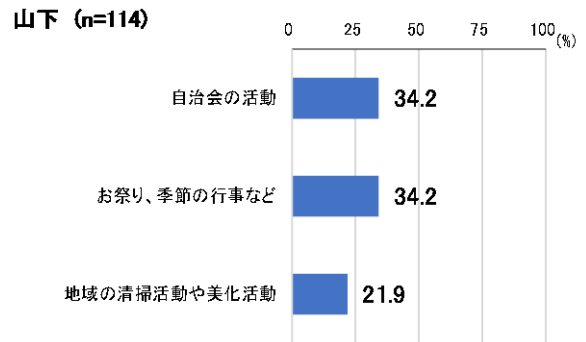
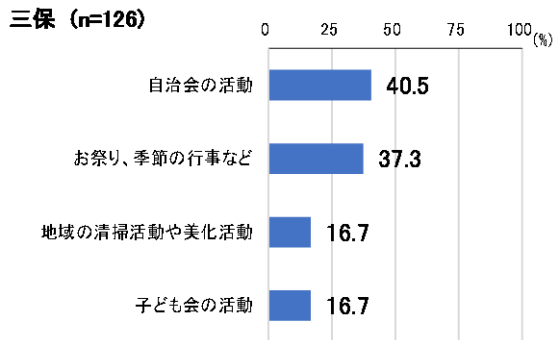
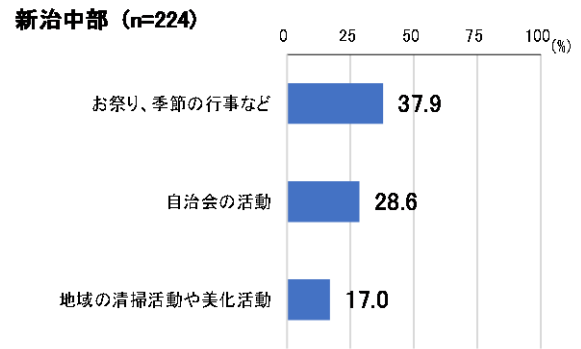
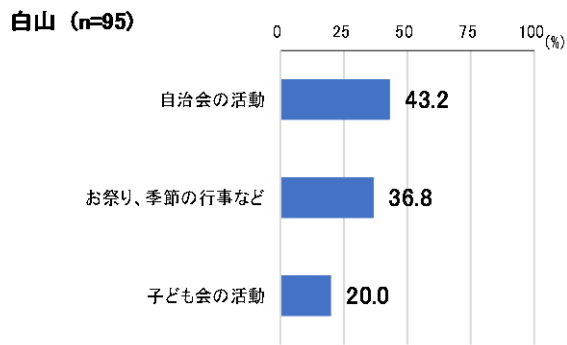


鴨居 (n=119)



竹山 (n=30)



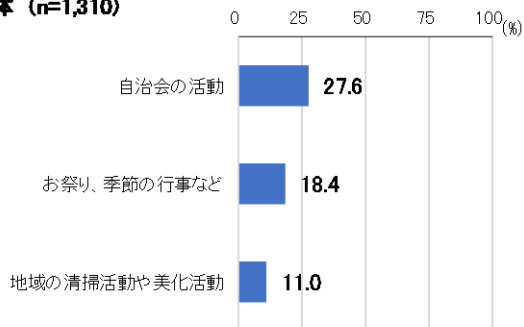




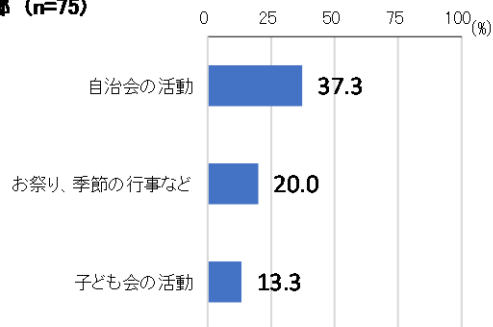
スタッフ・ボランティア等としての参加は、全地区で「自治会の活動」と回答した人の割合が高い。次いで、10地区で「お祭り、季節の行事など」、十日市場ヒルタウン地区では、「子どもや青少年の活動」に参加した人の割合が高くなっている。3番目に多いのは5地区で「子ども会の活動」、4地区で「地域の清掃活動や美化活動」となっている。

＜スタッフ・ボランティア等として参加＞

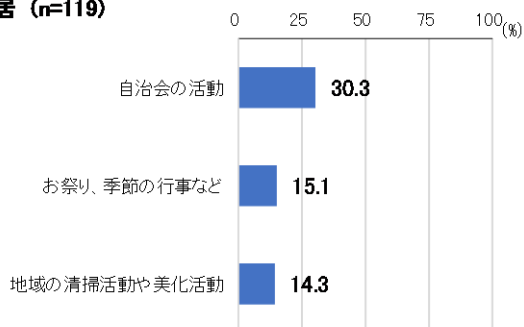
全体 (n=1,310)



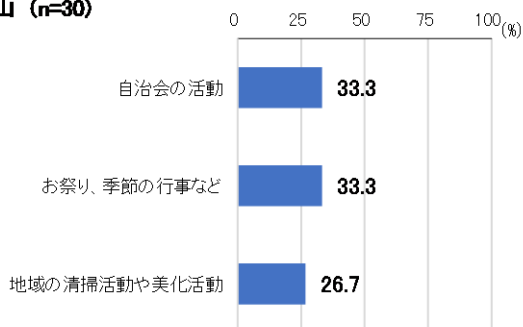
東本郷 (n=75)



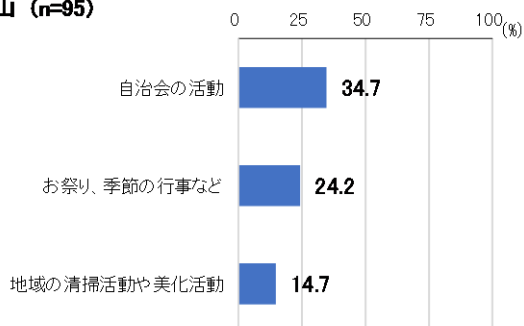
鴨居 (n=119)



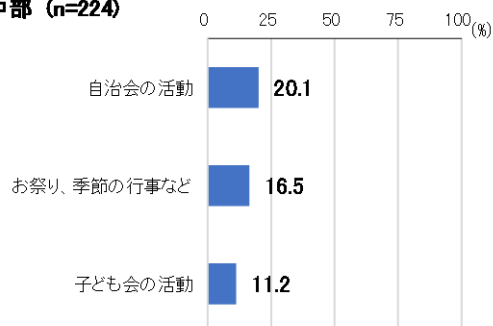
竹山 (n=30)

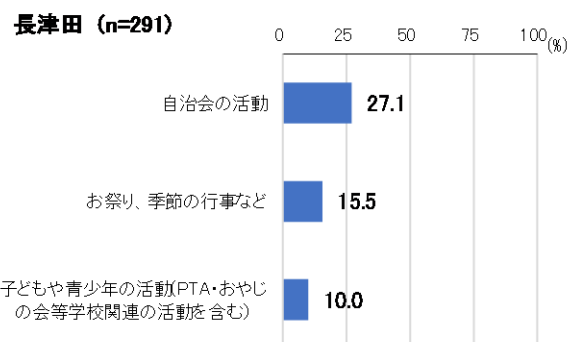
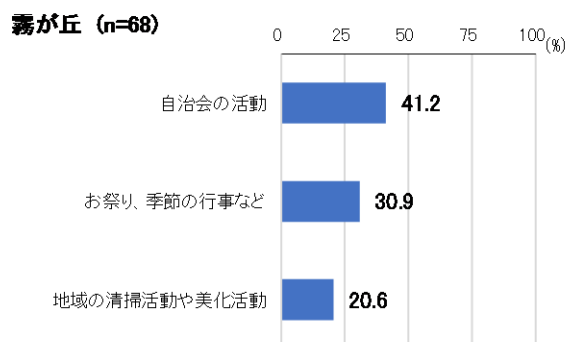
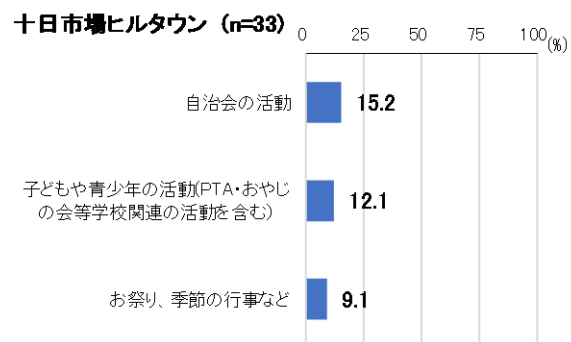
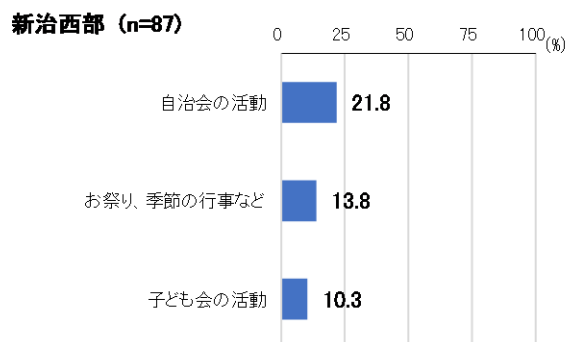
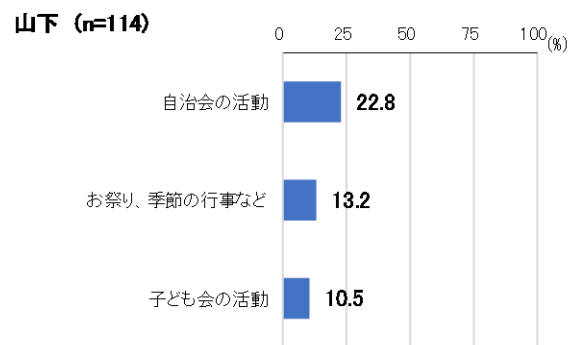
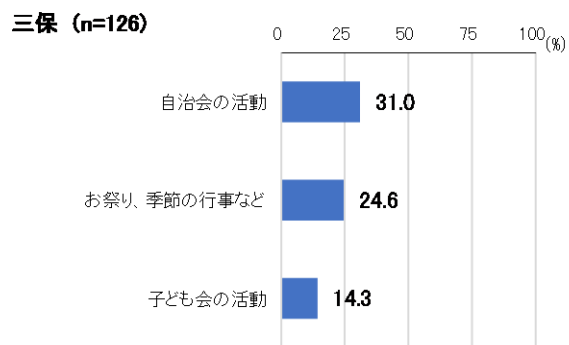


白山 (n=95)



新治中部 (n=224)



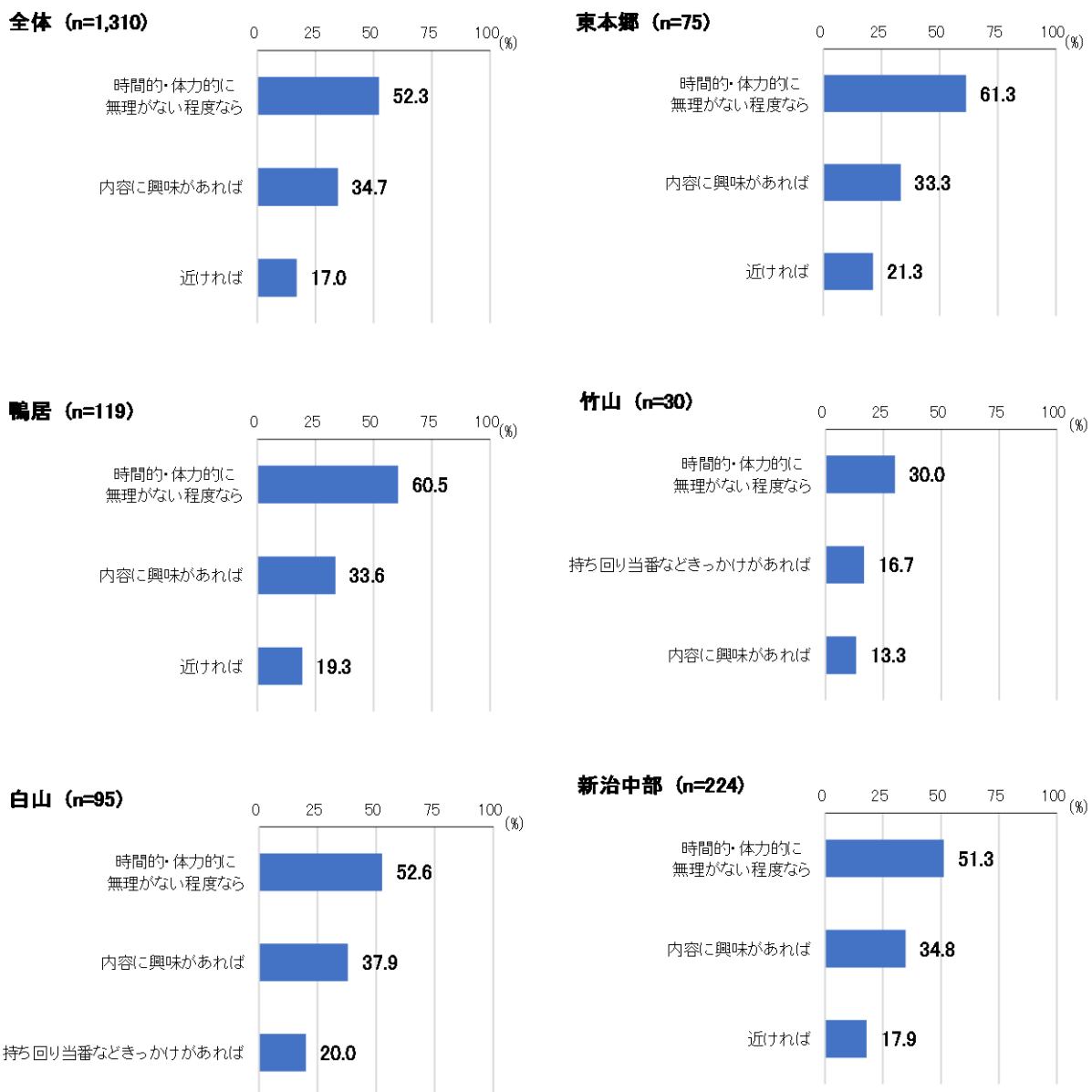


### 問 13 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件

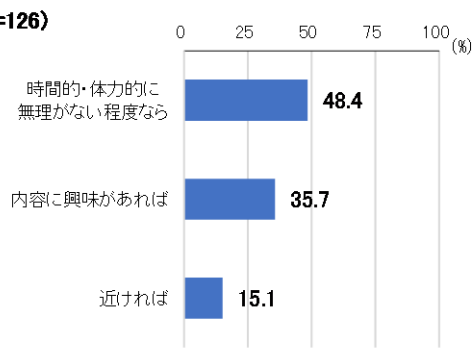
地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件について、全地区で「時間的・体力的に無理がない程度なら」が多くなっている。

地区別集計をみると、全地区とも概ね全体と同じ傾向ではあるが、竹山地区、白山地区は、「持ち回り当番などきっかけがあれば」が多くなっている。また、新治西部地区では「趣味・特技・経験を活かそうなら」(16.1%)、霧が丘地区では「家族や友人・知人に誘われたら」(20.6%)が他地区に比べて多くなっている。

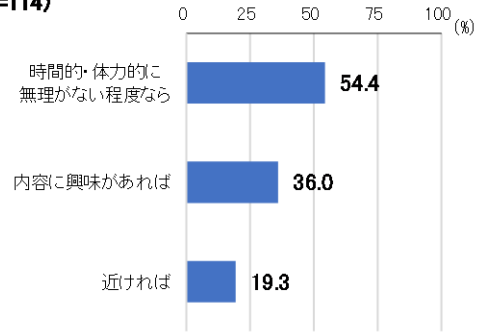
図表 問 13 あなたは、どのような条件であれば地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加したいと思いますか。(主なもの3つまで○)



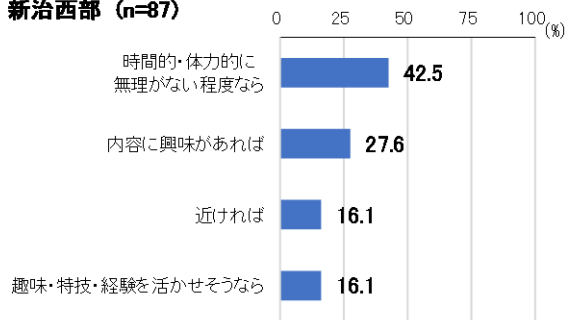
三保 (n=126)



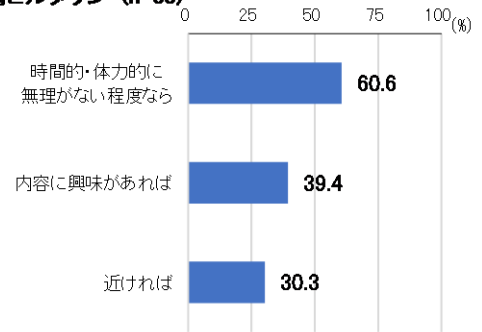
山下 (n=114)



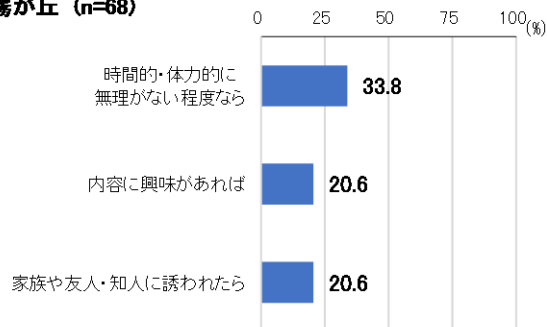
新治西部 (n=87)



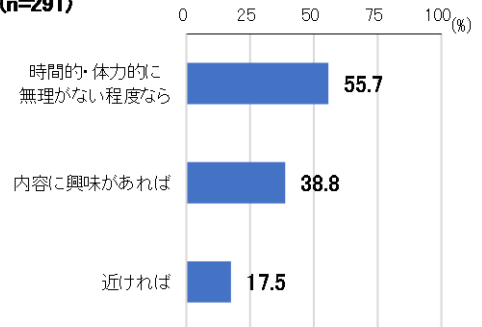
十日市場ヒルタウン (n=33)



霧が丘 (n=68)



長津田 (n=291)

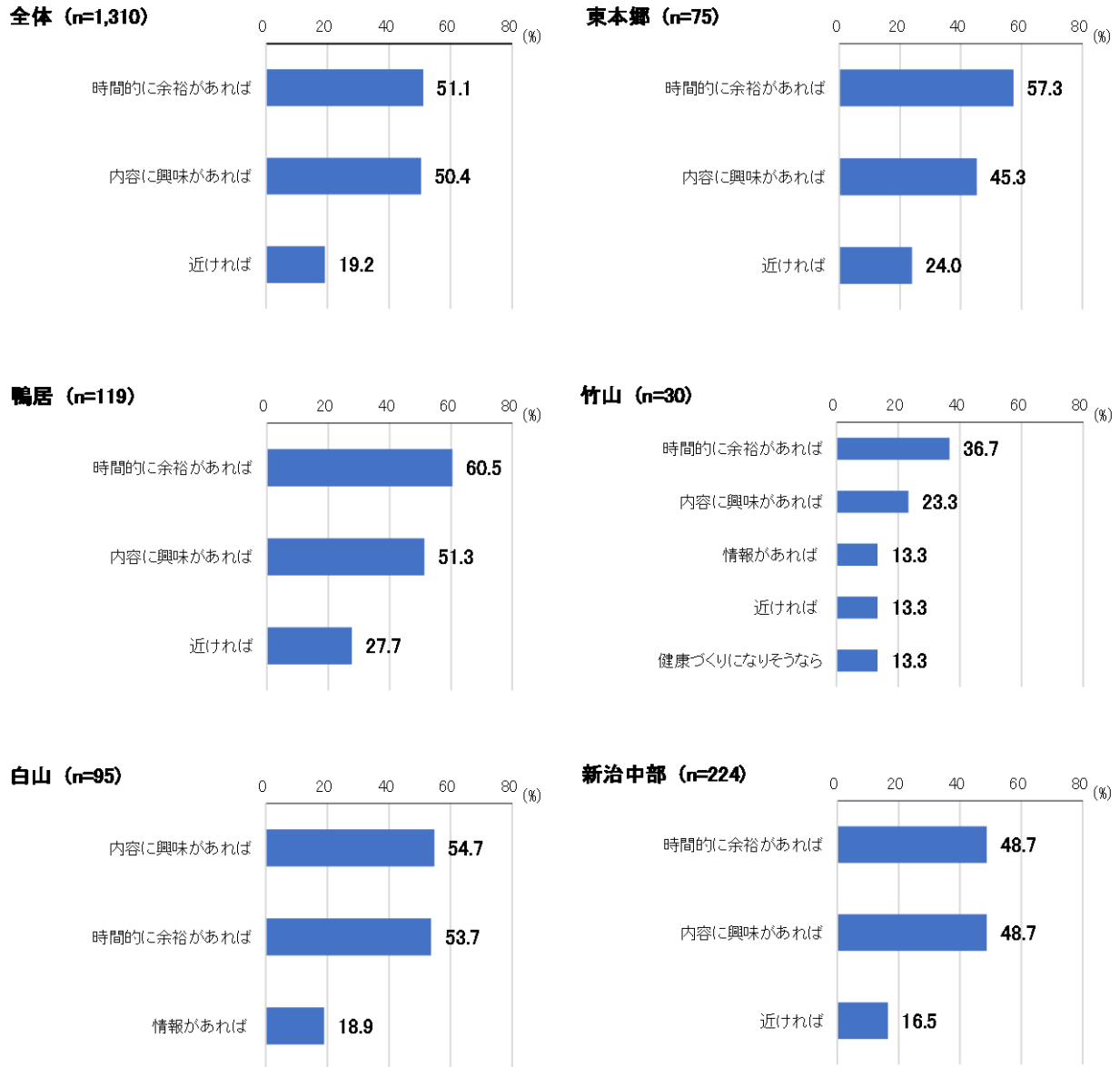


## 問 14 地域活動に参加者として参加する条件

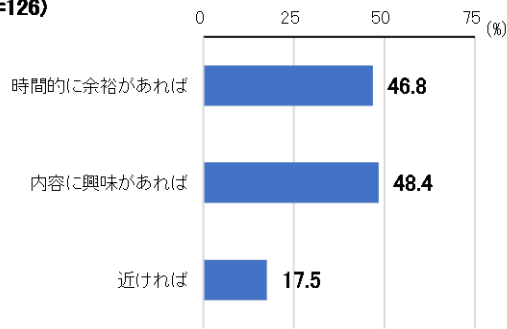
地域活動に参加者として参加する条件について、全地区で「時間的に余裕があれば」、「内容に興味があれば」が多くなっている。

地区別集計では、竹山地区では「健康づくりになりそうなら」、霧が丘地区は「家族や友人・知人に誘われたら」が他地区に比べて多くなっている。

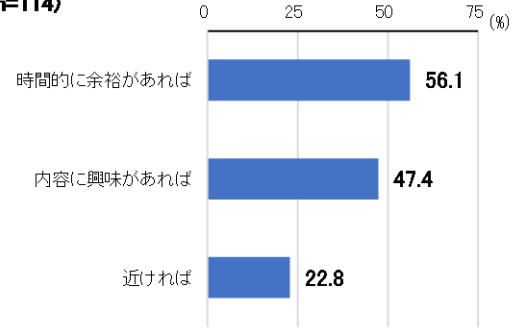
図表 問 14 あなたは、今後、どのような条件であれば地域活動に参加者として参加したいと思いますか。（主なもの3つまで○）



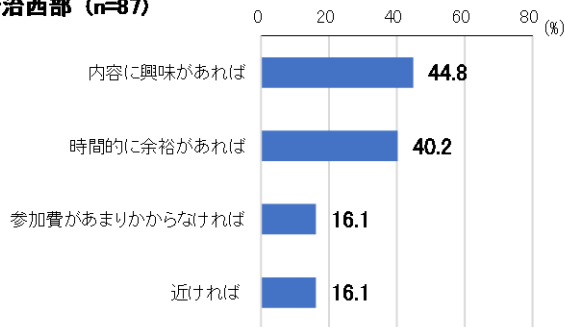
三保 (n=126)



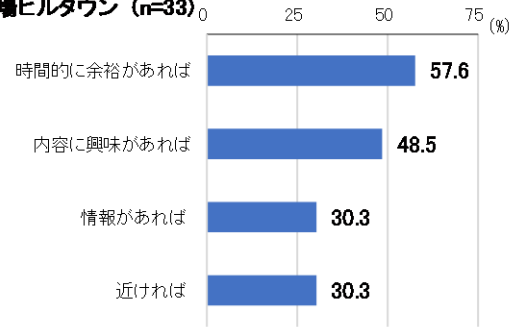
山下 (n=114)



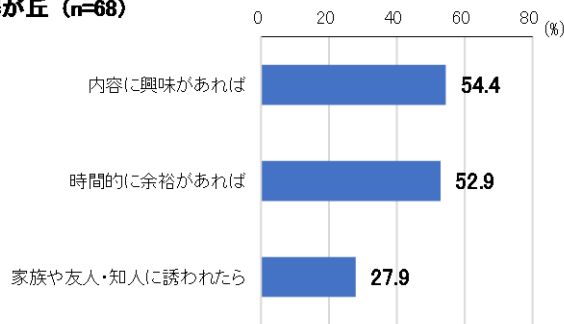
新治西部 (n=87)



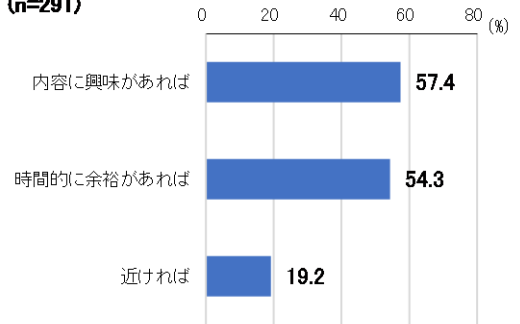
十日市場ヒルタウン (n=33)



霧が丘 (n=68)



長津田 (n=291)

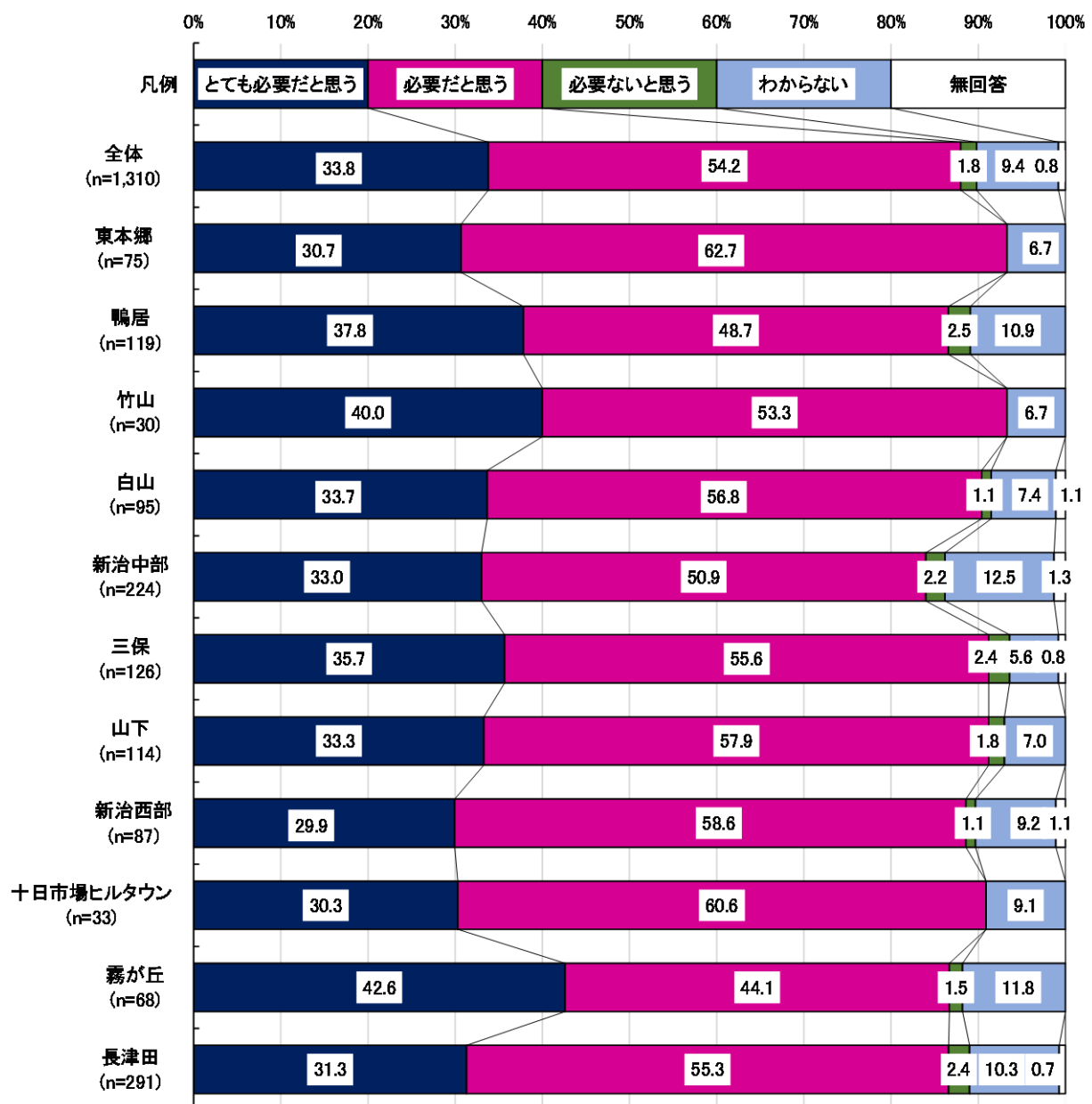


### 問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

災害時に顔の見える関係づくりは『必要』かという問への回答としては、全体で見ると、「とても必要だと思う」が33.8%、「必要だと思う」が54.2%と多くなっている。

地区別集計をみると、全体と比べて、霧が丘地区は「とても必要だと思う」(42.6%)が多く、東本郷地区、竹山地区では、「とても必要だと思う」と「必要だと思う」の合計が9割を超えている。

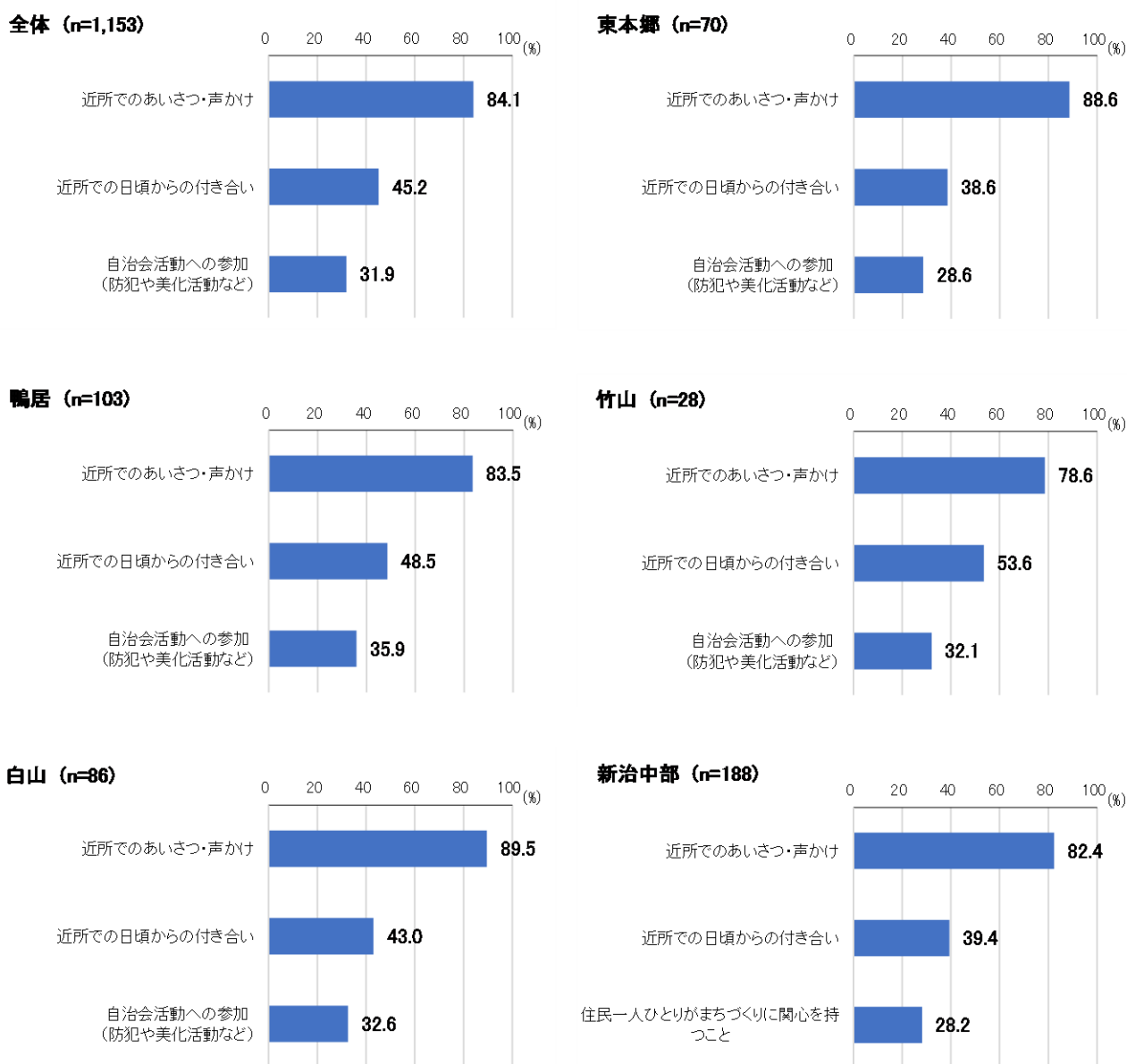
図表 問17 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、日頃からお互いを気に掛け合うなど顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。(〇は1つ)



顔の見える関係づくりのために必要なことは、全体で見ると、「近所でのあいさつ・声かけ」が多い。

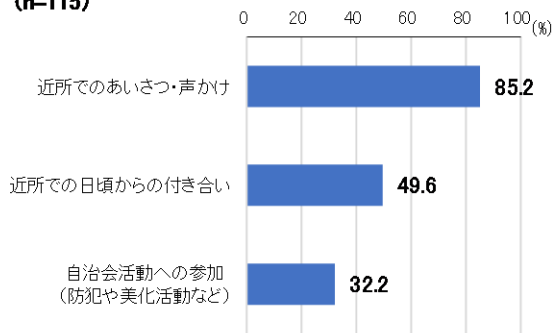
地区別集計をみると、新治中部地区、十日市場ヒルタウン地区では「住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと」が多くなっている。霧が丘地区では他の地区と比べて「自治会活動への参加」が多くなっている。

図表 問17-1 地域で顔の見える関係づくりを進めるためには何が必要だと思いますか。  
 <問17で「とても必要だと思う」、「必要だと思う」と答えた方> (〇はいくつでも)

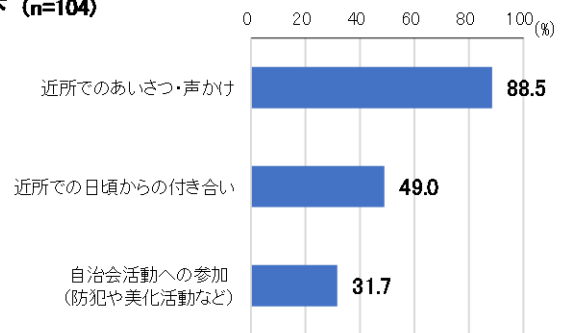




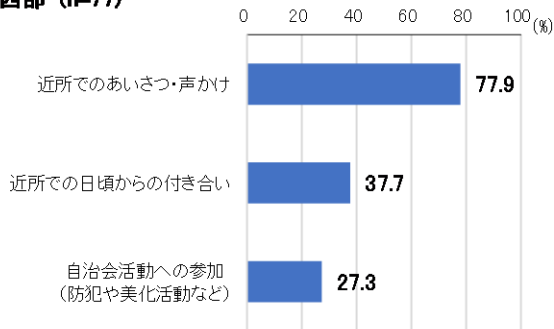
三保 (n=115)



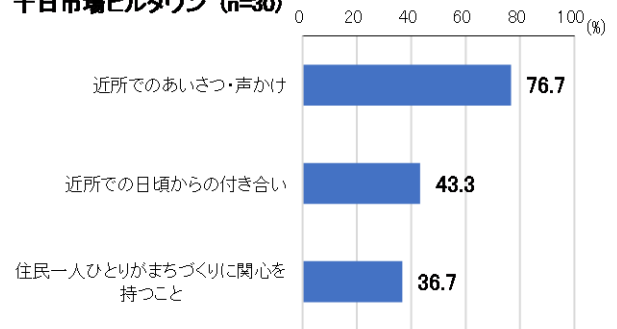
山下 (n=104)



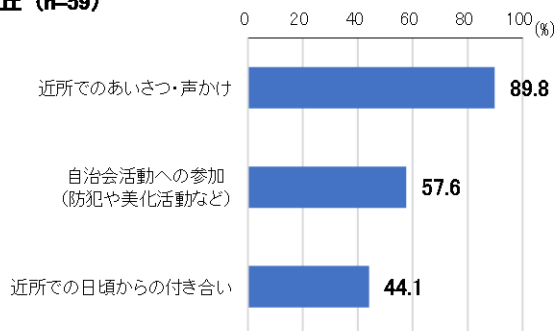
新治西部 (n=77)



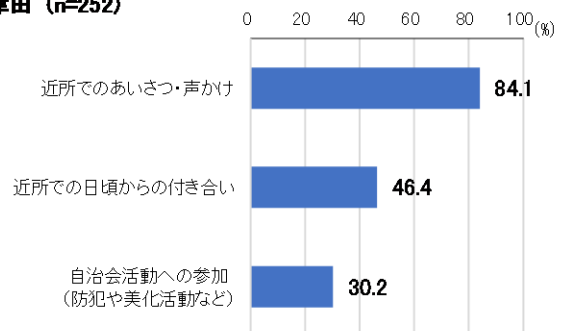
十日市場ヒルタウン (n=30)



霧が丘 (n=59)



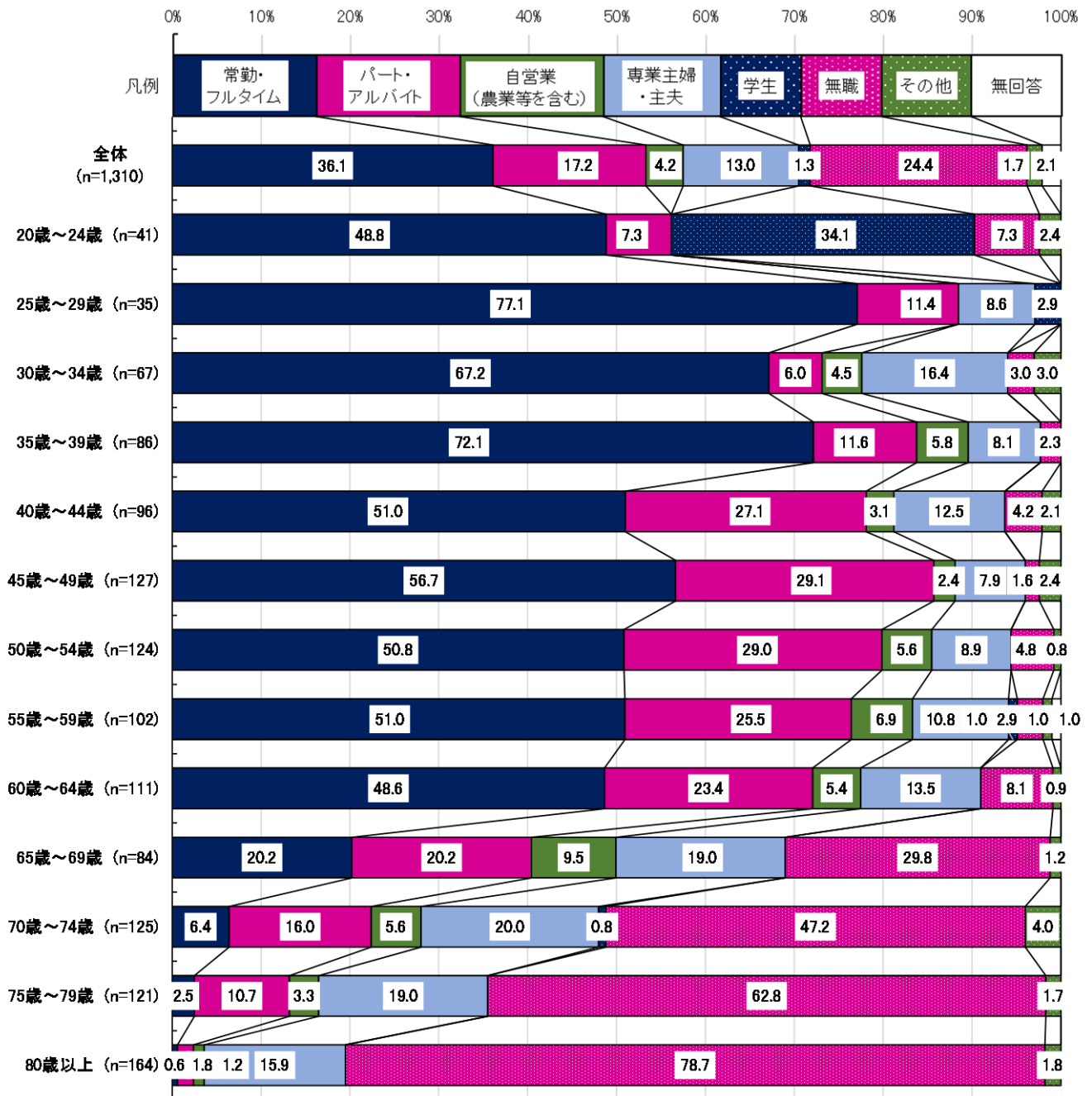
長津田 (n=252)



(2) 性別・年齢別、質問間クロス集計結果

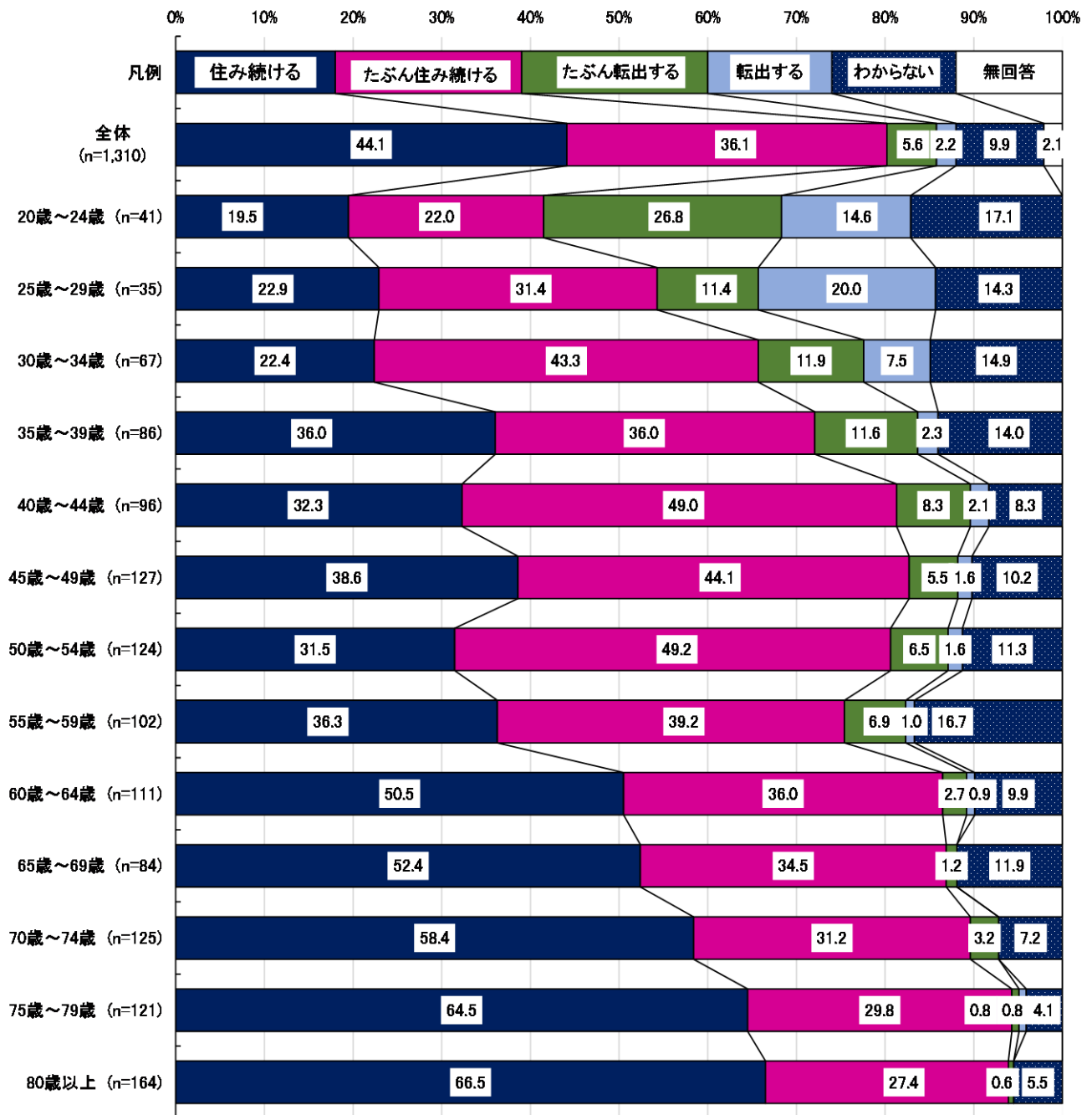
問4 仕事の状況

仕事の状況について、年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「常勤・フルタイム」の割合が低くなる傾向にある。



## 問6 居住意向

居住意向について、年齢別でみると、年齢が上がるにつれて「住み続ける」「たぶん住み続ける」と回答した人の割合が高くなる傾向にある。

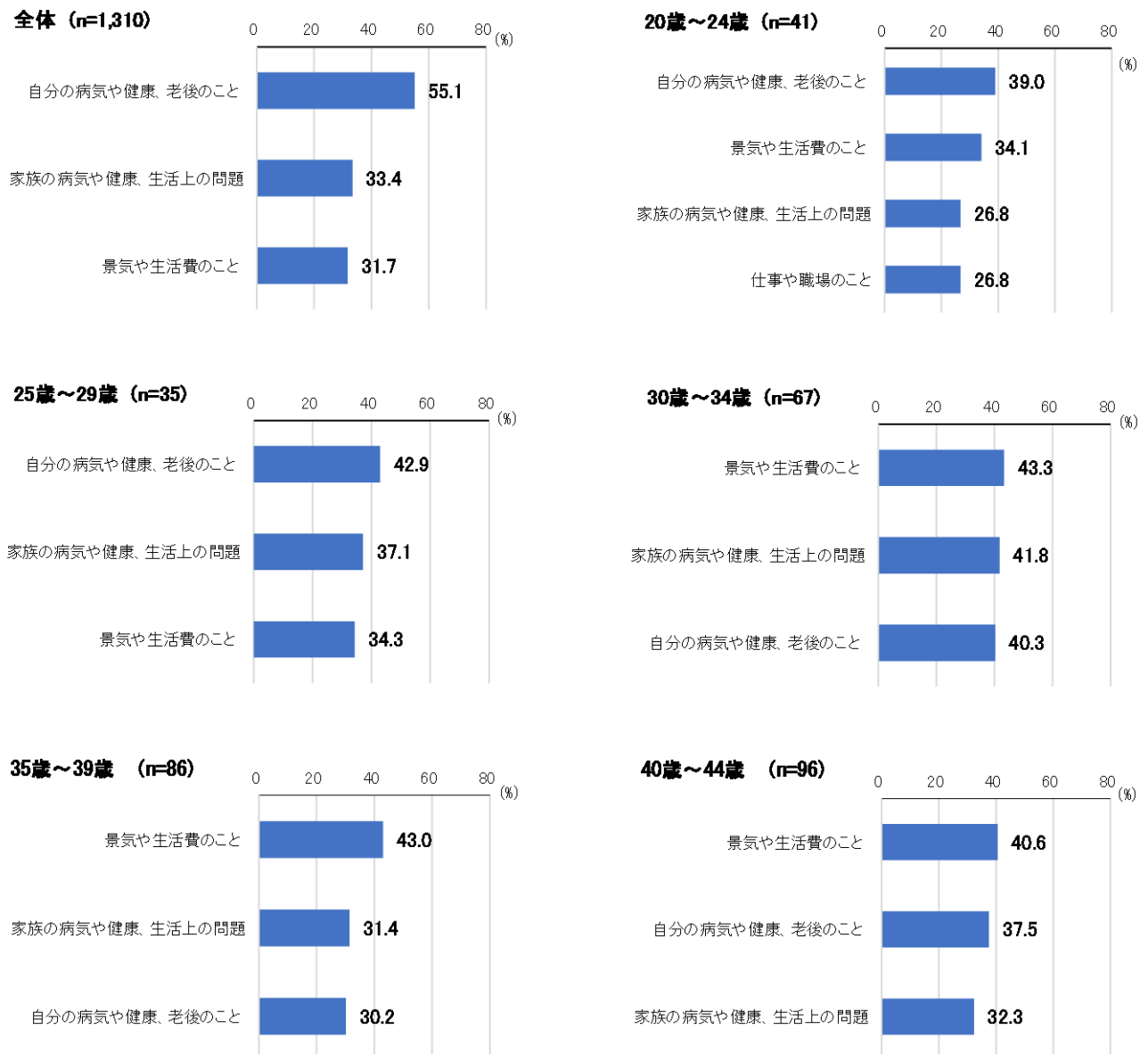


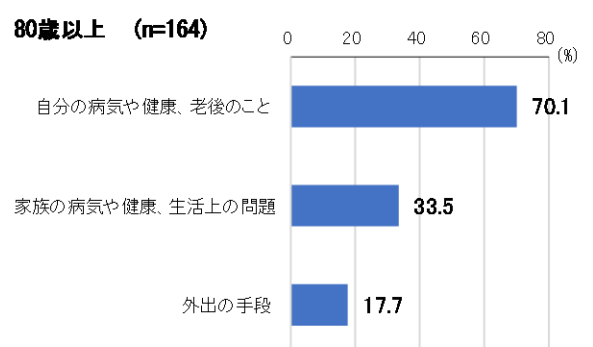
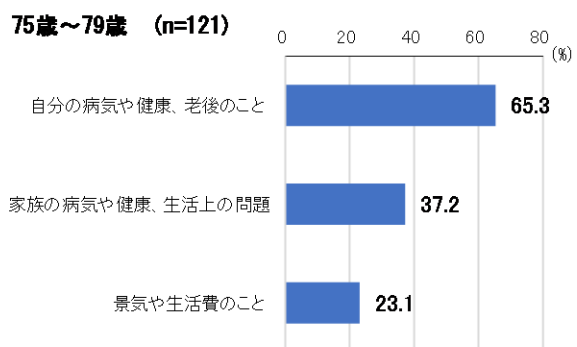
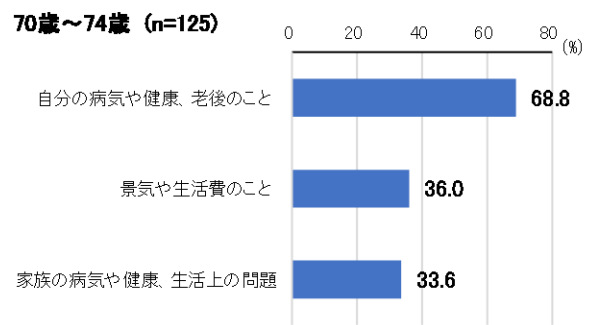
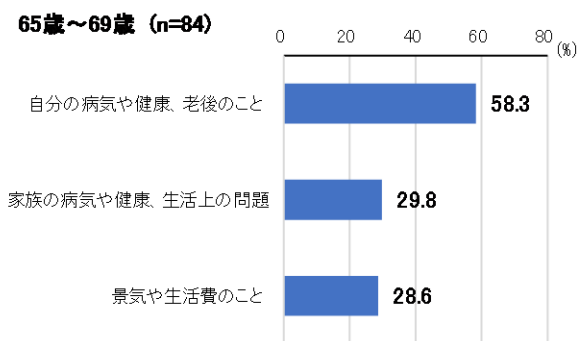
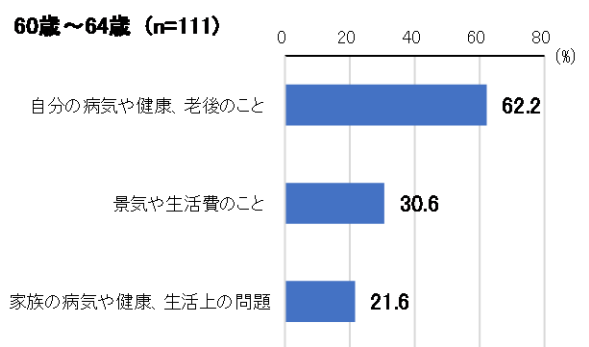
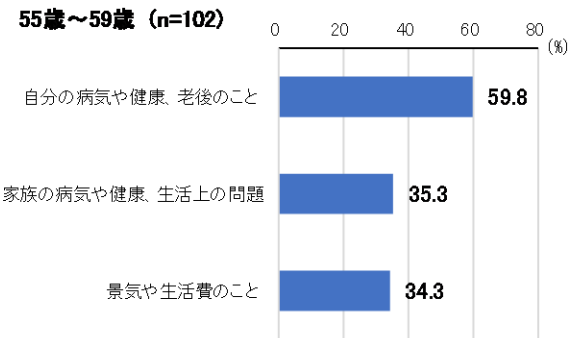
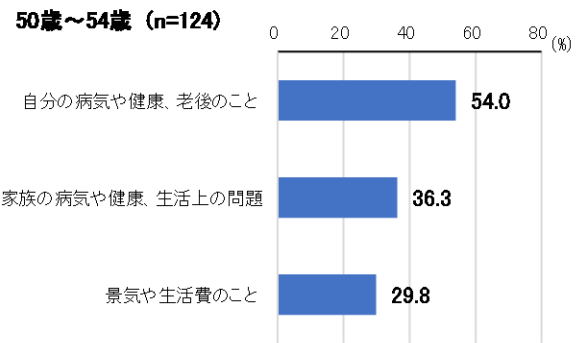
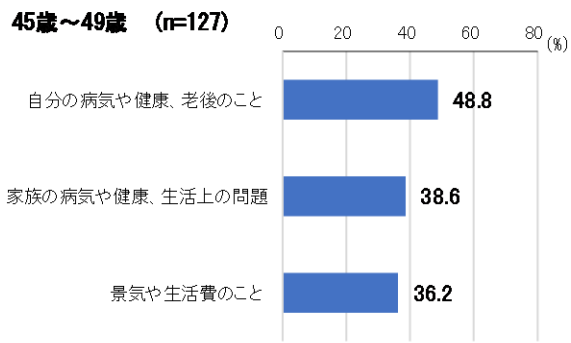
<生活の心配事について>

問8 心配事や困りごとの有無、内容

心配ごとや困っていることを年齢別集計でみると、30歳代（30歳～39歳）と40歳代前半（40歳～44歳）は、「景気や生活費のこと」の回答が多く、その他の年代では、「自分の病気や健康、老後のこと」の回答が多くなっている。80歳以上は、他の世代に比べて「外出の手段」（17.7%）が多くなっている。

図表 年齢別 特に気になっていること、困っていること（問2×問8）



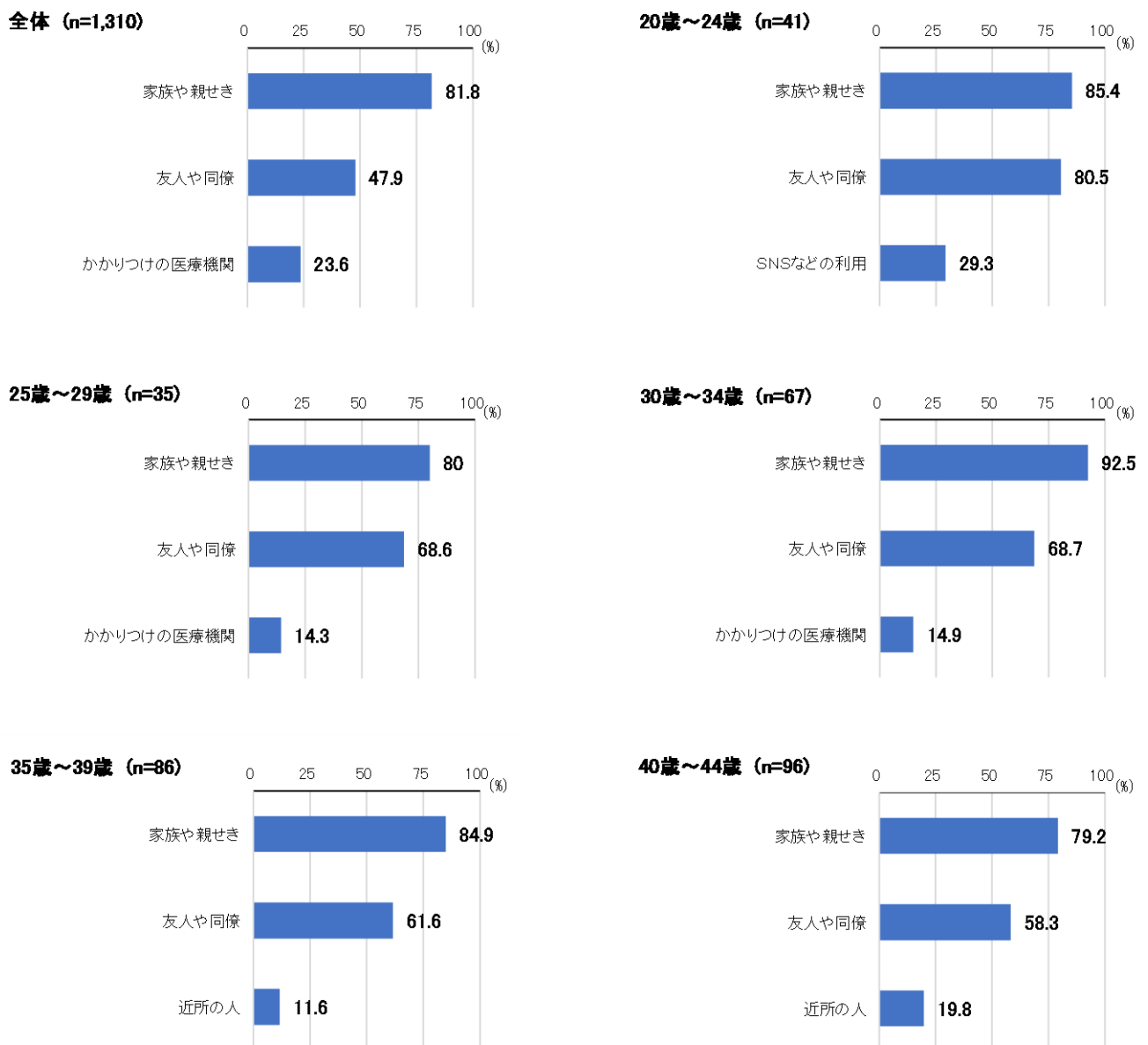


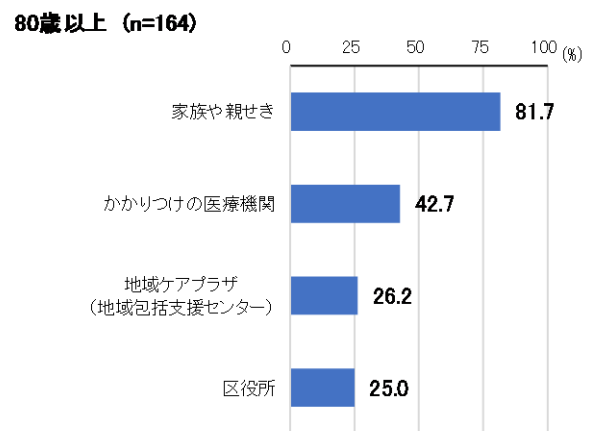
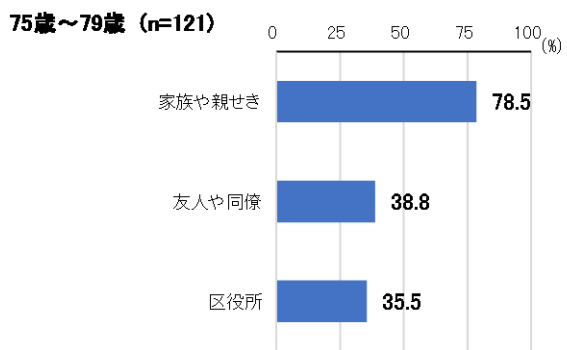
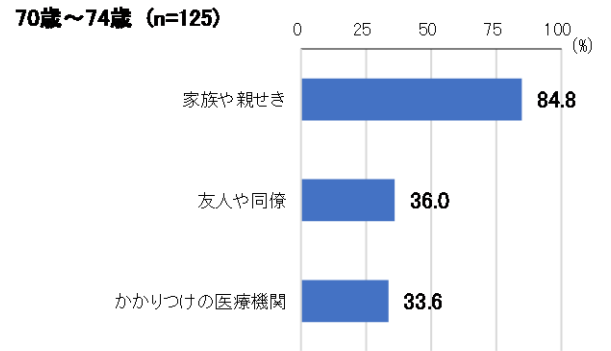
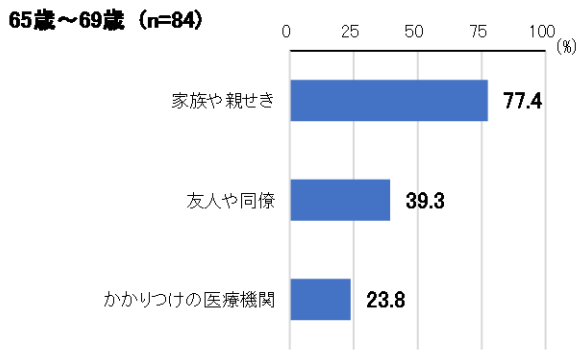
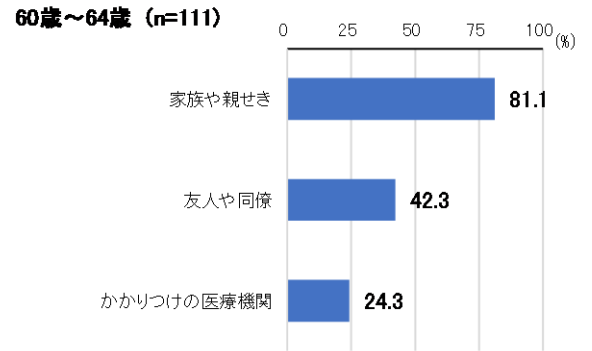
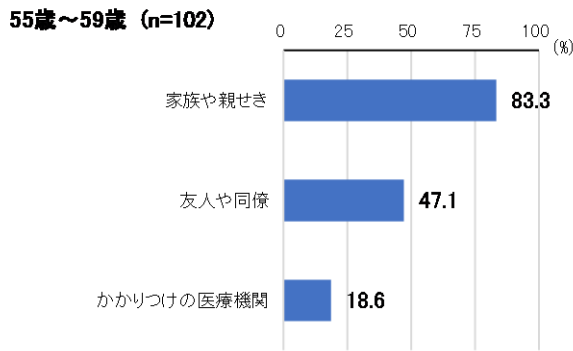
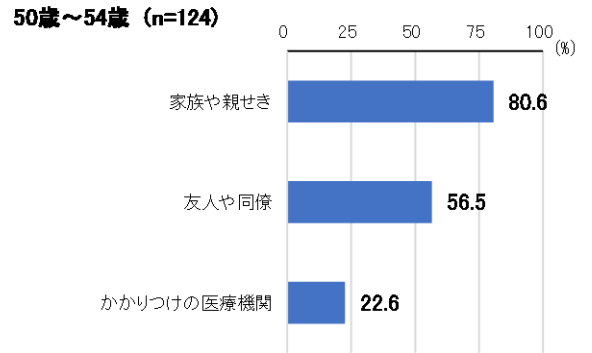
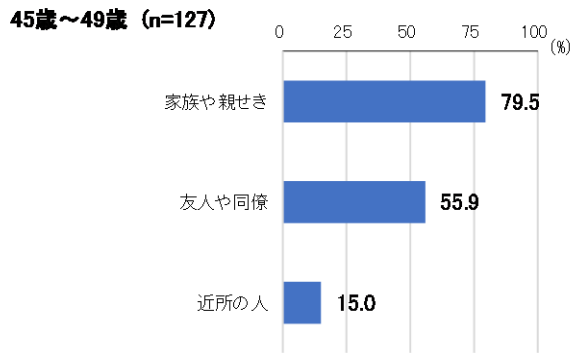
### 問9 心配事や困ったことが起きた時の相談する人や相談先

心配ごとや困ったことを相談する人や相談する場所は、全年代で「家族や親せき」の回答が最も多く、次いで20歳～79歳では、「友人や同僚」、80歳以上は「かかりつけの医療機関」が多くなっている。

20歳～24歳は「SNSなどの利用」、40代（40歳～49歳）は「近所の人」、75歳以上は「区役所」、80歳以上は「地域ケアプラザ（地域包括支援センター）」の回答が多くなっている。

図表 年齢別 問9 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人や相談する場所がありますか。それは、誰・どこですか（「相談したことがある」、または「相談しようと思う」を含めてお答えください）。（あてはまる番号すべてに○）





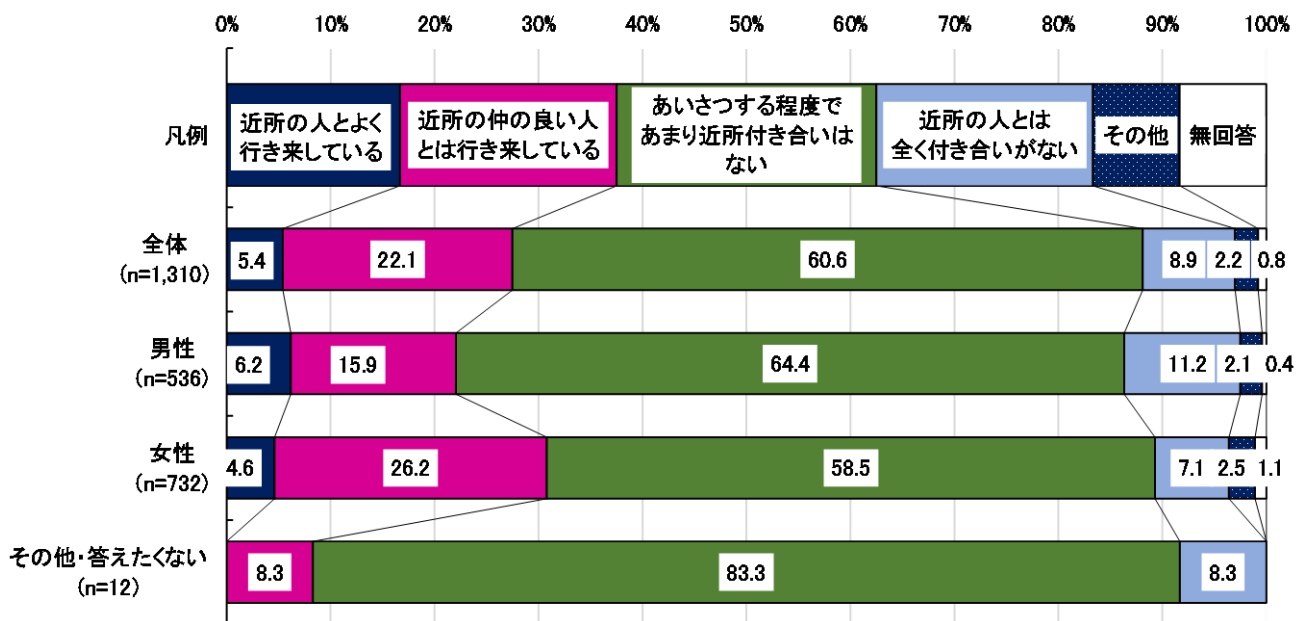
<地域でのつながりや活動のための機会・場について>

問10 近所付き合い

近所付き合いを性別で見ると、男性より女性の方が近所付き合いは多くなっている。

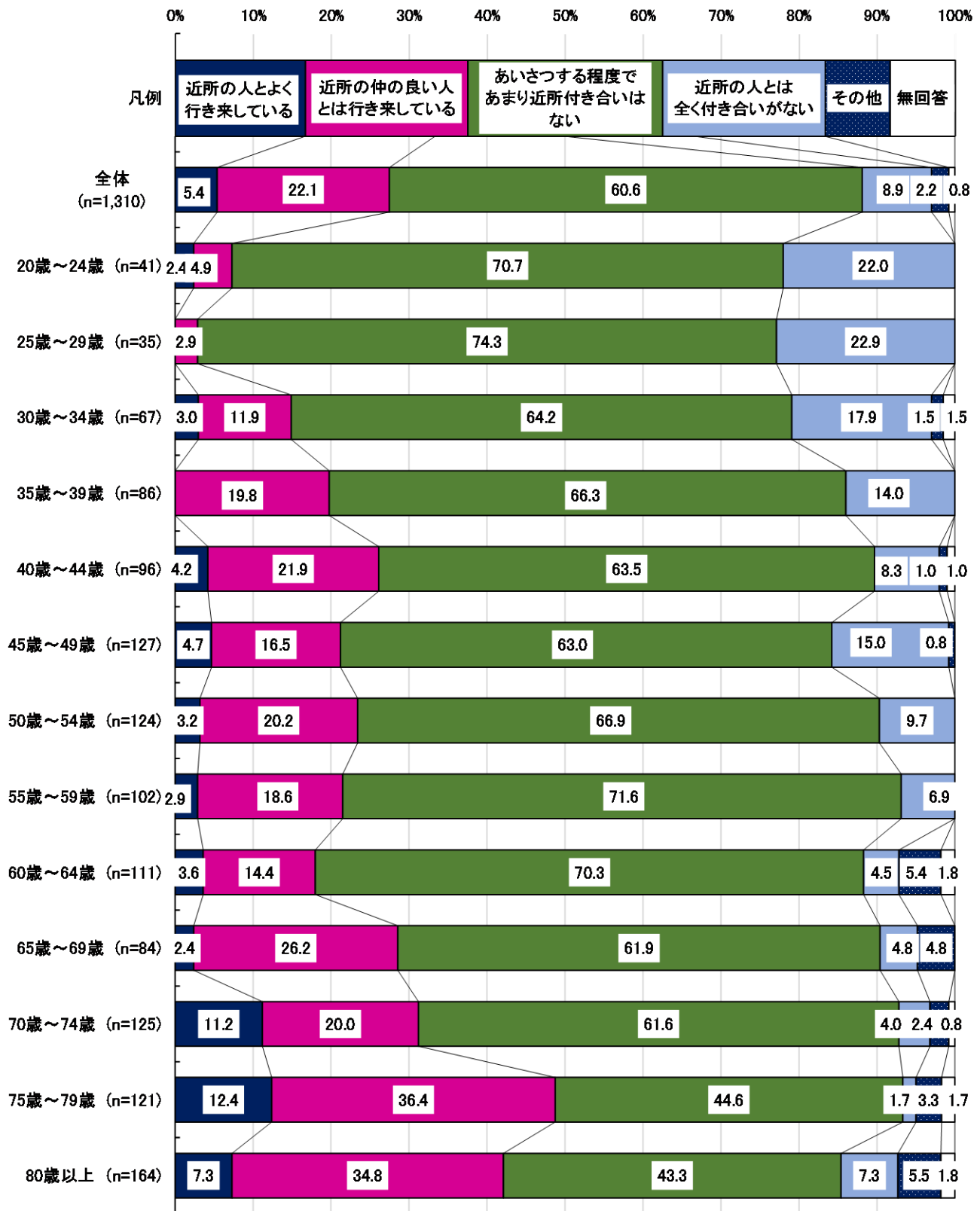
年齢別で見ると、65歳以上は近所付き合いが頻繁になる傾向があり、特に75歳以上は「近所の人とよく行き来している」、「近所の仲の良い人とは行き来している」の回答が他の年代に比べて多くなっている。

図表 性別 近所付き合い（問2×問10）





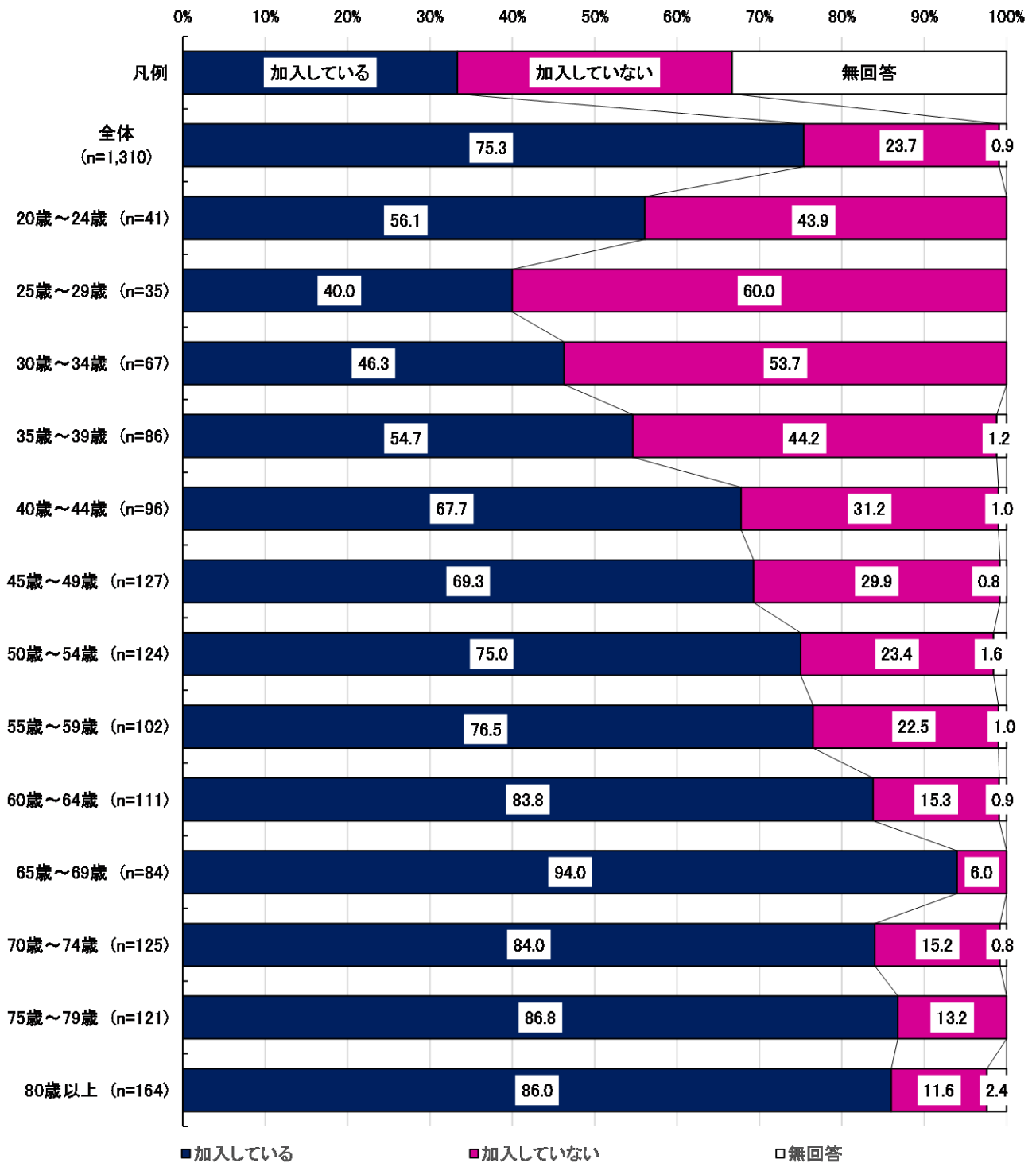
図表 年齢別 近所付き合い（問2×問10）



### 問 11 自治会への加入状況

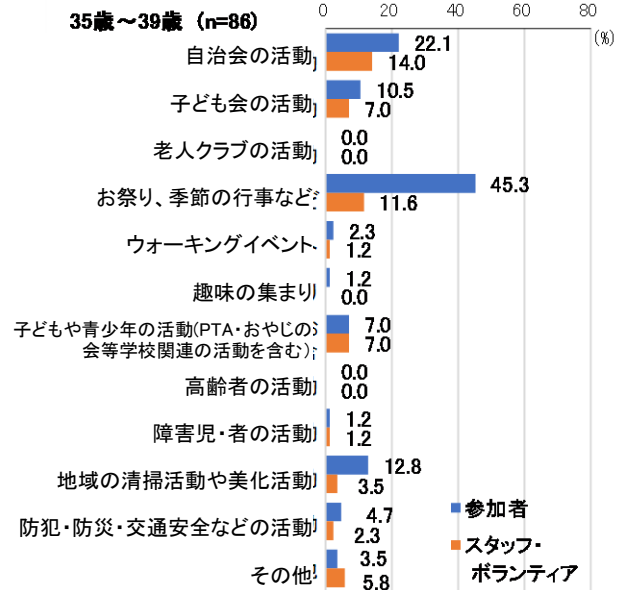
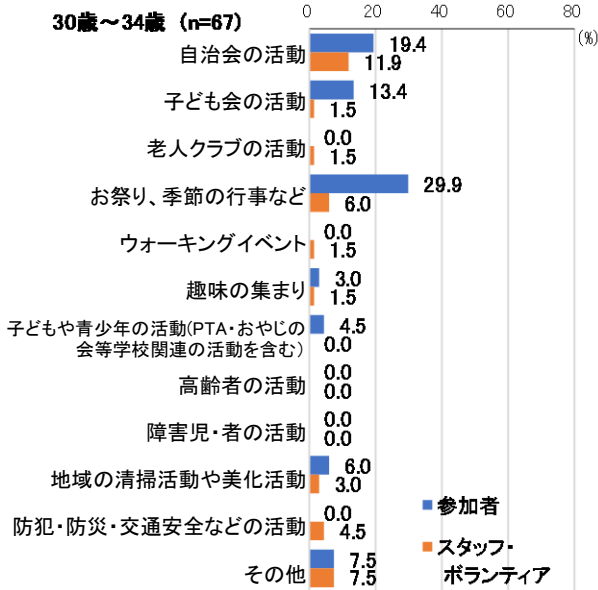
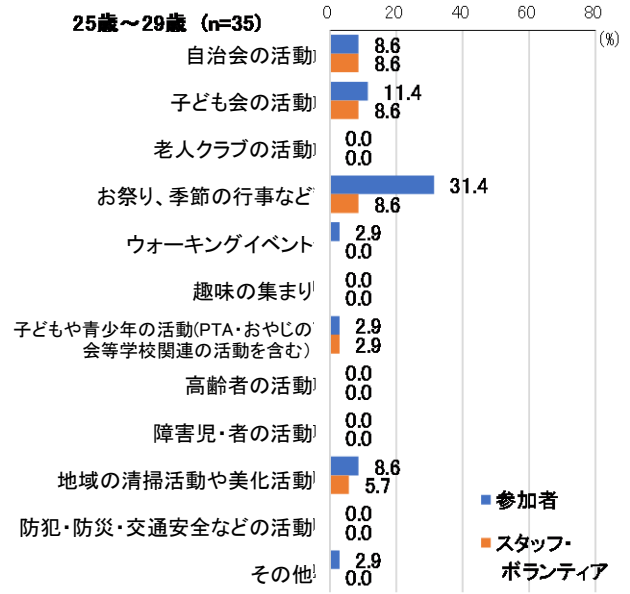
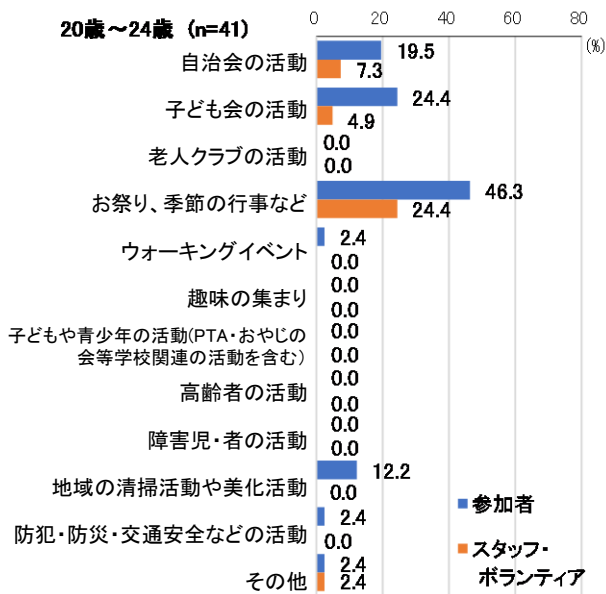
自治会加入状況について、年齢別でみると、年齢が上がるにつれて自治会へ加入している割合は増加傾向にある。

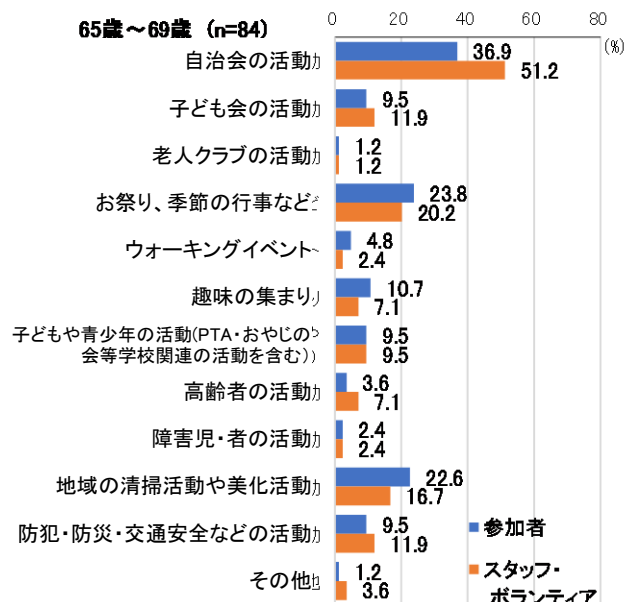
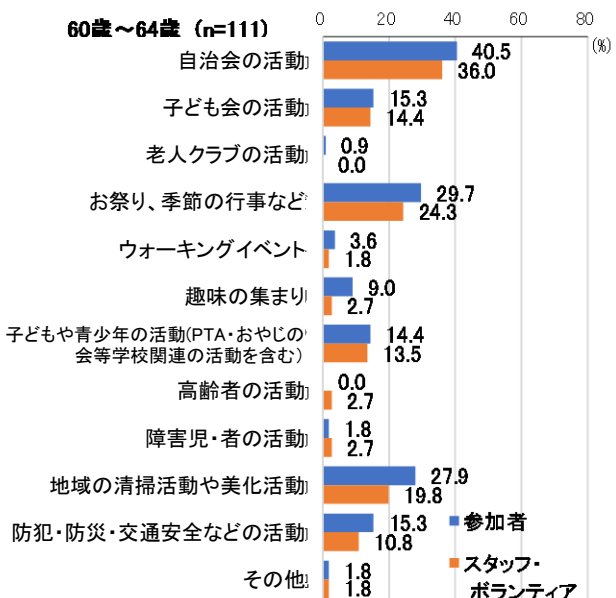
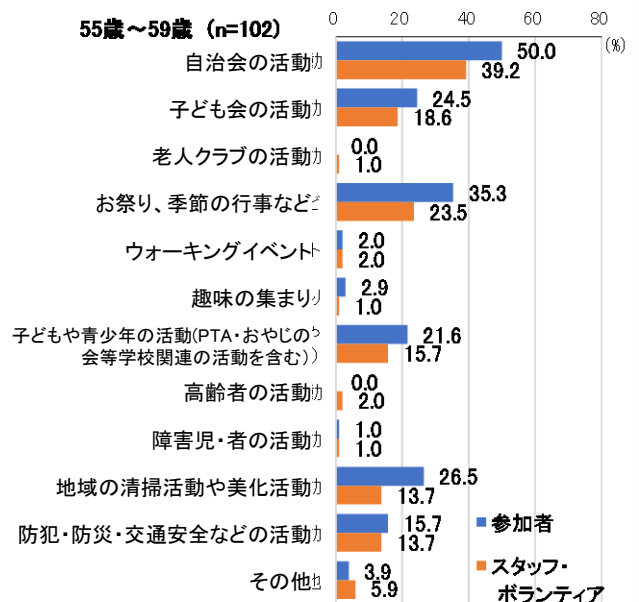
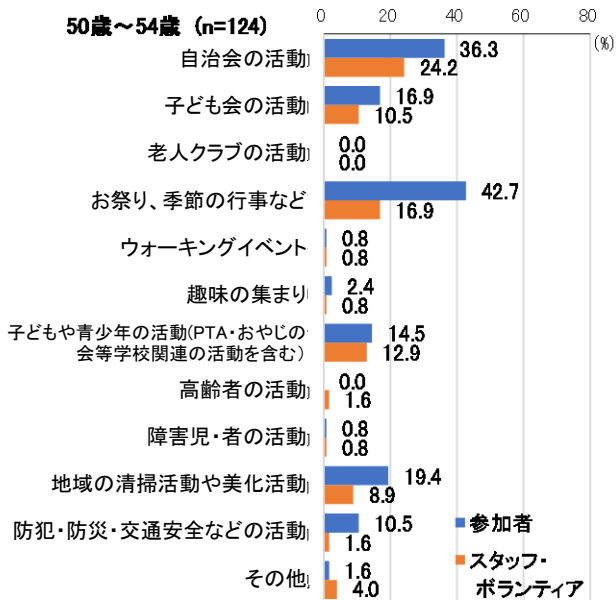
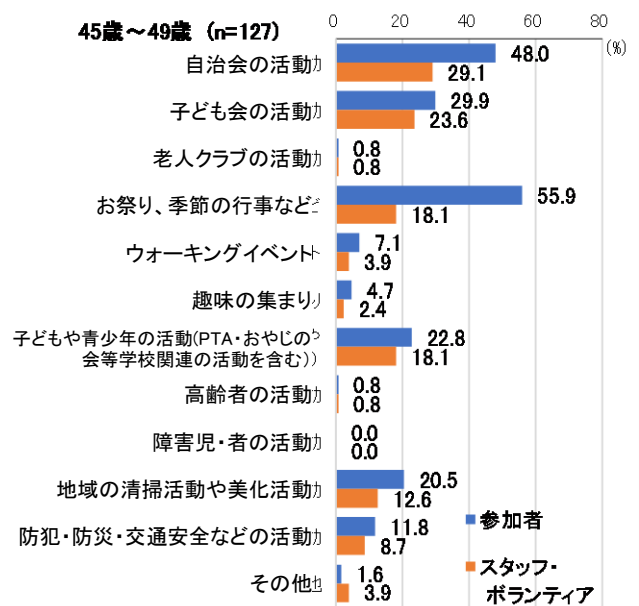
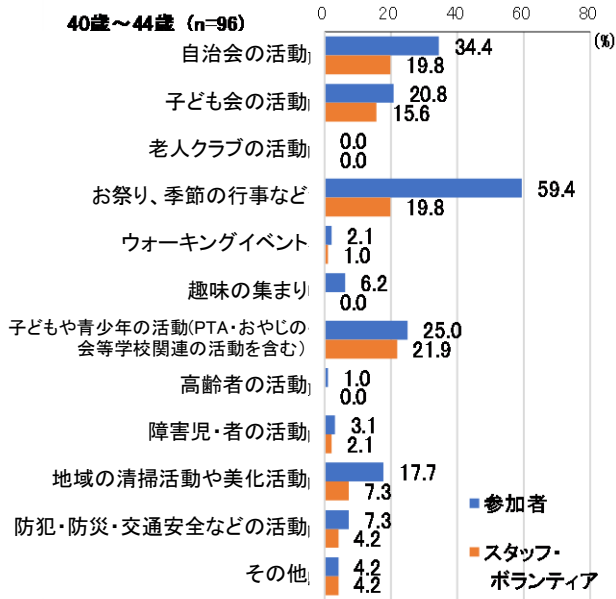
図表 年齢別 自治会への加入（問2×問11）

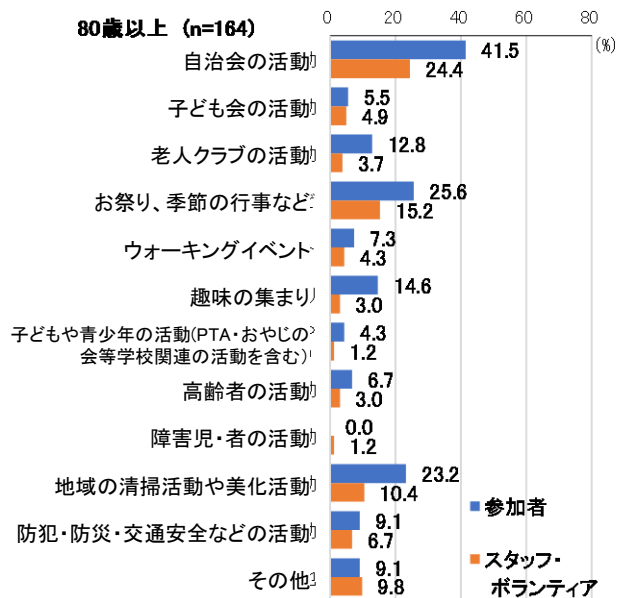
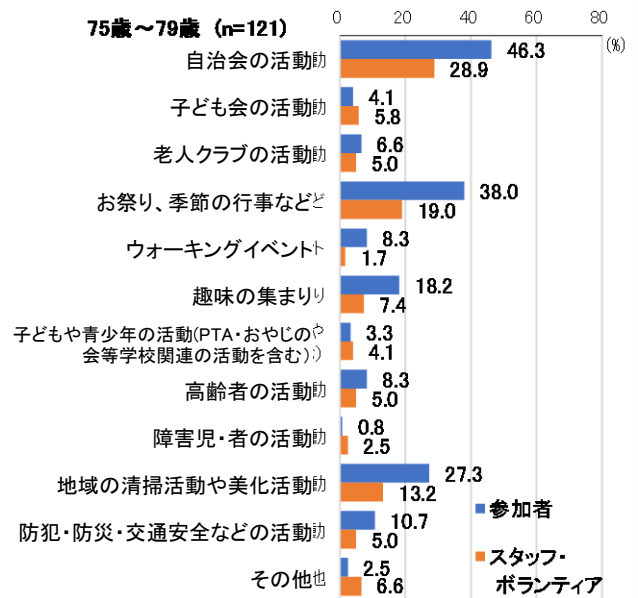
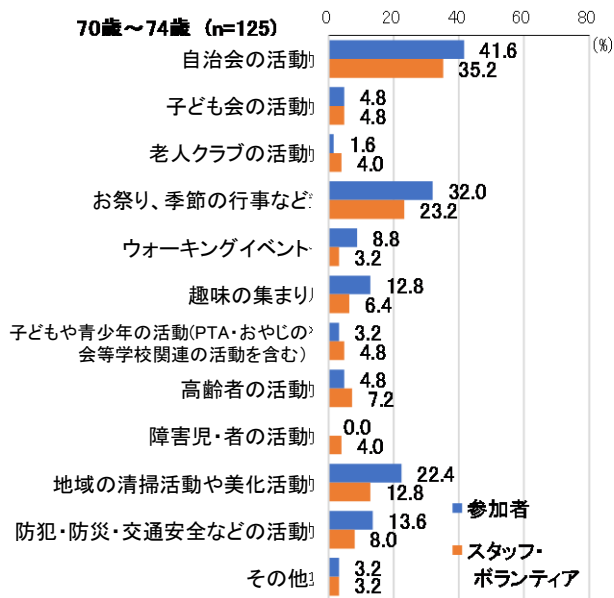


## 問12 地域活動への参加状況

図表 年齢別 地域活動への参加（問2×問12）

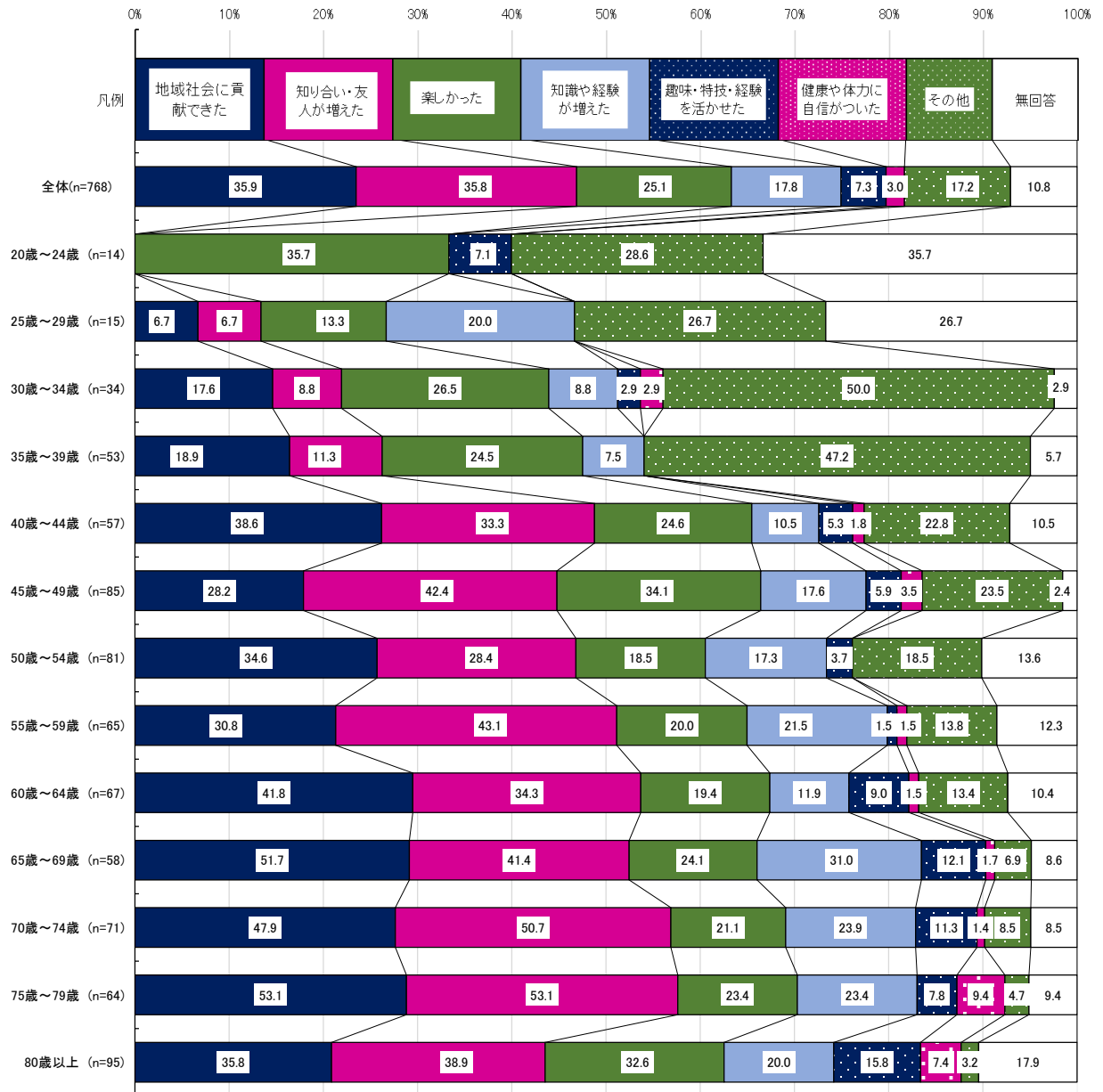






図表 問12-2 あなたがスタッフ・ボランティアとして地域活動に参加してよかったと思うことは  
 何ですか。(主なもの3つまで○)

<問12で1つでも「スタッフ・ボランティアとして参加している」を答えた方>

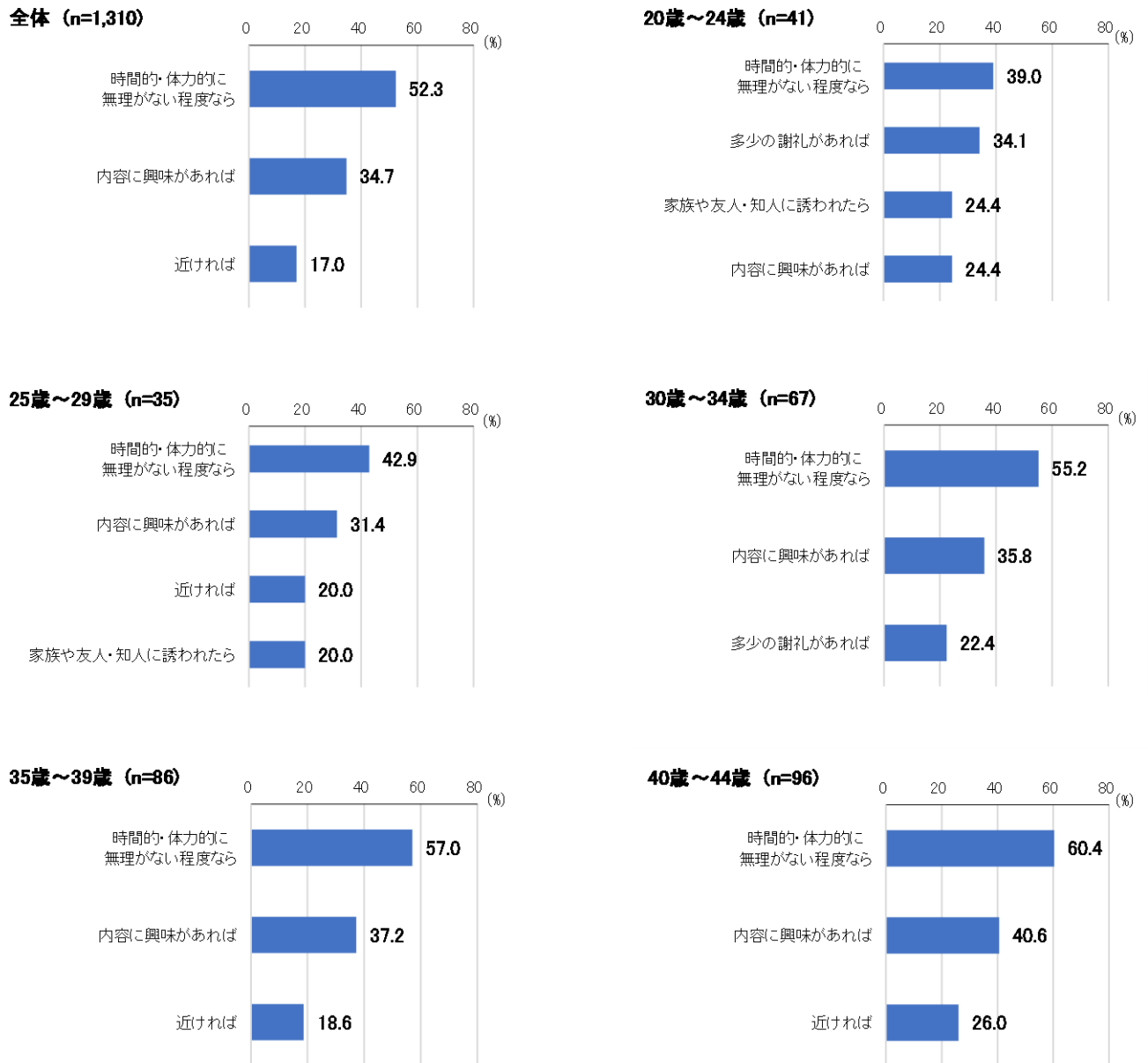


### 問 13 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件

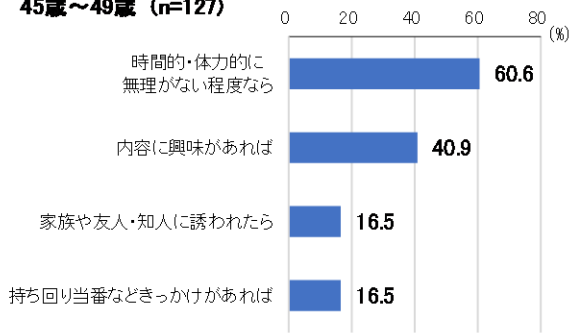
地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件を年齢別で見ると、年代を問わず「時間的・体力的に無理がない程度なら」という理由が最も多い。

20歳～24歳では、「多少の謝礼があれば」との回答が多くなっている。また、30歳から34歳でも第3位の回答となっている。

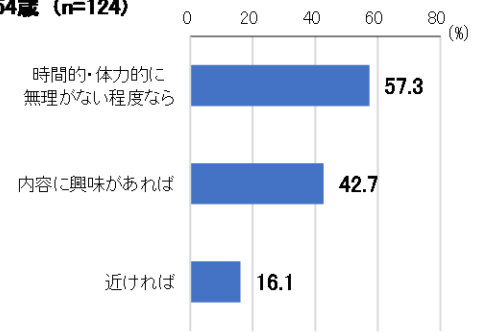
図表 年齢別 地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加する条件（問2×問13）



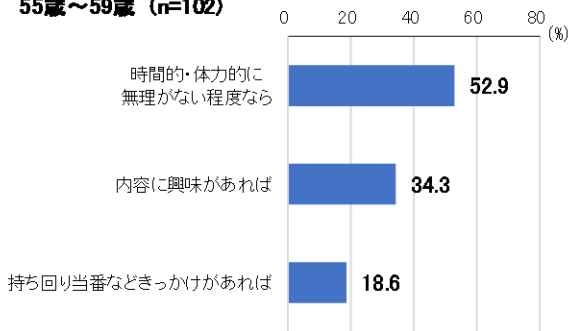
45歳～49歳 (n=127)



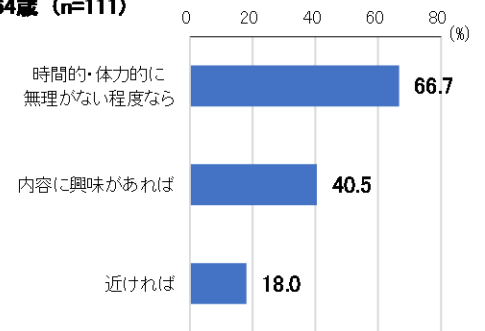
50歳～54歳 (n=124)



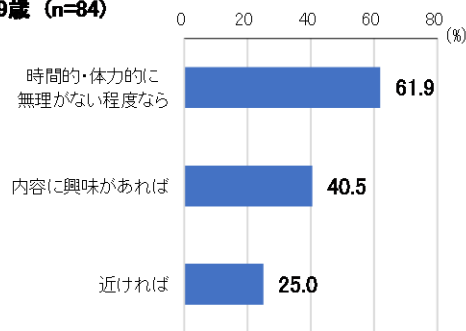
55歳～59歳 (n=102)



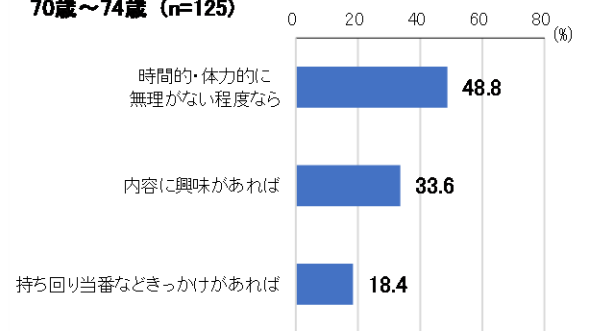
60歳～64歳 (n=111)



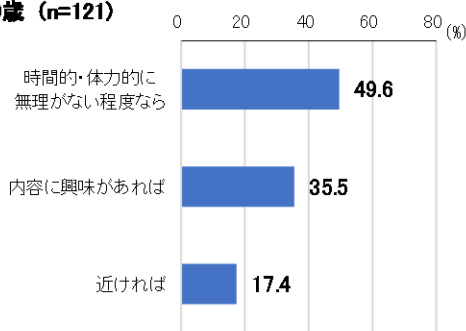
65歳～69歳 (n=84)



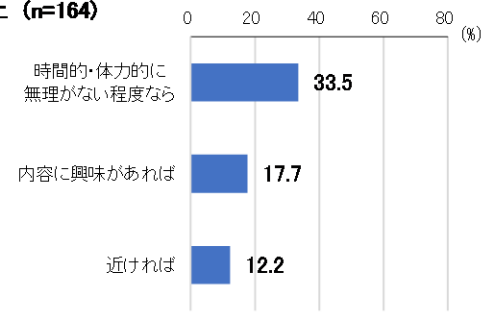
70歳～74歳 (n=125)



75歳～79歳 (n=121)



80歳以上 (n=164)



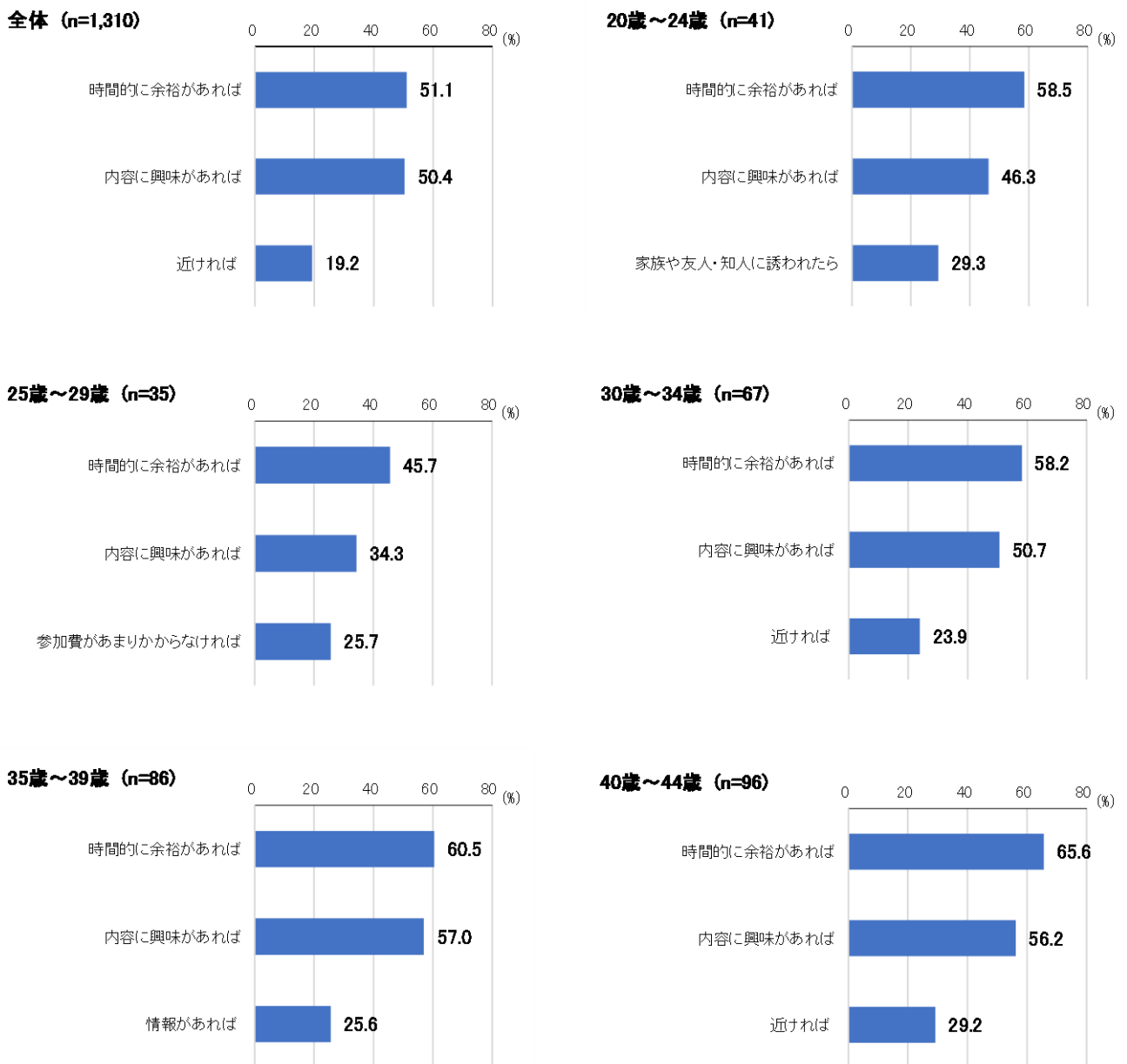


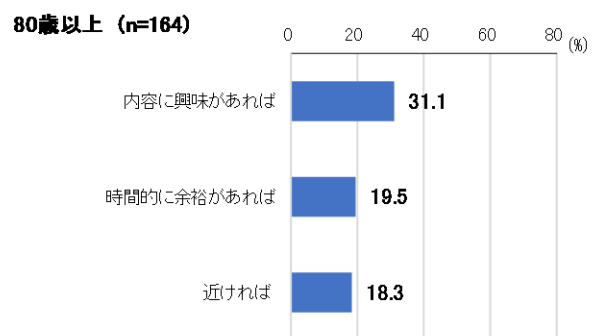
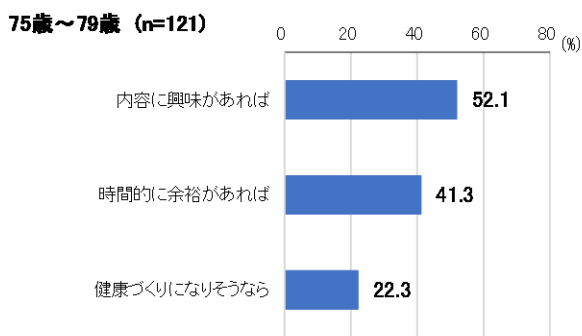
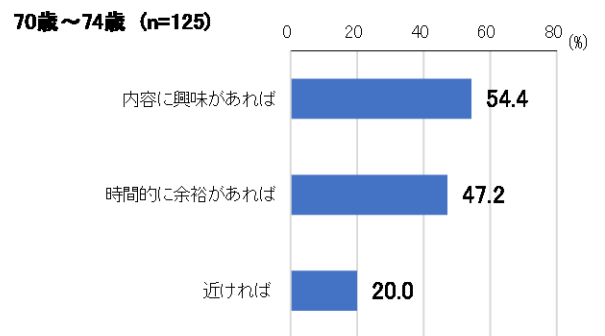
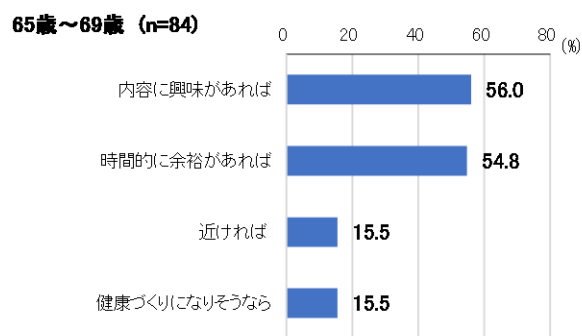
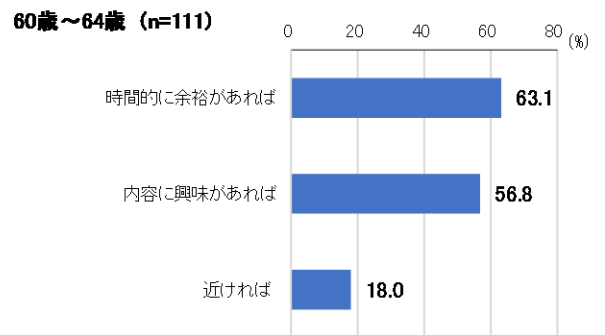
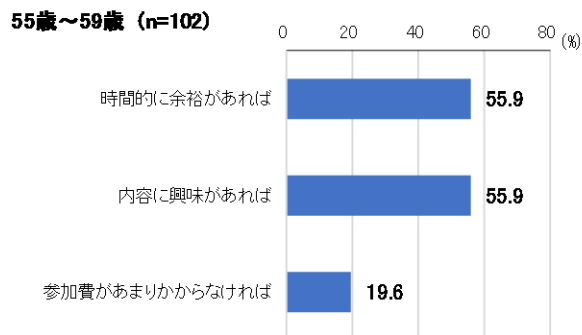
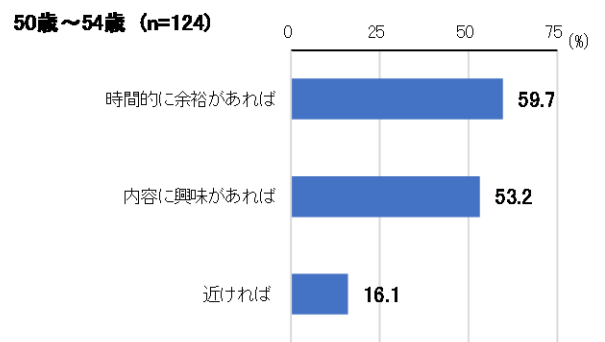
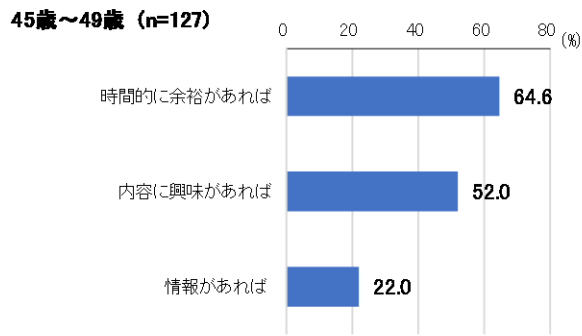
## 問 14 地域活動に参加者として参加する条件

地域活動に参加者として参加する条件を年齢別でみると、20歳～64歳では「時間的に余裕があれば」という理由は最も多く、次いで「内容に興味があれば」の順に多くなっている。65歳以上では、「内容に興味があれば」が最も多く、次いで「時間的に余裕があれば」が多くなっている。

20歳～24歳では「家族や友人・知人に誘われたら」、65歳～69歳、75歳～79歳では、「健康づくりになりそうなら」との回答が他の年代に比べて多くなっている。

図表 年齢別 地域活動に参加者として参加する条件（問2×問14）



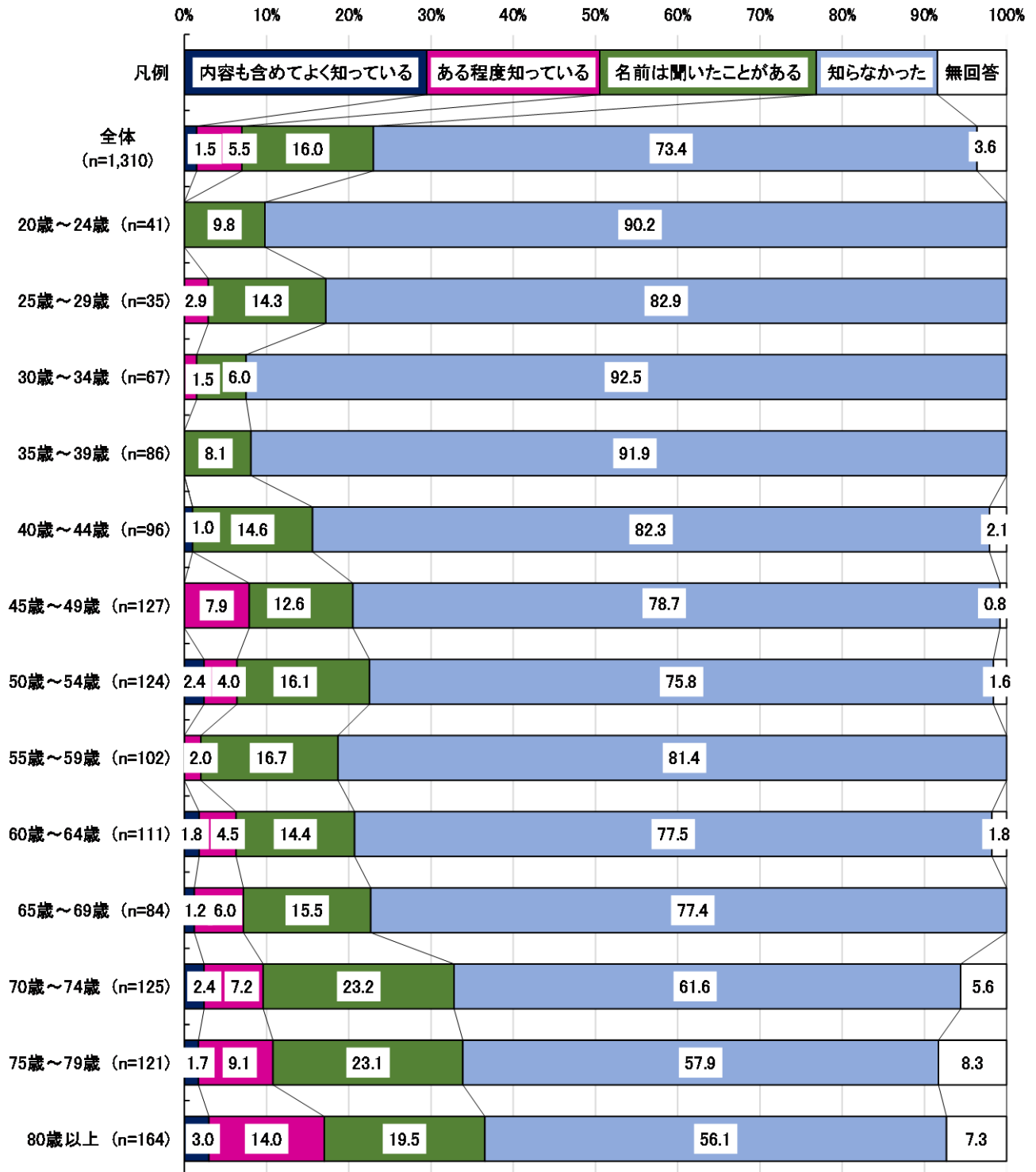


<福祉保健に関する情報について>

問15 「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度

「みどりのわ・ささえ愛プラン」の認知度を年齢別でみると、年齢が上がるにつれて、「みどりのわ・ささえ愛プラン」を認知している割合は高くなる傾向があり、70歳以上では認知度が3割を超えている。

図表 年齢別 プランの認知度（問2×問15）



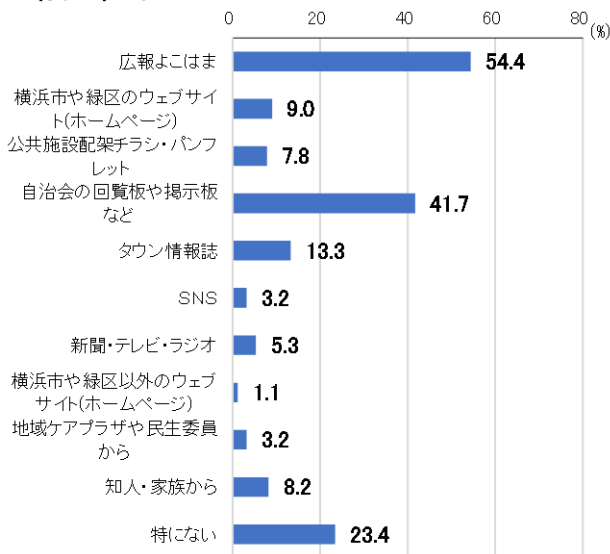
## 問 16 福祉保健に関する情報の入手先

福祉保健に関する情報の入手先を年齢別で見ると、60 歳以上は「広報よこはま」や「自治会の回覧板や掲示板など」、「タウン情報誌」の回答が多くなっている。「SNS」については、全ての年代で少なくなっている。

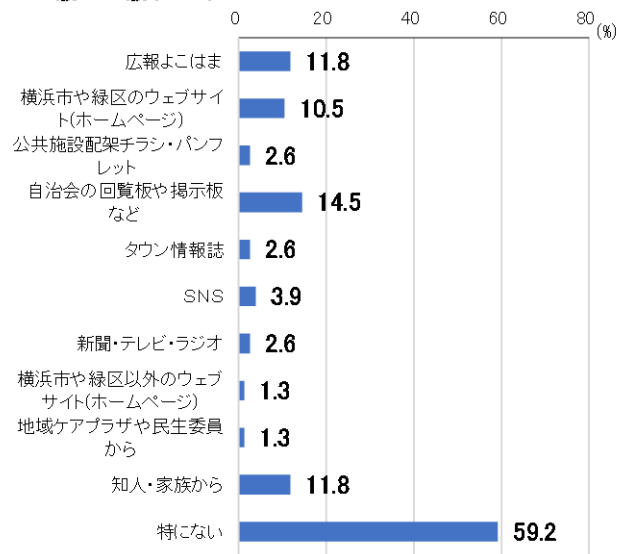
また、年齢が低くなるにつれて「特にない」の回答が多くなっている。

図表 年齢別 情報の入手先（問 2 × 問 16）

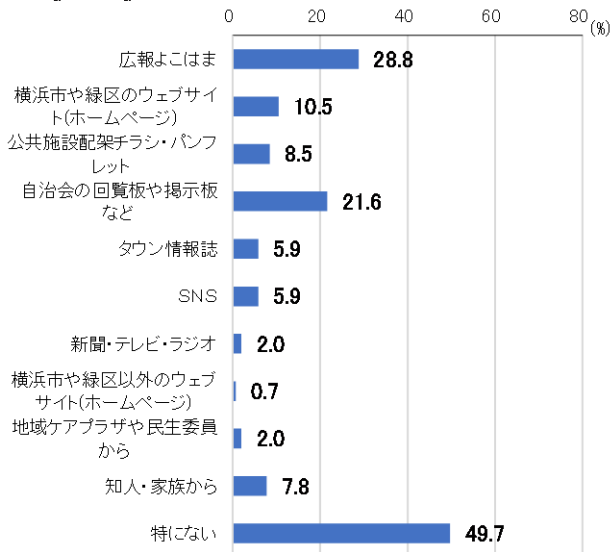
全体(n=1,310)



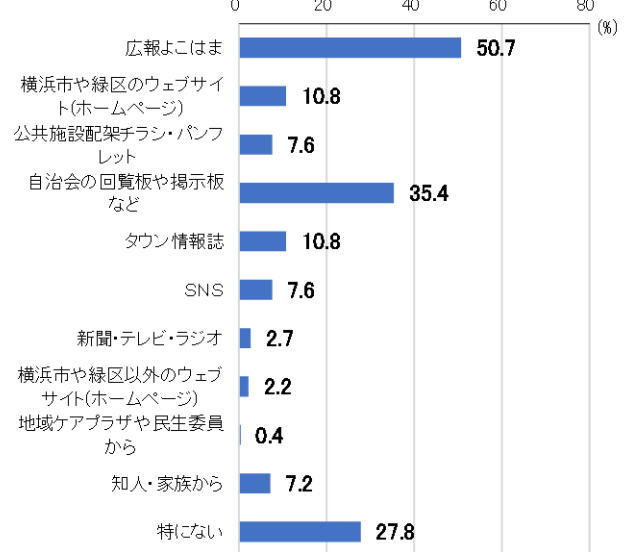
20歳～29歳(n=76)



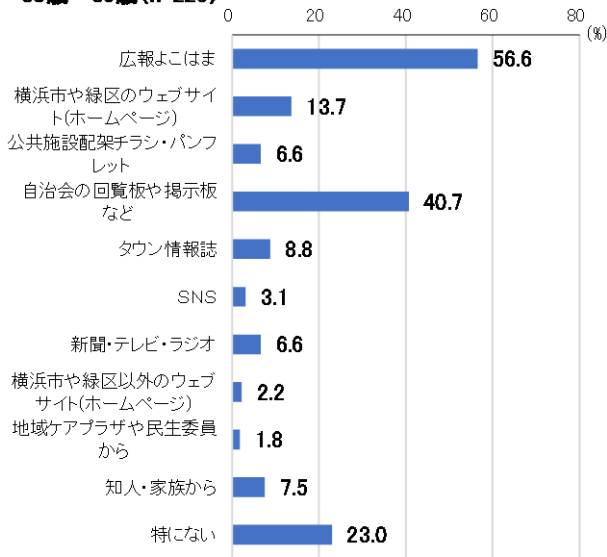
30歳～39歳(n=153)



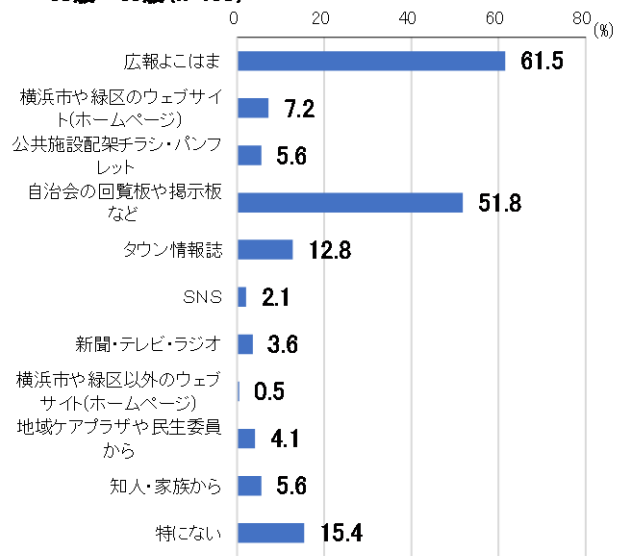
40歳～49歳(n=223)



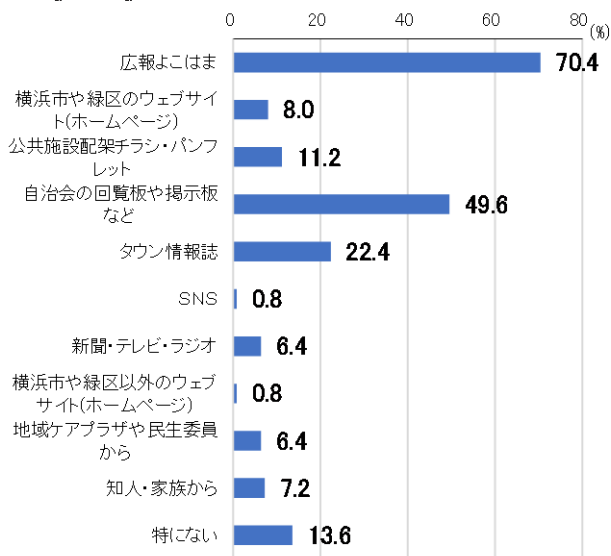
50歳～59歳 (n=226)



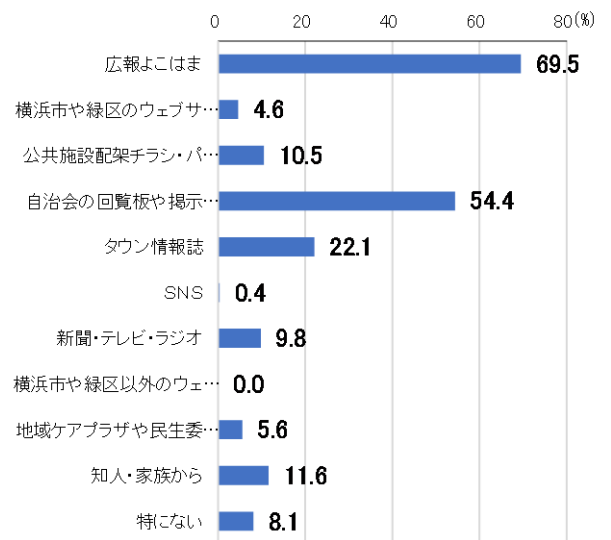
60歳～69歳 (n=195)



70歳～74歳 (n=125)



75歳以上 (n=285)

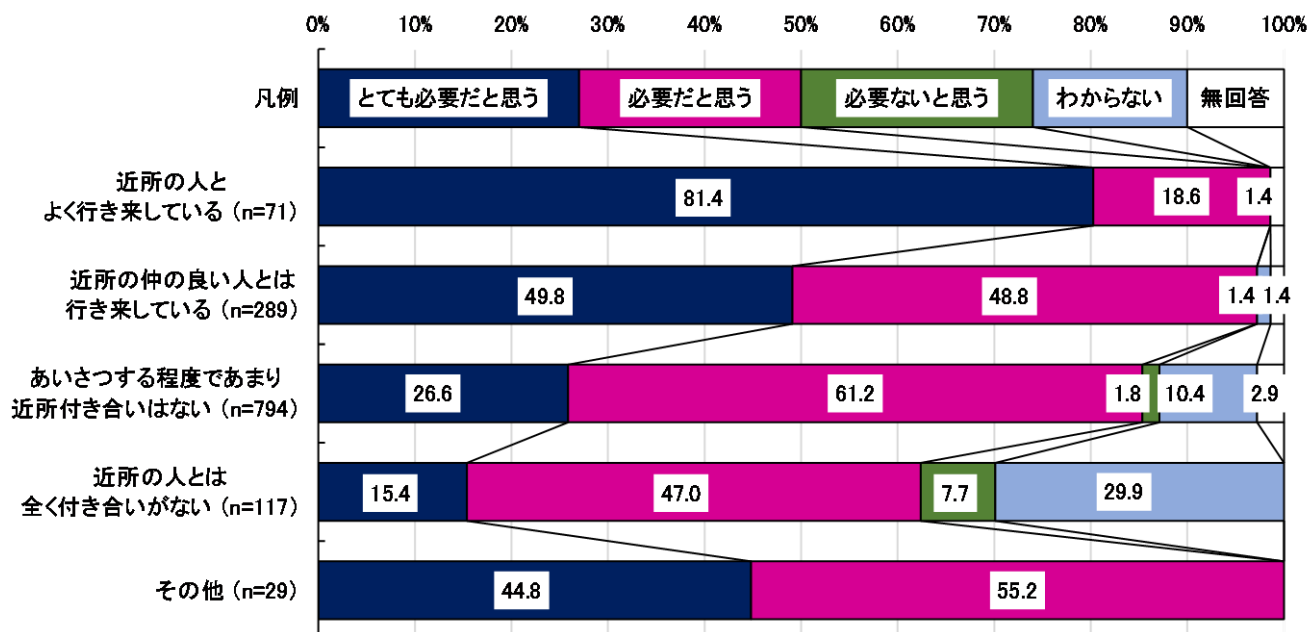


<安全・安心・健康について>

問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

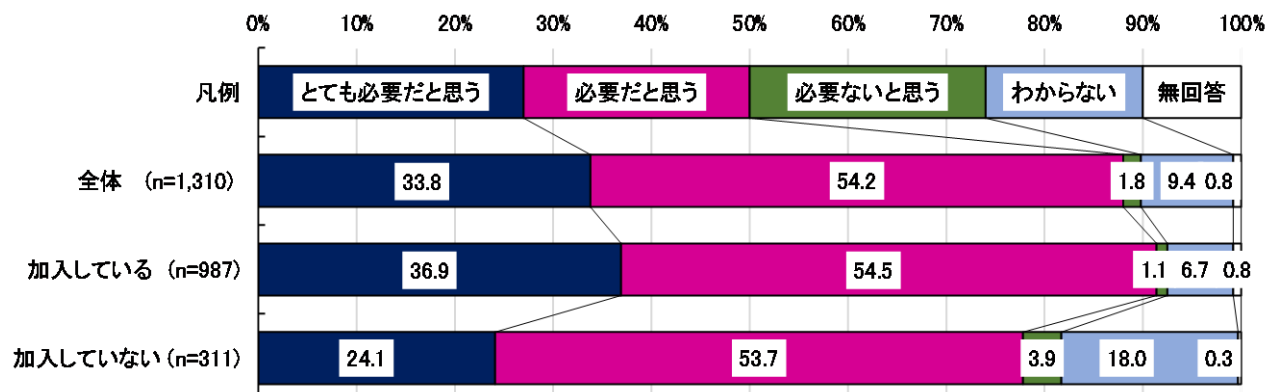
「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性を近所付き合い別でみると、近所付き合いが多い人ほど顔の見える関係づくりに取り組む必要性を感じている傾向にある。

図表 近所付き合い別 顔の見える関係の必要性 (問10×問17)



「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性を自治会加入別でみると、自治会に加入している方は、「とても必要だと思う」+「必要だと思う」(合計 91.4%)と回答している方が多い。また加入していない方も、「とても必要だと思う」+「必要だと思う」(合計 77.8%)と回答している方が多いものの、加入している方に比べて少ない回答となっている。

図表 自治会加入別 顔の見える関係の必要性 (問11×問17)

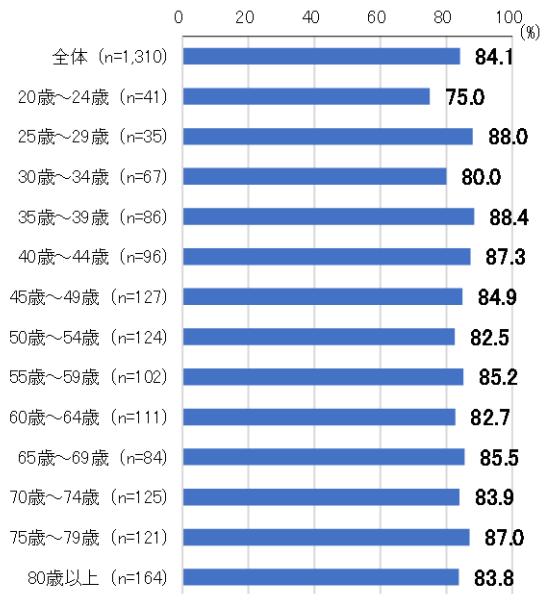


### 問 17-1 地域で「顔の見える関係づくり」を築くために必要なこと

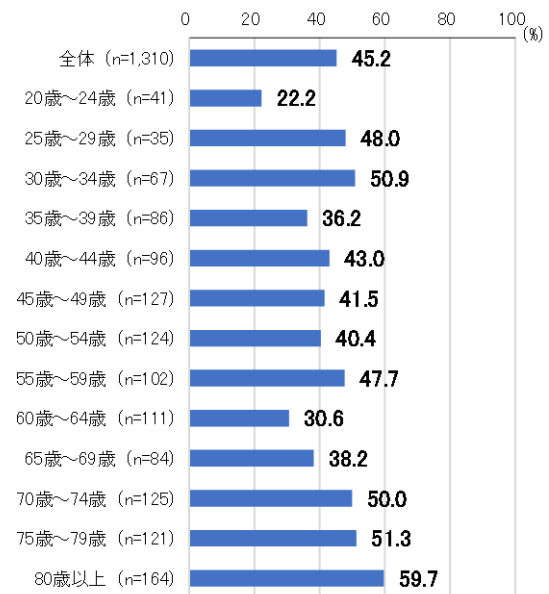
地域で「顔の見える関係づくり」を築くために必要なことを年齢別でみると、全ての年代で「近所でのあいさつ・声かけ」や「近所での日頃からの付き合い」の回答が多くなっている。また、「若い世代の参加への働きかけ」は、20歳～24歳の回答（36.1%）が多くなっている。「自治会活動への参加（防犯や美化活動など）」は、65歳以上の回答が多くなっている。

図表 年齢別 「顔の見える関係づくり」に必要なこと（問2×問17-1）

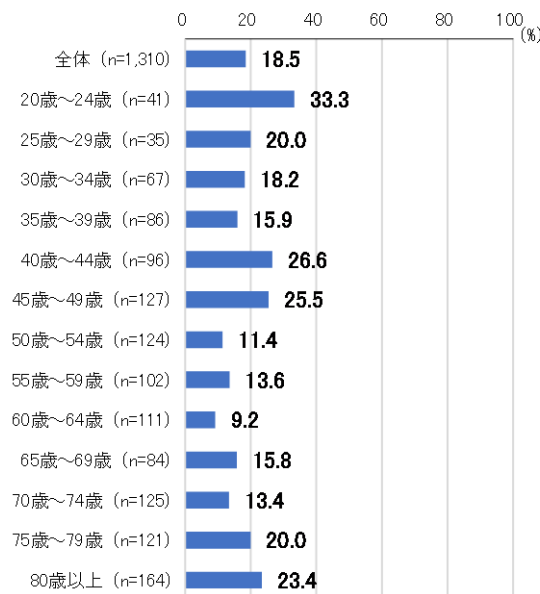
近所でのあいさつ・声かけ



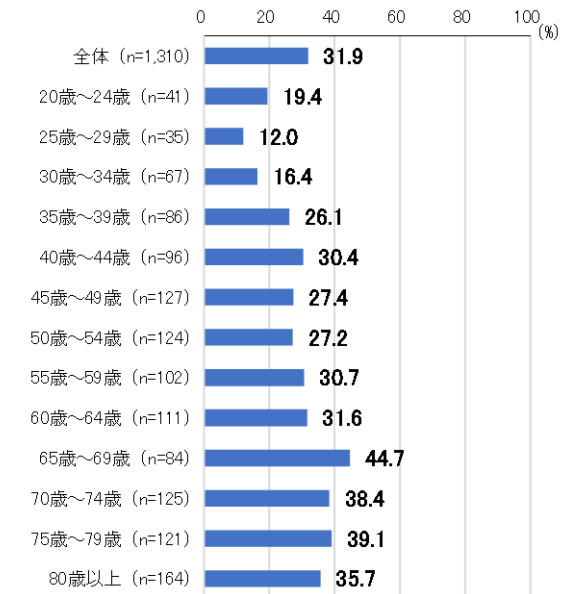
近所での日頃からの付き合い



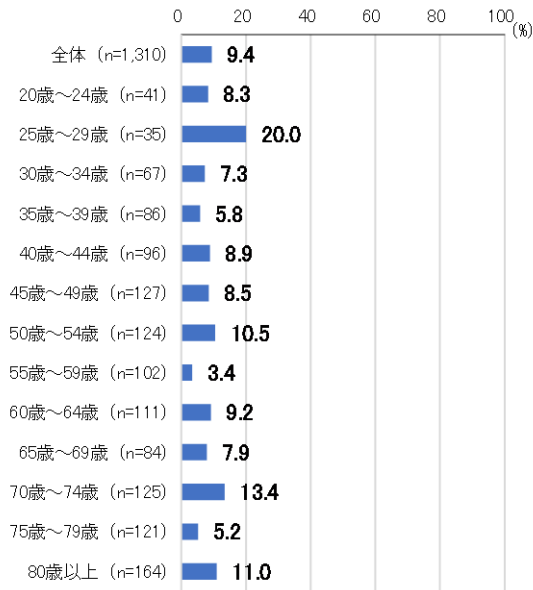
お祭りなどの行事への参加



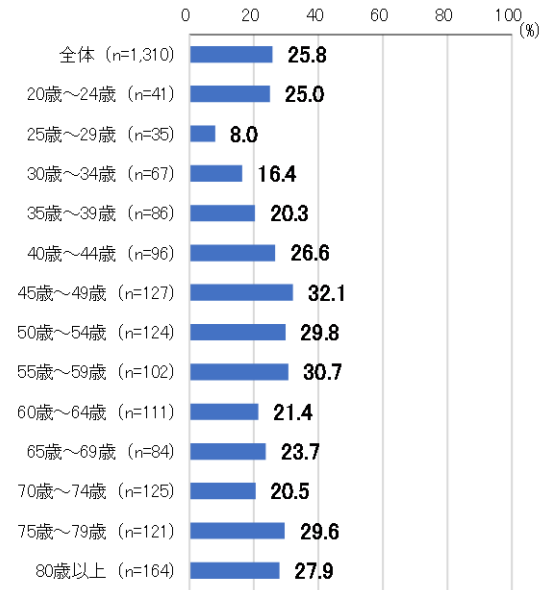
自治会活動への参加(防犯や美化活動など)



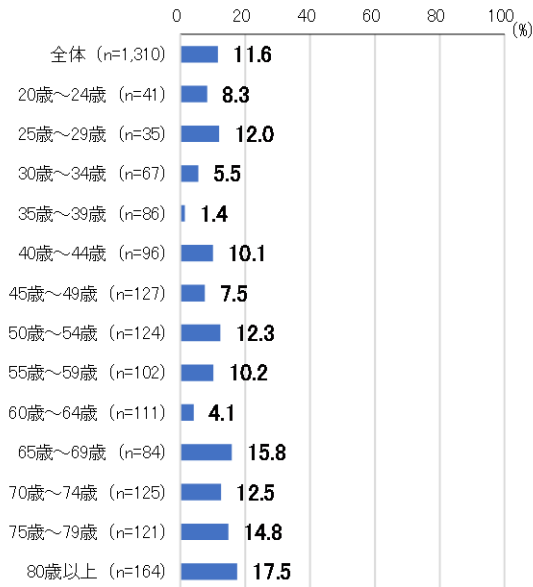
### 趣味を通じてのグループづくり



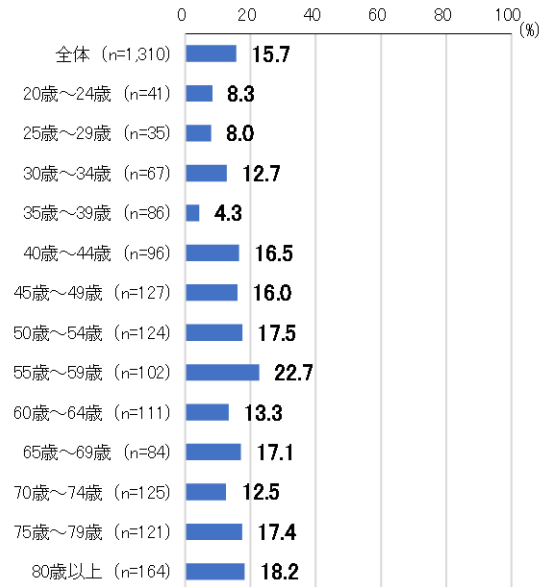
### 住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと



### 活動を展開するリーダーの存在

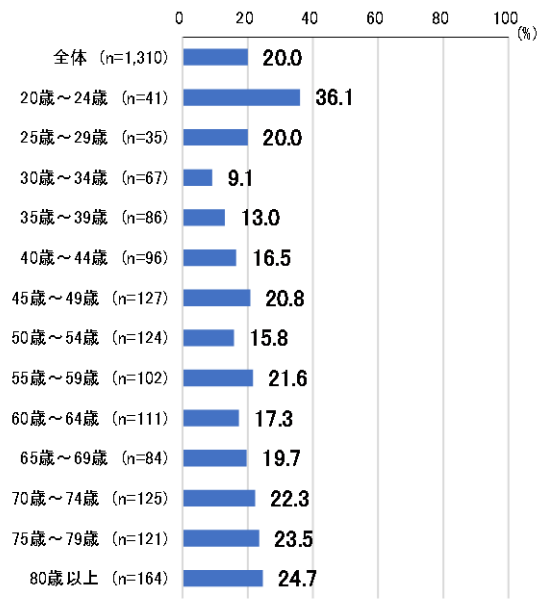


### 役員任せにせず、一人ひとりが責任を持つこと





### 若い世代の参加への働きかけ



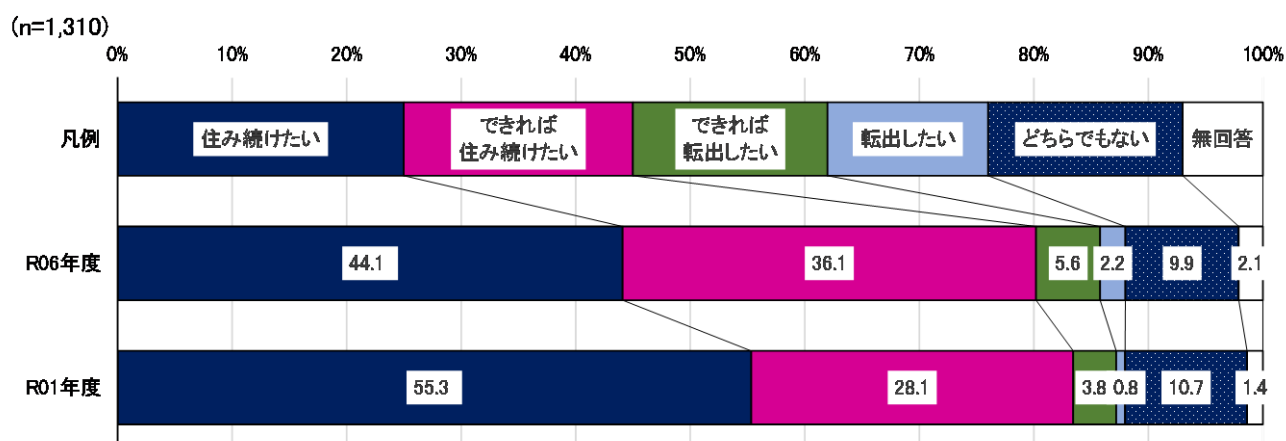
## 第5章 過去の調査との比較

緑区では、令和元年度に『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケートを実施しており、本調査と共通する設問について、比較を行った。

### 問6 居留意向

令和元年度調査と比較すると、「住み続けたい」、「できれば住み続けたい」の割合が減少している。

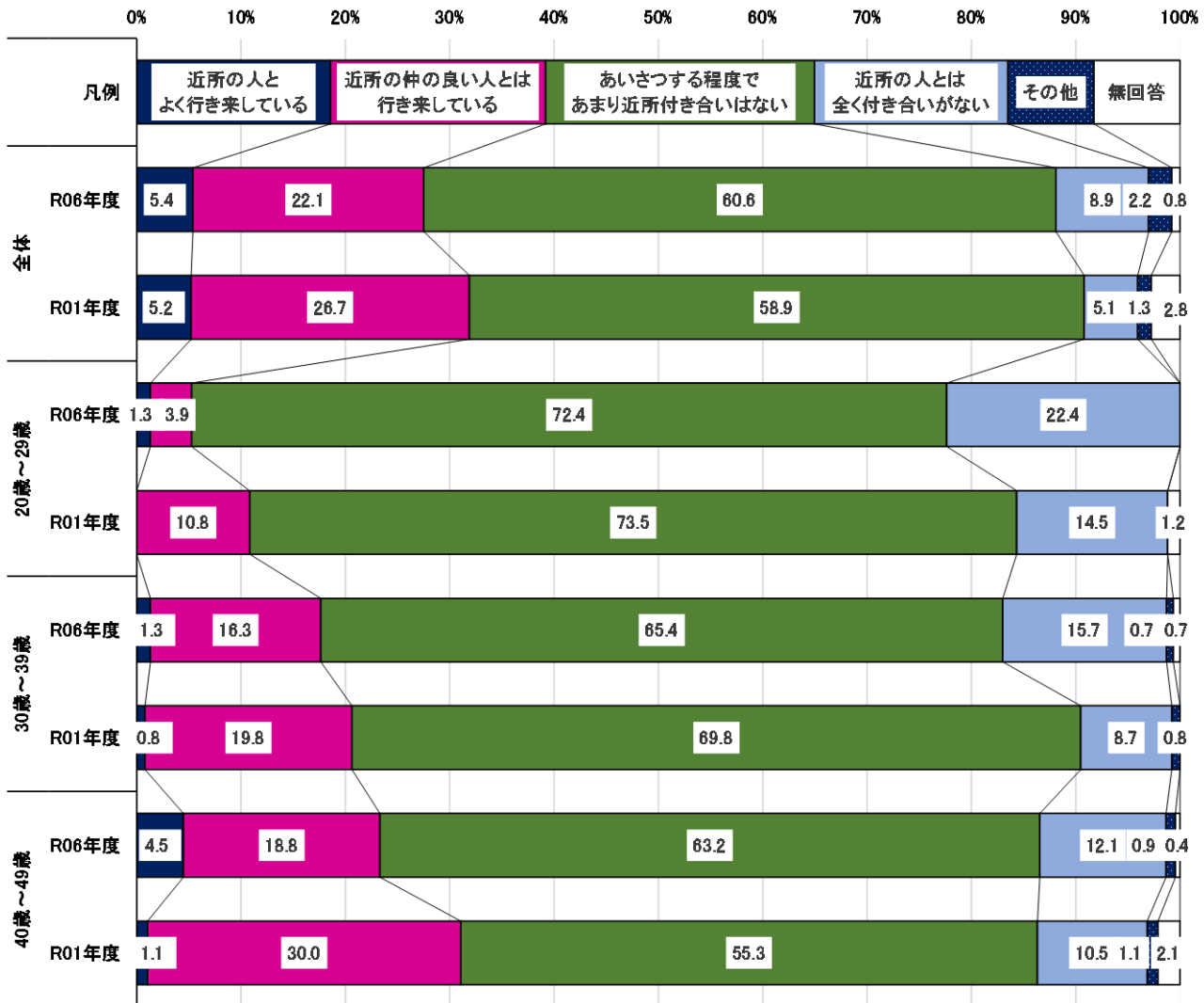
図表 年齢別 問6 あなたはこれからも緑区に住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

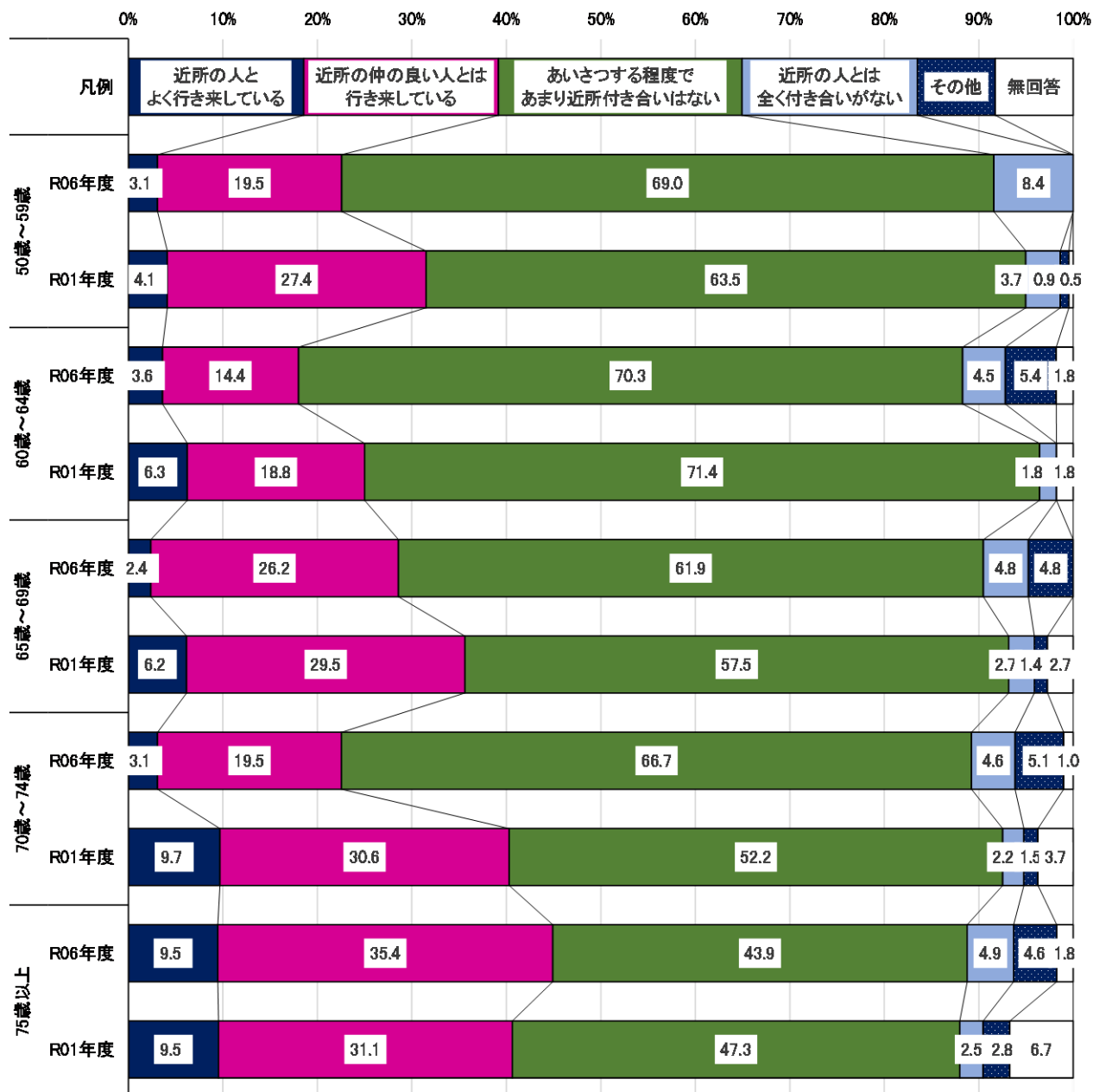


## 問 10 近所付き合い

令和元年度調査と比較すると、「近所の人とよく行き来している」と「近所の仲の良い人とは行き来している」の割合は、いずれの年代でも減少しているが、75歳以上の世代では増加している。

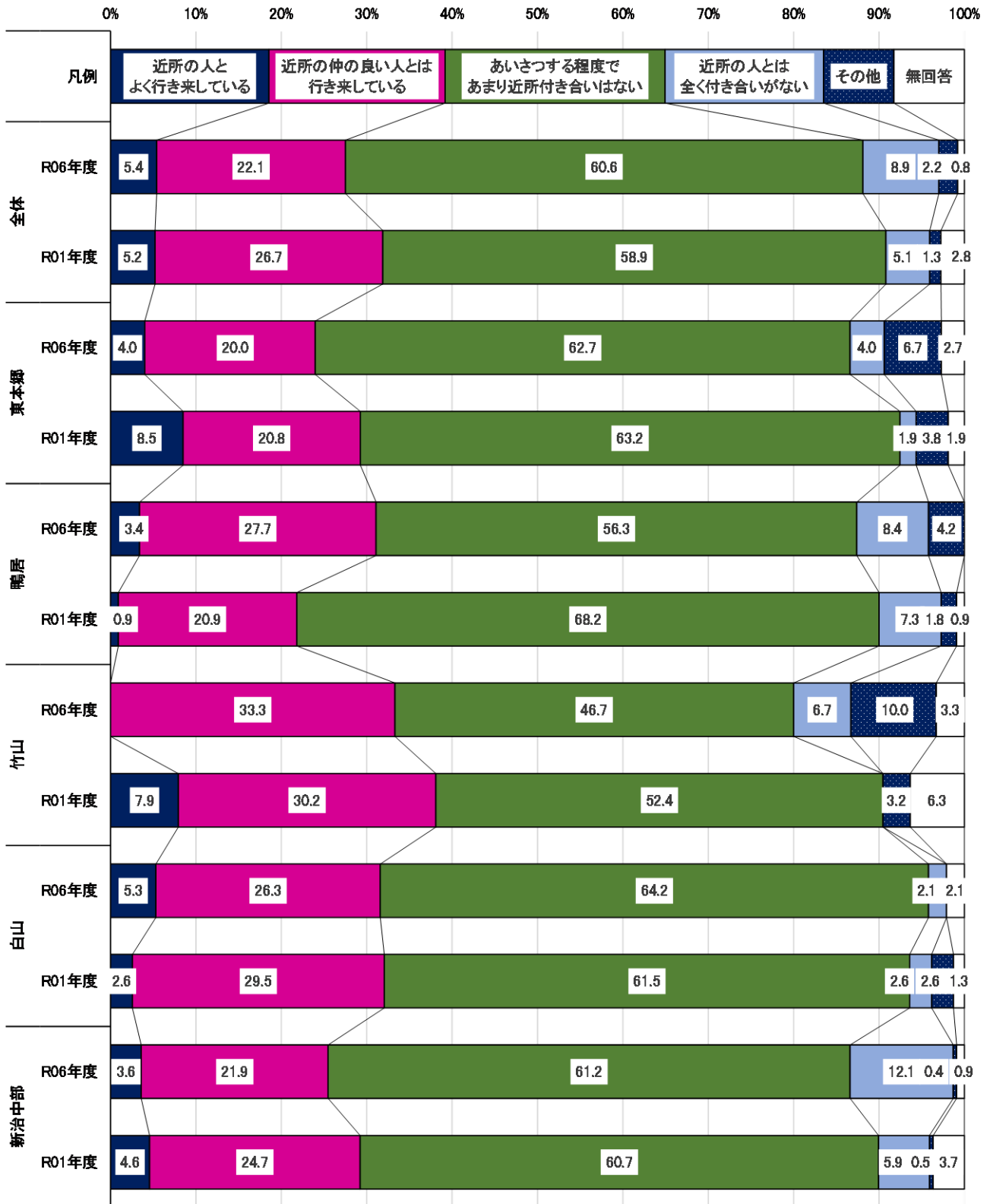
図表 年齢別 問 10 あなたご自身は、どのようなご近所付き合いをしていますか。（○は1つ）

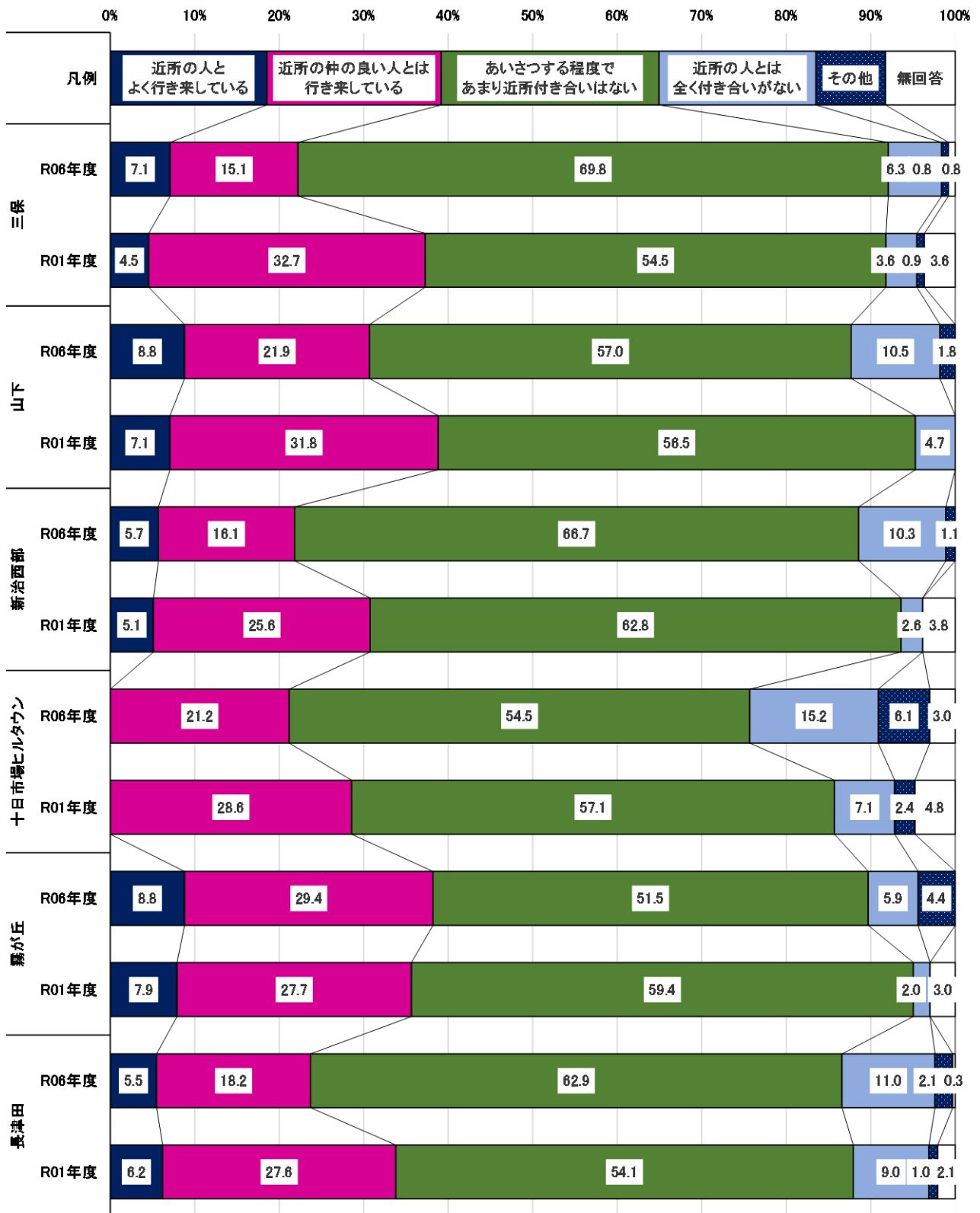




令和元年度調査と比較すると、「近所の人とよく行き来している」と「近所の仲の良い人とは行き来している」の割合は、鴨居地区、霧が丘地区のみ増えている。

図表 地区別 問10 あなたご自身は、どのようなご近所付き合いをしていますか。(〇は1つ)

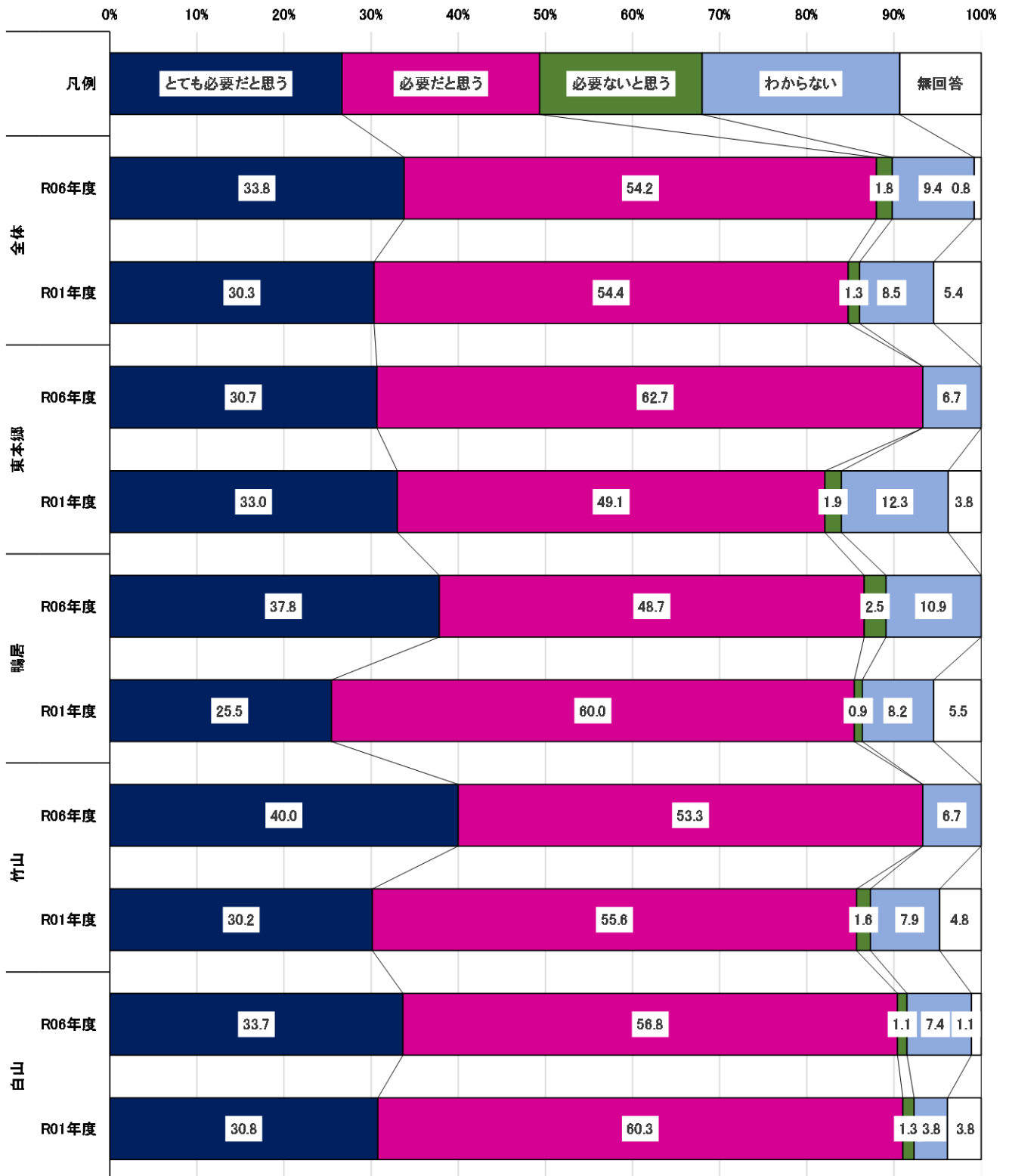


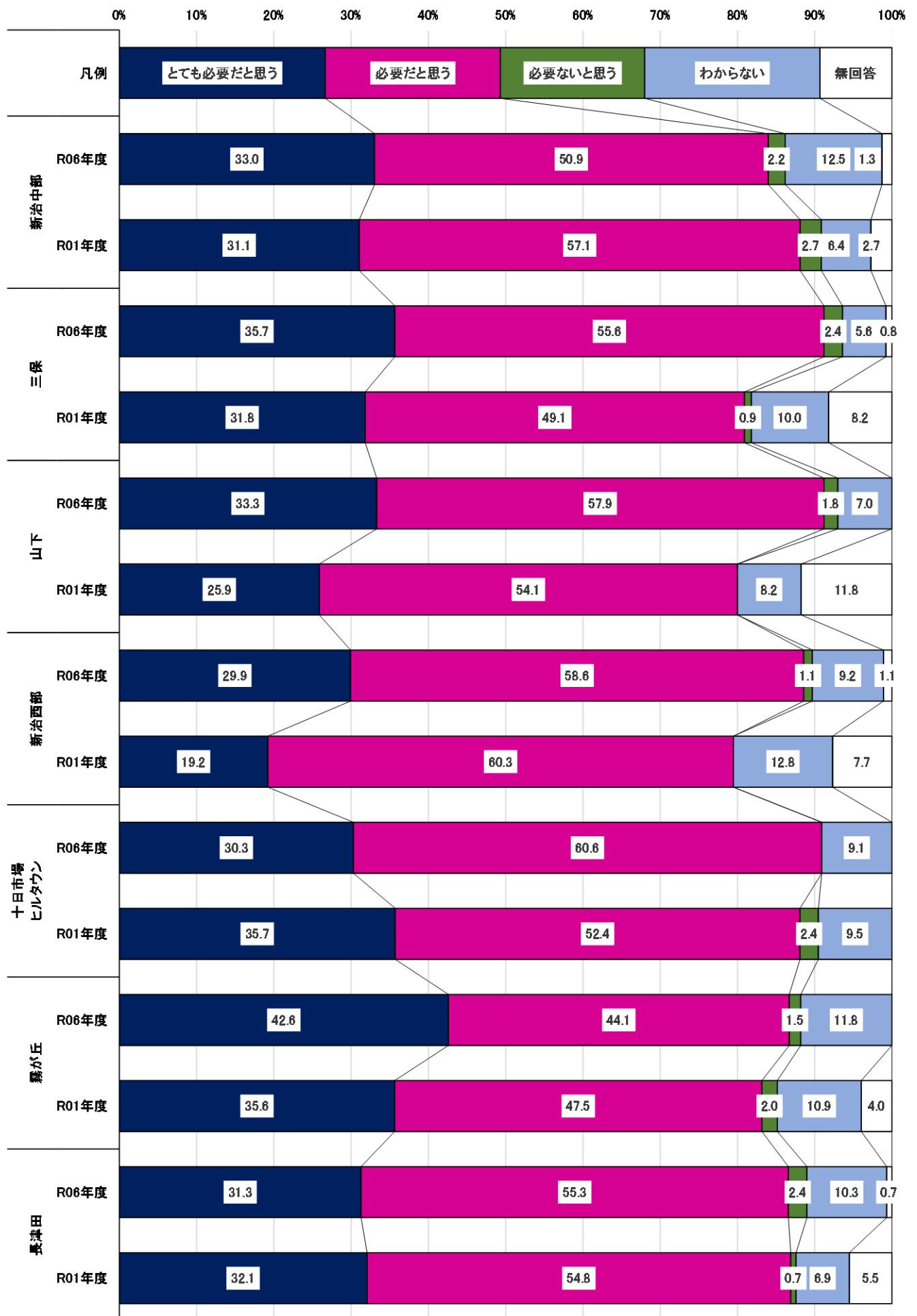


### 問17 「顔の見える関係づくり」に取り組む必要性

令和元年度調査と比較すると、8地区が「とても必要だと思う」と「必要だと思う」の割合が増えている。

図表 地区別 問17 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、日頃からお互いを気に掛け合うなど顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。  
(○は1つ)







## 第6章 自由記述

### 問7 自由記載抜粋

問7 あなたは10年後、お住まいの地域がどのような地域になっているとよいと思いますか。

#### バリアフリー・移動が便利な地域

人にやさしい町作り、車いすでも通れる道や、病院などたくさんあるといいです。
道路がバリアフリー。高齢者の為に座れる所が多い町。
坂なので、バスの本数を増やしてほしい。
移動手段の充実した街。中山駅南口バスターミナルの整備が必須。
道路をもう少し整備してもらいたい。綺麗な町。
駅前の道路の混雑が緩和され、歩道も整備されていたらいい。
体が不自由でも表に出たくなるように道路が整備された地域になっているとよいと思います。
バス便を増やし交通の利便性が高くなっていると良い。若い世代が住みたいと思うような子育て、教育環境が充実していると良いと思います。
歩道と道路の整備。スムーズな車やバスの流れ。区役所に行かずに各駅ですむ。
地域を回るコミュニティバスがあるといい。坂が多いから。
バス便の充実されている地域になってほしい。車を手放したいが、バスが1時間に一本もない時間帯があり、結局車で出かけるしかない。30年後もここで住み続けられるか不安でしかない。
中山駅周辺が、安全に歩けるようになってほしい。再開発が順調に進んでほしい。
バスの本数が増えると良い。
駅前が整備され、歩きやすく、高齢者、障害のある方にも優しい町づくり
新しい道路を作り過ぎている。
免許返納後の交通の利便性向上
①鴨居駅のホームにホーム柵がついている、安心安全な駅になっていることを願います。②鴨居駅前に駅ビルになっていると良いと思います。③鴨居駅から白山まで、今まで通りバス便が続いていることを願っています。④障害者が暮らしやすい街を希望します。
老人、子供たちが安心して出歩ける道路、公園等の充実がされればと思う。

#### 安全・安心、いきいき暮らせる地域

医療・福祉・介護サービスが充実し、どの世代にも住みやすい地域であってほしい。
今も良いが、ますます優しい町になってるといいなと思います。
治安が良く、きれいで、生活しやすい地域
生活環境、教育環境等の更なる充実を望む。
安心、安全の住みやすい地域
終の住処としてこの町を選びました。この先安心して住み続けられ、何かあった時には気軽に相談でき寄り添って頂ける、そんな地域であってほしい。
福祉、医療、介護サービス子育てサービスが充実し、どの世帯も閑静・住みやすい地域になっていると良いと思う。女性子供が暮らしやすいよう、性犯罪等を厳しく取りしまり、皆がそれを許さない地域になってほしい。

若者層が多く、活気のある地域。ゴミ投棄がなく、安心、安全に暮らせる地域。地域内交流が盛んな地域
より安心、安全に暮らせる地域になってほしい。防犯カメラの設置、街灯の整備、道路の路面の整備などできることから良いので、地域全体が住みたいまちになっていったらと思います。
子どもたちが安心して遊べる地域
犯罪がなく、老若男女問わず安全に暮らせる。排気ガスが少なく緑豊かな街
災害に強い町。ゴミが散乱していないきれいな町。道路のバリアフリーがすすんでいたらよいと思う。
自然を残したまま、土砂崩れなどの災害に強くなっているとよい。
子供にとって安全な場所になってほしい。長津田の特に駅周辺は道が狭く、車の交通量も多いので子供が歩いていて車にひかれないような場所になってほしい。道路の幅を拡張してほしい。
このまま自然豊かで治安の良い地域であってほしい。
交通の便が良く安全な町
交通渋滞と事故が少ない地域
駅前の再開発がされ、駅前がきれいになって、安全に中山駅が利用できる様になってほしいです。
治安が良いこと、介護サービスの充実
安全で利便性の良い町
子育て支援の充実。治安のよい町になってほしい。
治安が良く安全に日常生活が送れる地域であってほしい。
10年後のことは、語れませんが、次世代の人たちも安心して暮らし続けられる地域であってほしい。
当たり前ですが、住みやすく住民に優しい町
治安が良く医療、福祉、介護サービスが充実している町
さらに治安の良い地域になってほしい。
障害者、子供、外国人、など誰でも安心して住みやすい町
自然災害の多い最近、防災対策に力を入れてほしい。市民が安心、安全な生活が出来るようになってほしい。
高齢社会になっても何とか住みよい地域であってほしいと思います。自分自身も前向きに頑張りたいと思います。
倒木、土砂崩れの危険がないように整備がされていると安心して住めると思います。
治安が良く、住民相互のつながりがある社会
一人住まいの人達が安心して住めるまち
人口の増減が少なく、インフラ整備がしっかりとされて、災害時に迅速な対応がなされること
空き家の少ない地域。川の氾濫のない地域。

## 活力のある地域

駅前開発をもっと進め 商業施設が充実した地域になってほしい。
生活しやすく、スーパーなどが揃っている。そして綺麗な街
休日に遠くに行かなくても、カフェでお茶したり、公園でキャッチボールできるとよい。
近くにコンビニやスーパーが出来ているといいと思います。
交通や買い物などが便利で快適になっていること。多様性を受け入れるような寛容な地域になっていれ

ばよいと思います。
もう少し、飲食店が住宅街にもあるような地域になっていたら良いと思う。
駅前が、きれいに整備され、公共機関も整いより多くの方がズーラシア、四季の森等に来ていただき活気のある街となっていることを望みます。
バリアフリーかつ、スタイリッシュな町並みになることを願います。
ファミリー世帯が多い、活気ある街
若い人が多く転入して活気のある街
若い人が増え活気のある街になってほしい。
今までと同じように、緑があり川があり、中小商店があり、交通の便がよいようになってほしい。学校や保育園、学童保育施設があり、さらに高齢者施設や区役所の出張施設があってほしい。
徒歩圏内にスーパー、コンビニがあるといい。高齢者になった時に買物が不便である事は生活に支障があると心配している。
長津田駅周辺の発展が進むとよい。
大型ショッピングモールなどがあると便利だと思う。
買い物(衣食)できるお店、病院、公共交通、緑、防災、バランスのとれた地域

#### みどりの魅力あふれる地域

緑が多く夏でも涼しさを感じる街並み
交通の弁がよく、今と変わらずお花がいっぱいの地域
自然環境が良く、なおかつ交通の利便性が高いのと、住民が住みやすい町になっていたらいい。
開発され過ぎない様にして、緑の多い今の環境が残ってほしい。
自然が多く残り、ゆっくりした時間が流れるような街
自然豊かで蛭などの名所になっていると思います。
自然豊かで緑が沢山あって、治安が良く安心して静かに暮らせる街であり続けてほしい。
四季の森が徒歩1分!こんな良い場所は他にないのでこのまま緑の多い地域でほしい。
街並みと景観に統一性と美しさが感じられる地域
自然との調和と穏やかな町民との町並みになっていると良好
現在のままで満足しています。引越して来た頃より、整備されて住みやすいと思いますが自然や緑がなくなってしまうと淋しく思います。
自然豊かで大人も子供も伸び伸び過ごせて、平和で賑やかな地域になってほしい。今のままずっと続いてほしい。
緑豊かでのんびりした街

#### 子育て・教育環境が充実した地域

子育てしやすい環境を、今以上に、充実してほしいです。
子どもたち世代が安心して暮らせる地域になってほしい。
子育て環境がより充実してほしい。子供をあずける環境(あずかり保育など)が良くなるのはありがたいが、子供と親と一緒に過ごせる環境が充実するとうれしい。(暑いときでも遊びやすい公園や施設、一緒に参加できるイベント、など)
もっと買い物しやすく、子育てしやすい地域になってほしい。

安全面、教育面ともに安心して子どもを育てられる地域
治安が良く、共働き世帯が子育てしやすい環境
児童福祉が充実していると良いと思います。

### 支え合い・交流のある地域

いろいろな世代が交流できる地域
様々な世代が交流できる場所があり、子育てがしやすい地域
高齢化がさらに進むと思うので、近所の方と気軽に話せ交流できる地域であってほしい。
住んでいる地域は高齢者が多いので、地域交流のことを心配しています。
近所の家が世代交代になり近所付き合いも変化しつつあるので、地域交流は少なくなってくるだろう。
地域交流が今以上に充実してほしい!
自然豊かで地域交流があり安心して住める場所が良いです。
少子高齢化が進むスピードに支援が追いつかないことを危惧する。一般的なデイサービス等の充実とともに異世代交流型のコミュニティ…たとえばあざみ野スペーススナナのような交流スペースが増え支え合いのしくみが増えると良いと思う。
交流の場が増え、支え合える地域になると良い。
幅広い世代が交流を持てる地域になっていると良いと思います。バリアフリーが定着していると良い。
1.災害時の安心があり、地域住民の交流、協調のある和やかな街 2.福祉対策の充実した街
助け合いができる、団結力の強い地域
車を使わなくても不便なく生活できる・隣近所と助け合いながら生活でき、助けが必要な人を取りこぼすことがない地域
多世代が支え合って、気持ち良く生活出来る地域になってほしい。
年にかかわらず、みんながすごしやすい地域、助け合いや、つながりのある地域
歩いて買い物ができたり、住民が集まるサロンのような施設があると、足腰が丈夫であれば、一人でも行動できると思います。
小さな単位で何かしらの活動や憩いとなる居場所があると良いと思います。

### 閑静で住みやすい地域

静かな町
落ち着いた街
交通の音などうるさくない。
今のままの静かな環境が保たれていれば良い。
人口密度が少ない。
このまま静かな地域
あまり栄えないこと
閑静な住宅街
人が多くなく過ごしやすいのでこのままが良い。

### 高齢者が過ごしやすい地域

多世代が支え合って、気持ち良く生活出来る地域になってほしい。
人にやさしい町作り、車いすでも通れる道や、病院などたくさんあるといいです。
医療・福祉・介護サービスが充実し、どの世代にも住みやすい地域であってほしい。
年にかかわらず、みんなが過ごしやすい地域、助け合いや、つながりのある地域
高齢者が住みやすい地域。年金生活でも、元気である為には、地域での交流、区民センターのような場所で地域の方々と運動や、いろいろな事ができるような交流の場所があると良い。

### 医療・福祉・介護の充実した地域

医療・福祉・介護サービスが充実している地域が望ましい。
医療・福祉・介護にくわしくないが、自分が利用する時代に安定したサービスを受けられることを希望します。
医療・福祉・介護サービスなど相談しやすい、利用しやすい、地域になっているといいなと思います。
もっと、交通の利便性がよくなって、どこへでも、出かけたくなるような気分になんてしてくれるようになってほしい。もっと総合医療の整った施設を増やしてほしい。

### 公共施設・サービスが充実した地域

徒歩で行けるとところに図書館などの公共施設があればよい。
主要駅の図書館や教育施設が充実している地域
カフェがあるといい。図書館があるといい。
治安が良いことが持続していること。図書館サービスが充実していること(成人が学習するスペースがない)区内に大きい書店サービスがないのであるとよい。若い人が定住できる、出ていかない地域になっているとよい。

## 問 18 自由記載抜粋

問 18 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、次期プランに期待することがございましたら、ご記入ください。

### 行政施策について

#### <まちづくり>

公道の老朽化したアスファルトを直して欲しい。ゴミのない街にしてほしい。
駅前の歩道が狭いので少しでも広くなると安心する。
中山駅南口周辺は歩行者の導線が整備されておらず、危険だと感じています。また、JR中山駅直通のエレベーターを設置していただきたいです。
バスの本数を増やしてほしい。
中山駅の再整備を早く進めてロータリーを使い勝手の良いものにしてほしい。
カートを引く年配の方や、車椅子の方が、車道から歩道に上がった時、商業施設に入るのに、少し段差があり、苦労しているのを目にする。上がり口をもつと滑らかにしたら良いと思う。
通学時間、保育園への出入の車の駐車に危険を感じてます。
もう少し交通の便が良くなれば外出も行き、外出や買物をしたりした日は気分も明るくなる。
認知症の私でも住みやすい街、バリアフリー、市営住宅は建物が似ているので迷いやすい。エレベーター前に何階か表示ほしい。色も均一。階ごとに色分けなど工夫ほしい。

#### <福祉・保健>

特にありませんが、緑区全体がもっとより良い街に変化して、子育てしやすい街へと変えてください。切実な願いです。
福祉が高齢者と乳幼児対象がほとんどで、小中学生の育児中の身としては、参加したいと思える内容がない。地区センターの講座も平日日中がメインで、内容的に興味があってもフルタイム就業中で参加できない。
介護に興味を持つようなプランに期待する。若い世代が関心持てるように。
福祉保健全般、事業企画についての事前の広報が必要である。
福祉保健活動の内容や目的をわかりやすく知る小冊子があれば読んでおきたいと思います。
地域の皆さんが福祉、保健等に関心を持って生活をするのが大切かなと思います。
緑区の高齢者(75才)以上の細分化したグループ情報を作成し、その人達の健康情報網を把握し、必要な行政福祉制度の情報を分かりやすく提供し、サポートして欲しい。
福祉の充実、医療スタッフや、介護スタッフの育成と、質の向上
区役所に対しては、相談事のある人には、その方に寄り添った支援を引き続きお願いしたいです。

#### <広報・周知>

若い世代の方にも興味を持ってもらえるような、広報をお願いします。
住民からの声を積極的に集める取り組み。何に満足していて、何に改善が必要かなど。
広報や、SNSの積極的アピール等
情報発信のやり方を工夫する。何をやっているのか、やろうとしているのか分かりづらい。

①緑区の福祉保健に関する定期的な情報が欲しい。②ネットから情報を得ているので、検索サイトを知りたい。③高齢者で働ける場所が欲しい。
種々の政策、その結果を見える化する。
外国人との異文化相互理解のための情報提供を期待
特に子育て世代の地域社会との繋がりが重要と感じます。ネットを活用して現役世代に参加を促すことを提案します。SNS活用やデジタル回覧板など他の自治体で実施している事例を取り入れてはいかがでしょうか？
防災時の具体的な事例や判断の仕方、必要な物の簡単なパンフレットがあったらいい。

## 地域活動について

### <自治会活動>

自治会がきちんと活動しているので、特にありません。
共働きで大変ですが、若い人や子育て家族の意見をもっと取り入れる。高齢者の意見も大事だが、令和だし、自治会の仕組みも新時代にして欲しい。ウェブの活用など。
鴨居は自治会やおやじの会などの活動が盛んなので、この活動を長く今の若い世代まで受け継いでいてほしいです。
消防訓練を見ている、自治会活動に協力的な方が多いと思います。このような皆様をうまくとりまとめて、リードしていただければさらに良くなって行くと思います。
引越してからもし自治会員があいさつや案内に来てくれていたら、自治会に入ってたかも。そんな会があることすら最近まで知らなかった。
自治会ができて時間がたち会員もみな年をとってききましたので、負担のあまりかからないような自治会活動であってほしいと思います。
自治会活動への参加しやすい雰囲気づくりが大事であると思います。
自治会活動の内容の厳選、簡略化の推進。高齢により自治会活動ができない世帯や若年層の自治会非加入世帯が増え、限られた世帯で班長を回している状況で厳しいため。防災訓練やごみ置き場清掃など厳選した活動を希望

### <交流活動・イベント>

人とのつながりを保つ為のイベントを企画して欲しい。
近年動物を飼う人が増えているので適切な飼い方指導や飼い主交流会などがあったら参加したい
高齢者向けの習い事、学習の場(ヨガ・フラワーアレンジメント・料理・あみ物等)をもっと設けてほしい。
近くに大きい公園があるので、お祭りやフリマ、マルシェのイベントがあればもっといいと思います。情報がもっと欲しいです。長津田駅(南口)前、さみしすぎます。
気ままに入れる広いカフェが駅の近くにあったら皆とおしゃべりしたいです。地域で作った野菜や障害者施設等で作ったお菓子や作品を売ったり住んでいる外国の人達の文化を紹介したりするカフェです。
地域の名所めぐりやハイキングの機会を増やしてほしい。
若者たちが遊べる場所を作ってほしい。
近くに高齢者が集まれる場所を作ってほしい。
イベントなど、平日ではなく、できれば土、日、平日でも夜(7:00 ぐらいから)に行われれば、参加しやすくなると思います。

催しの声かけ、イベントの誘いをお願いしたい。出かけたくなるような内容の表記
単身、若い人達向けにもみてもらえるような、イベントや情報発信をして欲しい。
何ごとも人の和が基本だと思います。和を育む手段として参加しやすいイベント等の開催を期待します。
福祉に興味のある人は、もっとたくさんいると思います。積極的にイベント、活動プランを用意してもらってスタッフを呼びかけるなどして、盛り上げていてもらえたらと思います。

### <見守り活動>

日頃の声掛け、コミュニケーション、出来れば「個別訪問」状況を把握する。一人暮らしの高齢者で何も出来ず、行々は孤独死に近い人達が沢山います。早急の活動(行動)が必要です。
父親が同居している為、何かがあったときに近所の方に助けを求める時もある。
声かけが大事と思う。高齢になっていくと不安が増加する為、日頃から接する事が必要と思う。

### <その他地域活動全般>

高齢者などには地域との関わりが必要だとは思うが、各世帯、家庭により状況は様々だと思う。それぞれが自由に選択し多様性を重んじることができると良いと思う。
ボランティアに興味がありますが、情報が少ないように思えます。
若い方々の想いもあると思いますので、若い方の意見を聞くことも必要かと思えます。

### 防犯・防災について

要支援者への災害時の対応が不安。支援が必要な人をリストなどで把握し、要支援者からアクションを起こさない・起こせなくても支援できる体制を整えてほしい。
いつも地域の安全、福祉向上の為にご尽力、有り難うございます。これからも宜しくお願いします。
防犯カメラの設置をして欲しい。
災害時にどうしたら良いか。情報が欲しいです。
高齢者が多いので近所の挨拶や何気ない日常会話などして防災意識を高めていきたい。

### 生活環境について

ゴミのポイ捨てが増えた気がします。緑区を綺麗にするため区民一人ひとりがゴミ拾いを推進できるようなウェブコンテンツを作って欲しいです。
町の美化が、その地域の色になると思います。ゴミの出し方などの個々の意識と行政との協力が必要かと思いました。
誰かがやってくれるだろうと人任せな方も多いので、ひとりひとりが人の役にたてるよう、意識してくれたら良いと思う。少し前に比べてゴミがポイ捨てされていることも多い気がする。住んでいて気持ちのよい街になってほしいです。



## 顔の見える関係づくりについて

マンションに住んでいると、マンション住民には、会う機会がありますが近隣に住む方との交流が乏しく、話しをする機会が少ないので、共通の話題が欲しい。

今の時代、プライバシー保護の問題もあり、近所でのつきあいも、"おせっかい"になったり、あまり他人の家庭に踏み込むのも気を付けるべき。好意的に心の中で他人、近所を気にかけて、あいさつ位でほほえみあう関係を作っていれば、いざという時にも役立つでしょう。

当地に越して来て 40 年もたちます。当所私達も若かったですが、今は 70 代、80 代になりまして、大分環境も変わりました。若いご家族も越しては来ますが、なかなかコミュニケーションをとるのは難しいようです。

元々住んでいる方々(高齢者)と、後から住んでいる若い世代とのつながり(顔見知り)は必要だと感じています。

## 第5期緑区地域福祉保健計画 『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査

### 調査ご協力をお願い

日ごろから緑区政の推進にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
緑区ではこのたび、区民の皆さまの身近な生活環境や日常生活などについてお伺いし、今後の地域福祉の推進に役立てるため、「第5期緑区地域福祉保健計画『みどりのわ・ささえ愛プラン』区民アンケート調査」を実施させていただきます。

本調査は、区内にお住まいの20歳以上の方から無作為に選んだ4,500の方に送付されています。お答えいただいた内容は統計的に処理し、個人が特定されることはありませんのでご安心ください。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年6月

横浜市緑区長 佐藤 康博

### ～ 調査票のご回答にあたって ～

- 調査をお願いしたご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。
- 質問は全部で18問あります。回答は、該当する番号に○印をつけていただくか、自由に意見を記入していただく形式になっています。
- 番号に○印をつけていただく形式では、該当する番号1つに○をつけていただく場合と、複数の番号に○をつけていただく場合があります。質問文に従ってご回答ください。「その他」にあてはまる場合には、その番号に○をつけて（ ）内に具体的な内容をご記入ください。
- 回答方法については、郵送かインターネットのいずれか1つをお選びください。

#### 郵送で回答する場合

ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、郵便にてご返送ください。  
（切手は不要です。）ご返送の際は、氏名や住所のご記入は不要です。

#### インターネットで回答する場合

下記のURLから専用サイトにアクセスし、ご回答ください。  
<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/6b7c3a54-64d0-4a14-b63f-d0be79dfa845/start>



（右の二次元コードからもアクセスしていただけます。）

※なお、インターネット回答の場合は、下記の整理番号の入力が必要です。

整理番号：

整理番号は、一人が複数回答することを防ぐためのものであり、整理番号から個人が特定されることはありません。

回答期限：令和6年7月23日（火）まで（インターネットは同日23時59分まで）

【本調査に関するお問い合わせ先】緑区役所福祉保健課 電話：045-930-2304



インターネットでご回答いただいた場合は、【郵送での回答は不要】です。よろしくお願いいたします。

横浜市緑区マスコットキャラクター  
「ミドリ」

◆ 最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたのお住まいの町はどちらですか。（番地は必要ありません）

横浜市緑区 (町) 丁目

問2 あなたの性別・年齢・世帯構成についておたずねします。

<性別> (○は1つ)

1. 男性 2. 女性 3. その他・答えたくない

<年齢> (○は1つ)

1. 20歳～24歳 2. 25歳～29歳 3. 30歳～34歳  
4. 35歳～39歳 5. 40歳～44歳 6. 45歳～49歳  
7. 50歳～54歳 8. 55歳～59歳 9. 60歳～64歳  
10. 65歳～69歳 11. 70歳～74歳 12. 75歳～79歳  
13. 80歳以上

<世帯構成> (○は1つ)

1. ひとり暮らし 2. 夫婦・パートナーのみ  
3. 親と子（二世帯） 4. 親と子と孫（三世帯以上） 5. その他

問3 あなたの現在暮らしているお住まいはどれに該当しますか。（○は1つ）

1. 持ち家（一戸建て） 2. 持ち家（マンション・共同住宅）  
3. 借家（一戸建て） 4. 借家（公営・社宅）  
5. 借家（民間アパート・マンション） 6. その他（ ）

問4 あなたのお仕事の状況はどれに該当しますか。（○は1つ）

1. 常勤・フルタイム 2. パート・アルバイト 3. 自営業（農業等を含む）  
4. 専業主婦・主夫 5. 学生 6. 無職  
7. その他（ ）

問5 あなたは緑区にお住まいになって何年になりますか。（○は1つ）

1. 1年未満 2. 1年～5年未満  
3. 5年～10年未満 4. 10年以上

問6 あなたはこれからも緑区に住み続けるお気持ちですか。(○は1つ)

- |            |             |          |
|------------|-------------|----------|
| 1. 住み続ける   | 2. たぶん住み続ける |          |
| 3. たぶん転出する | 4. 転出する     | 5. わからない |

問6-1【問6で「1. 住み続ける」または「2. たぶん住み続ける」と答えた方に伺います】住み続けたいと思われる理由を選んでください。(○はいくつでも)

- |                               |
|-------------------------------|
| 1. 住み慣れているから                  |
| 2. 家族・親戚が近くに住んでいるから           |
| 3. 職場・学校が近いから                 |
| 4. 街並みが整っているから                |
| 5. 緑や公園など自然環境に恵まれているから        |
| 6. 交通の利便性が高いから                |
| 7. 買い物に便利だから                  |
| 8. 治安が良いと思うから                 |
| 9. 公共施設が充実しているから              |
| 10. 医療・福祉・介護サービスが充実しているから     |
| 11. 子育て・教育環境が充実しており、子育てしやすいから |
| 12. 地域交流が盛んで住民相互のつながりが強いから    |
| 13. その他 ( )                   |

問7 あなたは10年後、お住まいの地域がどのような地域になっているとよいと思いますか。

--

◆ あなたと身近な地域での生活の心配事についておたずねします。

問 8 あなたは、近頃、ご自分やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(○は3つまで)

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 自分の病気や健康、老後のこと | 2. 家族の病気や健康、生活上の問題  |
| 3. 失業・倒産や収入が減ること  | 4. 仕事や職場のこと         |
| 5. 景気や生活費のこと      | 6. 子どもの保育や教育のこと     |
| 7. 子どもの結婚や就職のこと   | 8. 近隣からの悪臭・騒音       |
| 9. 環境問題           | 10. 事故や災害のこと        |
| 11. 犯罪や防犯のこと      | 12. 住宅のこと           |
| 13. 外出の手段         | 14. 心配ごとや困っていることはない |
| 15. その他           |                     |
- (具体的に： )

問 9 心配ごとや困ったことが起きた時、相談する人や相談する場所がありますか。それは、誰・どこですか(「相談したことがある」、または「相談しようと思う」を含めてお答えください)。(あてはまる番号すべてに○)

- |   |
|---|
| 1. 家族や親せき                               |
| 2. 友人や同僚                                |
| 3. 近所の人                                 |
| 4. 自治会・地区社会福祉協議会の役員や民生委員・児童委員など         |
| 5. かかりつけの医療機関                           |
| 6. 区役所                                  |
| 7. 緑区社会福祉協議会                            |
| 8. 地域ケアプラザ(地域包括支援センター)                  |
| 9. 地域子育て支援拠点(いっぽ)                       |
| 10. 保育所、幼稚園、学校、放課後の居場所                  |
| 11. 専門機関の相談窓口(福祉活動団体・外国語対応窓口・民間の相談窓口など) |
| 12. 同じ悩みのある人                            |
| 13. SNSなどの利用                            |
| 14. 相談する人(場所)は思い当たらない                   |
| 15. その他                                 |
- (具体的に： )

◆ 地域でのつながり及び活動の機会・場についておたずねします。

問10 あなたご自身は、どのような近所付き合いをしていますか。(○は1つ)

- |                         |
|-------------------------|
| 1. 近所の人とよく行き来している       |
| 2. 近所の仲の良い人とは行き来している    |
| 3. あいさつする程度であり近所付き合いはない |
| 4. 近所の人とは全く付き合いがない      |
| 5. その他 ( )              |

問11 あなたご自身は、お住まいの地域の自治会に加入していますか。(○は1つ)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 加入している | 2. 加入していない |
|-----------|------------|

問12 あなたは、地域で行われている様々な活動に参加していますか。または参加したことがありますか。  
(参加者として、スタッフ・ボランティア等として参加している、参加したことがあるものそれぞれすべてに○)

	参加者として	スタッフ・ボランティア等として
1. 自治会の活動		
2. 子ども会の活動		
3. 老人クラブの活動		
4. お祭り、季節の行事など		
5. ウォーキングイベント		
6. 趣味の集まり		
7. 子どもや青少年の活動(PTA・おやじの会等学校関連の活動を含む)		
8. 高齢者の活動		
9. 障害児・者の活動		
10. 地域の清掃活動や美化活動		
11. 防犯・防災・交通安全などの活動		
12. その他 ( )		

【問12で1つでも「スタッフ・ボランティアとして参加している」を選んだ方は、  
問12-1と問12-2をお答えください】

問12-1 参加したのは、どのようなきっかけでしたか。(主なもの3つまで○)

1. 時間的に余裕があったから
2. 友人・知人・家族等に誘われたから
3. 近かったから
4. 必要性を感じたから
5. 自分の健康づくりになると思ったから
6. 費用弁償・謝金があるから
7. 仲間・友人づくりにつながると思ったから
8. 趣味・特技・経験を活かせそうだから
9. 持ち回りの当番だったから
10. その他(具体的に: )

問12-2 あなたがスタッフ・ボランティアとして地域活動に参加してよかったと思うことはなんですか。(主なもの3つまで○)

1. 楽しかった
2. 知り合い・友人が増えた
3. 健康や体力に自信がついた
4. 地域社会に貢献できた
5. 趣味・特技・経験を活かせた
6. 知識や経験が増えた
7. その他(具体的に: )

問13 あなたは、どのような条件であれば地域活動にスタッフ・ボランティアとして参加したいと思いますか。(主なもの3つまで○)

1. 時間的・体力的に無理がない程度なら
2. 近ければ
3. 情報があれば
4. 家族や友人・知人に誘われたら
5. 仲間・友人ができそうなら
6. 内容に興味があれば
7. 健康づくりになりそうなら
8. 趣味・特技・経験を活かせそうなら
9. 持ち回り当番などきっかけがあれば
10. 多少の謝礼があれば
11. 参加したくない・できない  
(理由: )
12. その他  
(具体的に: )

問14 あなたは、今後、どのような条件であれば地域活動に参加者として参加したいと思  
いますか。(主なもの3つまで○)

- |                          |                   |
|--------------------------|-------------------|
| 1. 時間的に余裕があれば            | 2. 参加費があまりかからなければ |
| 3. 情報があれば                | 4. 家族や友人・知人に誘われたら |
| 5. 近ければ                  | 6. 内容に興味があれば      |
| 7. 仲間・友人ができそうなら          | 8. 健康づくりになりそうなら   |
| 9. 参加したくない・できない<br>(理由：) | )                 |
| 10. その他<br>(具体的に：)       | )                 |

◆ 福祉保健に関する情報についておたずねします。

問15 あなたは、緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」について知って  
いますか。(○は1つ)

- |                  |              |
|------------------|--------------|
| 1. 内容も含めてよく知っている | 2. ある程度知っている |
| 3. 名前は聞いたことがある   | 4. 知らなかった    |

問16 あなたは、地域の福祉保健に関する活動の情報をどこから得ていますか。  
(○はいくつでも)

- |                          |   |
|--------------------------|---|
| 1. 広報よこはま                |   |
| 2. 横浜市や緑区のウェブサイト(ホームページ) |   |
| 3. 公共施設配架チラシ・パンフレット      |   |
| 4. 自治会の回覧板や掲示板など         |   |
| 5. タウン情報誌                |   |
| 6. SNS                   |   |
| 7. 新聞・テレビ・ラジオ            |   |
| 8. 2. 以外のウェブサイト(ホームページ)  |   |
| 9. 地域ケアプラザや民生委員から        |   |
| 10. 知人・家族から              |   |
| 11. 特にない                 |   |
| 12. その他(具体的に：)           | ) |



◆ 安全・安心についておたずねします。

問17 災害時に地域での助け合いが上手くいくためには、日頃からお互いを気に掛け合うなど顔の見える関係づくりに取り組むことは必要だと思いますか。(○は1つ)

- |              |           |
|--------------|-----------|
| 1. とても必要だと思う | 2. 必要だと思う |
| 3. 必要ないと思う   | 4. わからない  |

問17-1 【問17で「1. とても必要だと思う」または「2. 必要だと思う」と答えた方に伺います】地域で顔の見える関係づくりを進めるためには何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- |                          |
|--------------------------|
| 1. 近所でのあいさつ・声かけ          |
| 2. 近所での日頃からの付き合い         |
| 3. お祭りなどの行事への参加          |
| 4. 自治会活動への参加(防犯や美化活動など)  |
| 5. 趣味を通じてのグループづくり        |
| 6. 住民一人ひとりがまちづくりに関心を持つこと |
| 7. 活動を展開するリーダーの存在        |
| 8. 役員任せにせず、一人ひとりが責任を持つこと |
| 9. 若い世代の参加への働きかけ         |
| 10. その他 ( )              |

◆ 緑区の福祉保健全般についておたずねします。

問18 お住まいの地域を良くするためのご意見・ご提案や、次期プランに期待することがございましたら、ご記入ください。

--

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。  
ご記入いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れていただき、  
【令和6年7月23日(火)※消印有効】までにポストにご投函ください。

ご協力ありがとうございました!

横浜市緑区マスコットキャラクター  
「ミドリん」



GREEN  
x  
EXPO  
2027  
YOKOHAMA JAPAN

横浜で初めて行う  
国際博覧会

2027年3月19日～  
9月26日開催